WSS2012R2\_NS\_V03

Network Storage System

ソフトウェアマニュアル

NAS ツール Ver4.7 対応版



Windows Storage Server 2012R2 搭載モデル向け



# 目次

## はじめに

1	使用上のご注意	1
2	警告	2
3	注意	3
4	よりよくお使いいただくために	5
5	安全にお使いいただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
6	RAID レベルの説明	7

# 第1章 Windows Storage Server 2012R2の概要

マルチプラットフォーム対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
Windows ネットワークとの親和性 ······	9
SMB3.0 対応	9
ファイルサーバー、プリントサーバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
バックアップ、復元、レプリケーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
ストレージ管理ツール	10

# 第2章 基本設定/管理機能

NAS Host Explorer のインストール	12
NAS Host Explorer について	13
NAS Host Explorer 経由での管理画面へのアクセスについて1	16
ストレージ管理ツールについて	8
ネットワークの設定	20
コンピュータ名変更、ドメイン/ワークグループ参加設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	22
電源 OFF(シャットダウン)方法 ······2	24
管理者パスワードの変更2	25

### 第3章 ディスク・ボリュームの管理

RAID 構成の変更 ······	· 27
暗号化と自動ロック/アンロック設定	· 30
iSCSI ドライブの構成・・・・・・	· 65

# 第4章 共有フォルダの作成・管理

ファイルサーバー機能とは	
ユーザの作成・・・・・・	76
グループの作成	
新しい共有フォルダ(SMB)を作成する	
新しい共有フォルダ(NFS)を作成する	
共有フォルダアクセス権の設定変更(SMB)······	
フォルダアクセス権の設定変更(NTFS) ······	
共有フォルダアクセス権の設定変更(NFS) ······	
クォータ について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
クォータの設定(FSRM クォータ/フォルダクォータ)	
クォータの設定(NTFS クォータ/ユーザクォータ)	
ファイルスクリーンの管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	103
記憶域レポートの管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ファイル分類管理(FCI) ····································	
分散ファイルシステム(DFS)について	113
分散ファイルシステム(DFS)のインストール	113
DFS/名前空間の作成	119
DFS/名前空間へのフォルダの追加	123
DFS/レプリケーションの設定 ······	
WebDAV 共有フォルダの利用 ······	
WebDAV 利用の準備 ·······	
WebDAV 共有フォルダの作成 ······	

### 第5章 バックアップ・メンテナンス

AID エラー警告音の停止 ····································	142
AID の再構築(ディスクの交換) ······	144
データフォルダバックアップツール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	148
ヾックアップ (Windows Server バックアップ)	153
letStor Backup for Windows	159
も有フォルダのシャドウコピー(SCSF) ·······	160
Vindows Update	162

### 第6章 その他管理機能・サーバ設定

お知らせメール設定	
電源設定(スケジュール電源管理/パワーボタン設定)・・・・・・・・・・・・・・・・・・	172
ステータスパネル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	177
フォルダアナライザ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	182
ナスコール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
その他設定・・・・・・	
アプリケーションのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	190
プリントサーバー機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	192
Web UI 専用管理者アカウントの設定 ······	

# 第7章 ブラウザ経由での管理(WebUI)

NAS Host Explorer 経由での Web UI 管理画面へのアクセス	199
Web UI の基本操作····································	201
ステータスの確認・・・・・・	203
初期設定	206
ファイル共有設定・・・・・・	207
ボリュームの管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	217
ネットワーク設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	220
システム設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	223
お知らせメール設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	226
電源	229

# 第8章 各OSから共有フォルダへのアクセス

Windows10 からのアクセス(SMB 共有)	·230
Windows 8.1/7 からのアクセス(SMB 共有)······	231
Windows(Storage)Server2016/2012/2012R2 からのアクセス(SMB 共有)······	232
Windows(Storage)Server2008/R2 からのアクセス(SMB 共有)	233
MacOSXからのアクセス(SMB 共有)	234
Linux からのアクセス(NFS 共有) ······	234

### 付録

トラブルシューティング	А
設定制限表	В

#### 1.使用上のご注意

- 本製品を安全に使用するために
  - 本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明していま す。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使 用ください。
  - 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。
- 表示について ・この「使用上のご注意」では以下のような表示(マーク)を使用して注意事項 を説明しています。内容を理解してから、本文をお読みください。
- ▲ 警告 ・この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危 険性がある項目です。
- ▲ 注意
- ・この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしく は物的損害を負う危険性がある項目です。



・三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中 には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電 に注意しなければならないことを意味します。



・丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する 項目が絵などで表示されます。



 塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味し ます。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例え ば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意 味します。

※マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装 置について何か問題が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセ ントから抜いたあと、お買い求めの販売店へご連絡いただくか、弊社テクニ カルサポートまでご連絡ください。

# 

万一、異常が発生したとき。 本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコ ンセントから抜いて販売店にご相談ください。

異物を入れないでください。



本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が 入らないように注意してください。故障・感雷・火災の原因になります。 ※万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り、販売店にご相談 ください。



落雷の恐れがある時や雷発生時は、いったん電源を切って使用を中 断してください。

故障・感電・火災の原因となります。※万一、異物が入った場合は、た だちに電源を切り、販売店にご相談ください。

付属または弊社が指定する仕様・型番の AC アダプター、電源ケーブ ルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わない AC アダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が 故障・発煙・発火する恐れがあります。

弊社指定ケーブルの仕様については、各製品のハードウェアマニュア ルを参照ください。

分解しないでください。



本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解を しないでください。感電や火災、やけどの原因になります。また、自分 で改造・分解を行った機器に関しましては、弊社では一切の保証をい たしかねます。

※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取扱いはおやめください。 感電・火災の原因となります。

表示された電源で使用してください。 電源ケーブルは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分にご注意ください。 コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上に物を乗せると、被覆 が破れて感電・火災の原因となります。

電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のように取り扱って下さい。取り扱われませんとトラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

・電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
 ・電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。

・付着している場合は、乾いた布などで拭き取り差し込んでください。 ・グラグラしないコンセントをご使用ください。

ケースカバーは取り外さないでください。 思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原 因になります。



本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリッ プなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原 因になります。



装置の近くでの揮発性液体の使用は避けてください。 マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近く で使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因にな ります。



日本国以外では使用しないでください。

装置の上に物を置かないでください。

この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国 外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の 安全規格が定められており、この装置は適合していません。

 $\bigcirc$ 

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や 何本も延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。

電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使 用すると、過熱による火災の原因となります。

 $\bigcirc$ 

通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となり ます。また、通気孔には埃が付着しないよう、定期的に点検し、清掃し てください。

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は 避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化 が厳しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。

ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。 また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズ が入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。 かぶったりすると窒息するおそれがあります。

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿 入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでくだ さい。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっか けるとケガや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータ が失われるおそれがあります。

ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに 配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の 原因になります。

#### 地震対策について

地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓からの飛び出し が発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐた め、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施し てください。

ディスク障害が発生した場合は



本製品内蔵のハードディスクドライブに障害が発生すると、警報音が なり、LCD パネルやステータスランプにディスク障害情報が表示され ます。このような状態の場合は、直ちに障害ドライブをスペアドライブ と交換してください。

ハードディスクドライブの交換方法につきましては、各製品のハード ウェアマニュアルを参照ください。

#### 4.よりよくお使いいただくために



本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク装置を接続する際には、 指定および制限事項を確認の上、ご使用ください。指定および制限事項 を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じ るおそれがあります。

#### 【廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意】

ご利用の弊社製品を廃棄・譲渡等される際には、以下の事項にご注意ください。

- ●パソコンおよび周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
- ●ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。 ハードディスクのデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコンおよび周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

#### 【ハードディスクを廃棄する場合】

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、ロジテック INA ソリューションズ株式会社では、ハードディスク上の データを電気的に強磁気破壊方式(※)により完全に消去するサービスを 有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などに ご利用ください。

※磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊 します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの 磁気も消去しますので、ディスクを再利用するこはできません。データ消 去サービスの詳細につきましては、ロジテックホームページ (http://www.logitec.co.jp/)をご参照ください。また、お問合せは、下記窓 口までお願いいたします。(技術的なお問合せは、弊社サポートダイヤル にお願いいたします。)

■データ消去のご相談窓口
 ロジテック INA ソリューションズ株式会社
 データ復旧技術センター データ消去サービス係
 TEL:0800-888-6409
 受付時間: 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
 月曜日~金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

#### 5.安全にお使いいただくために

本製品を安全にご利用いただくために、以下の事項を尊守いただきますようお願いいたします。

#### ■本製品について

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、 弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

■データのバックアップ(複製)

本製品には RAID 機能が搭載されておりますが、これはハードディスク の冗長性を高めるものであり、データの保証をするものではありません。 本製品を安全にご利用いただくためには、データのバックアップ(複製) を欠かさず行っていただきますよう、お願いいたします。

■ソフトウェアについて

NAS セキュリティ修正パッチを Windows Update にて更新することができます。ただし、本製品の出荷時設定では Windows Update は修正パッチの確認は行いますが、「自動ダウンロード」「自動アップデート」は行いません。ご了承ください。

■UPS への接続

本製品を UPS(無停電電源ユニット)に接続することにより、予期せぬ停 電による障害より回避できる可能性が高くなります。是非、UPS の導 入・接続をお薦めいたします。

(UPS の運用には UPS 管理ソフトウェアが別途必須です)

#### 6.RAID レベルの説明

- RAID-5 耐障害性の向上と高速化、大容量化の全てを実現できる RAID 技術です。ディスク故障 時に記録データを修復する為に「パリティ」と呼ばれる冗長コードを全ディスクに分散 して保存します。
- RAID-1 ミラーリングとも呼ばれる2台のディスクにまったく同じデータを同時に書きこむ方式 です。片方が破損しても、もう一方からデータを読み出せるので、システムは問題無く 稼動しつづけることができます。両方に同じデータを書き込むことになるため、実際に 使用できる容量は本来のディスク容量の半分になります。
- RAID-0 ストライピングと呼ばれる、高速性に特化した RAID 技術です。複数のディスクに均等 にデータを振り分け、同時並行で記録することで、データの読み書きを高速化したもの で、冗長性はありません。

RAID LEVEL	機能·特徴	冗長性	データ有効容量
RAID-0	転送速度が速い	×	H×n
RAID-1	ミラーリング	Ø	H×n÷n
RAID-5	パリティ方式	0	H×(n−1)

※ H:1 台あたりの HDD 容量 n:RAID を構成する HDD 台数

◎ 本製品の出荷時 RAID 構成



#### <u>第1章:Windows Storage Server2012R2の概要</u>

Windows Storage Server 2012R2 は、マイクロソフト社が提供するストレージ(NAS)専用の OS です。 Windows Storage Server 2012R2 は、高い信頼性で定評のある Windows Server 2012R2 をベースとし、ファイルサーバーに特化した機能の追加とパフォーマンスの最適化がおこなわれています。

Windows Storage Server 2012R2 では、クライアントが Windows Storage Server 2012R2 の共有リ ソースにアクセスするためのライセンス(クライアントアクセスライセンス : CAL)を用意する必要があり ません。(但し、モデルによってはユーザ登録数が制限されています) そのため、企業では、導入コス トを大幅に削減することができます。

Windows Storage Server 2012R2 は、ファイルサーバー専用機であるため、あらかじめ、ファイル サーバーに特化したセットアップがおこなわれています。これにより、ネットワークに接続するだけで、 すぐに使用を開始することができます。

本製品のIPアドレス、コンピュータ名、ワークグループ名、管理者のパスワードなどの既 定値は以下の通りです。 IPアドレス:DHCPサーバーより取得

IP アトレス: DHCP サーハーより取得 ワークグループ名: Workgroup 管理者パスワード: admin(管理者ユーザ名: admin)

リモートデスクトップと管理コンソールを使用してネットワーク経由で容易に管理することができます。 さらに Windows Storage Server 2012R2 は Windows Server 2012R2 をベースとしているため、 Windows Server の知識がある管理者は、Windows Storage Server 2012R2 の操作を学習することな く使用できます。

#### **〇マルチプラットフォーム対応**

Windows Storage Server 2012R2 はマルチプラットフォームに対応しており、SMB(Server Message Block)、NFS(Network File System)、をサポートしています。そのため、Windows クライアントだけでな く、UNIX/Linux クライアントや MacOS X クライアントからも、Windows Storage Server 2012R2 の共有 リソースにアクセスすることができます。また、これらの異機種のクライアントと Windows クライアント間 でデータの交換も可能です。

#### OWindows ネットワークとの親和性

Windows Storage Server 2012R2 は、ベースが Windows Server 2012R2 であるため、そのまま、高 度な Windows ネットワークを活用することができます。例えば、Windows Storage Server 2012R2 は、 Active Directory ドメインに参加することで、アカウント管理を容易にすることができます。また、ウイル ス対策やバックアップソフトウェアなどの ISV アプリケーションをインストールすることも可能です。 (本製品で動作確認済みのアプリケーションの情報は弊社 WEB で公開しています。)

#### OSMB3.0 対応

Windows Storage Server 2012R2 に搭載されたファイル転送プロトコル SMB は最新の 3.0 に対応し ています。これにより、ファイル転送の際のパケットのデータ構造やコマンド体系が見直され、転送速度 が向上しています。クライアントが SMB3.0 に対応した OS であれば、高速データストレージ環境が実現 できます

※SMB3.0 より前のプロトコルを搭載した OS との通信も可能ですが、接続した OS に搭載された SMB バージョンに合わせた通信速度になります。

### **Oファイルサーバー、プリントサーバー**

Windows Storage Server 2012R2 の使用用途は、ファイルサーバーだけではありません。Windows Storage Server 2012R2 には、次の展開シナリオがあります。

- ・ ファイルサーバー
- ・ プリントサーバー

組織の規模に関わらず、Windows Storage Server 2012R2 を専用のファイル サーバーおよびプリン ト サーバーとして展開することができます。Windows Storage Server 2012R2 は高度な共有リソース サービスを実装する Windows Server 2012R2 がベースであるため、シャドウコピーやオフラインファイ ル、クォータ、ファイルスクリーンなどの大容量のデータを効率的に管理するための機能が使用できま す。また、Windows Storage Server 2012R2 は、ファイルサーバーに特化した OS であり、ファイル サービスと無関係なサービスの実行を省いているため、安定したサービスとデータの提供が可能と なっています。また、充実したリモート管理機能とブランチオフィス機能により、管理者のいない支社や 支店への導入にも最適です。

く注意>

WindowsStorageServer2012R2WorkgroupEdition 搭載モデルで運用可能なユーザーアカウント は 50 アカウントまでです(ローカルユーザー/ドメインユーザー合計して)。1 つのユーザーアカウン トを利用できるのは 1 人のユーザーのみです。

Windows Storage Server2012R2StandardEdition 搭載モデルではユーザ登録数に制限はありません。

# **〇バックアップ、復元、レプリケーション**

運用サーバーの可用性を向上するために、Windows Storage Server 2012R2 を導入します。この環 境では、運用サーバーから Windows Storage Server 2012R2 ヘディスクベースの複製をおこないます。 これにより、運用サーバーで障害が発生した場合に、Windows Storage Server 2012R2 が引き継ぎ、 処理を継続します。さらに企業 WAN を介して、Windows Storage Server 2012R2 間でデータの複製を おこなえば、メンテナンスによる停電などで支店サイト全体が使用できない場合でも、別の支店サイト で処理を継続することができます。

### **Oストレージ管理ツール**

通常、NAS には、モニタやキーボード、マウスが接続されていないため、Windows Storage Server 2012R2 の管理も、次のリモート管理を使用しておこないます。

- NAS Host Explorer(ネットワーク上からの NAS の検出)
- リモートデスクトップ
- ・ サーバーマネージャー(リモートデスクトップ上で操作)
- NAS ツール(リモートデスクトップ上で操作)



本製品に直接、ディスプレイ、キーボードおよびマウスを接続して、ローカル管 理をおこなうこともできますが、ディスプレイ、キーボード、マウスを使用して 本製品を操作するのは管理・設定時のみに限られます。それ以外の用途でディス プレイ、キーボード、マウスを使用して本製品を操作した場合、オペレーション システムのレギュレーション違反となりますのでご注意ください。

各ツールの操作方法等は第2章にてご確認ください。

Q

### <u>第2章:基本設定/管理機能</u>

### ○ NAS Host Explorer のインストール

「NAS Host Explorer」は、NSB シリーズのセットアップソフトです。 添付の CD を管理用 PC にセットし、起動 したランチャの「NAS Host Explorer インストーラ」アイコンを選択し、「開く(E)」ボタンをクリックすることでイン ストールをする事ができます。



## **ONAS Host Explorer** について

「NAS Host Explorer」は、インストールが終了すると、「スタート」メニュー内の「すべてのプログラム」→ 「Elecom」→「NAS Host Explorer」に登録されます。

ł	NAS Host Explorer				- • •
	サーバーアプライアンス名	IPアドレス-1	IPアドレス-2	RAID情報	残容量
	NSB-755-SERIES NSB-7554CW2 NSB-755	192.168.12.103 (DHCP) 192.168.12.102 (DHCP) 192.168.12.111 (DHCP)	-	修復待ち 正常 正常	C:48% D:99% C:48% D:99% C:81% D:82%
	<	III			ŀ
	ナスコール( <u>N</u> ) 接続	(C) マウント(M)		再検索( <u>R</u> )	閉じる(凶)

画面上に現在ネットワークで接続中の機器が表示されます。ネットワークに複数の NSB シリーズが存在する 場合は複数表示されますので、設定する NAS を選択します。

- ※ 機器が表示されない場合は、「再検索」を押してください。それでも表示されない場合は、NAS 機器の ケーブルなどの接続状況を確認してください。
- ※ 管理用 PC に複数のネットワークインターフェース(無線 LAN と有線 LAN など)が搭載されている場合、 NAS が接続されている以外のネットワークインターフェースを「無効」にしてください。
- ※ 複数の機器が画面上に表示された場合は、「サーバーアプライアンス名」や「IP アドレス」などの情報を 照合して選択してください。

#### <NAS Host Explorer 画面の説明>

4	ANAS Host Explorer				
	サーバーアプライアンス名 NSB-755-SERIES NSB-7554CW2 NSB-755	IPアドレス-1 192.168.12.103 (DHCP) 192.168.12.102 (DHCP) 192.168.12.111 (DHCP)	IPアドレス-2  -  -  -	RAID情報 修復待ち 正常 正常	7残容量 C:48% D:99% C:48% D:99% C:81% D:82%
		情幸	最ボックス		
ſ					
	ナスコール(N) 接続	(O) マウント(M)		再検索( <u>R</u> )	閉じる(※)

#### <情報ボックス>

- サーバーアプライアンス名:NAS に命名されたサーバーアプライアンス名(コンピュータ名)が表示されます。出荷時状態では「NSB-75S」と表示されます。
- IP アドレス-1:本製品の LAN ポート1に設定された IP アドレスが表示されます。括弧内には DHCP 割当か、固定 IP かを表示します。
- ・ IP アドレス-2:本製品の LAN ポート2に設定された IP アドレスが表示されます。
- ・ RAID 情報: RAID 機能搭載機種に関して、搭載された RAID の状態が表示されます。
- ・ 残容量: NAS 内の各ドライブの残容量がパーセントで表示されます。
- ・ グループ:NAS が所属しているワークグループ名が表示されます。
- ・ OS Version: NAS に搭載されている搭載されている OS が確認できます。
- ・ MAC アドレス-1:本製品の LAN ポート1の LAN I/Fの MAC アドレスが表示されます。
- ・ MAC アドレス-2:本製品の LAN ポート2の LAN I/Fの MAC アドレスが表示されます。

**<ツールボタン>** 

- ナスコール:このボタンをクリックすると選択された NAS がビープ音を発します。
   NAS 本体の液晶表示パネルに「NAS コール!」と表示されます(液晶表示パネル搭載モデルのみ)。
- ・ 接続(C):このボタンをクリックすると Explorer が起動し、共有フォルダにアクセスできます



マウント(M):このボタンをクリックすると、NASの共有フォルダをネットワークドライブとしてマウントできます。

ネットワーク ドライブの割り当	it 🛛 🛛	
	共有ネットワーク フォルダに接続して、接続にドライブ文字を書的当てる ことができます。ドライブ文字が書的当てられると、「マイ コンピュータ」か らそのフォルダにアクセスできるようになります。 接続するフォルダと使用するドライブ文字を指定してください: ドライブ(型): フォルダ(型): 「登192116800824F04b116 「例: ¥4サーバー¥共有 ごロクオントラに手接続する(B) 異なるユーザー名で掛けのよす	既定の共有フォルダ以外をマ ウントする場合は参照をクリッ クしてフォルダを指定します。
	<u>たらイン記憶地にサインアップするか、またはネットワークサ</u> <u>ーパーに接続します</u> 。	Windows ログインに指定して
	〈 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル	いるユーザ以外で NAS にアク
		セスする場合は別ユーザを指
		定可能です。

・ 設定(S):このボタンをクリックすると選択した NAS の設定画面にアクセスできます。DHCP サーバの無い環境で、NAS に IP アドレスが未設定の場合は、管理画面にアクセスする前に IP アドレスの設定画面が表示されます。

IPアドレスの設定ダイアログ		
選択されたホストには、有効なIPアドレスが設定されていませ		
ん。 ここで仮のIPアドレスを設定してください。		
○ 空いているIPアドレスを自動的に検出して割り当てる(@)		
● IPアドレスを指定する(S)		
- IPアドレスの設定		
IPアドレス(D: 192 . 168 . 2 . 1		
サブネットマスク(U): 255 . 255 . 0		
デフォルトゲートウェイ( <u>G</u> ): 0 0 0 0		
設定 キャンセル		

O空いている IP アドレスを自動的に検出して割り当てる
 ネットワーク内を検索し、割り振られていない IP アドレスを自動
 的に検出します。ネットワーク内の機器が全て機能している状態
 で選択してください。
 OIP アドレスを指定する
 手動で IP アドレスを設定します。

※ サブネットマスクを正しく入力しないと、動作に支障をきたす場合があります。

※ エラーメッセージが表示された場合は、もう一度正しい IP アドレスとサブネットマスク値を入力してください。 管理画面へのログイン方法などについては「NAS Host Explorer 経由での管理画面へのアクセスについて」 を御参照ください。

- ・ 再検索(R):このボタンをクリックするとネットワーク内から NSB シリーズを再度検索します。
- ・ 閉じる(X):このアプリケーションを終了します。

## **ONAS Host Explorer** 経由での管理画面へのアクセスについて

-	NAS Host Explorer				
	サーバーアプライアンス名 NSB-75S-SERIES NSB-75S4CW2	IPアドレス-1 192.168.12.103 (DHCP) 192.168.12.102 (DHCP)	IPアドレス-2 - -	RAID情報 修復待ち 正常	<u>残容量</u> C:48% D:99% C:48% D:99%
	NSD-785	192.106.12.111 (DHOF)	Web UI で接 リモートデス	続 クトップで接続	0.02%
			ArobaView (	こ接続	
	•	m			•
	ナスコール(N) 接続	(C) マウント(M)	設定(S)	再検索(R)	閉じる(※)

NAS Host Explorer を起動すると、上記画面が表示されます。

 $\bigcirc$ 

画面上に現在ネットワークで接続中の機器が表示されます。設定する NAS を選択し、「設定」ボタンをクリッ クします。通常の管理画面にアクセスする場合は「リモートデスクトップで接続」をクリックしてください。ブラウ ザ経由による簡易管理画面にアクセスするには「Web UI で接続」をクリックしてください。 Web UI 管理画面については第7章 ブラウザ経由での管理(Web UI)をご参照ください。

- ※ 機器が表示されない場合は、NAS 機器のケーブルなどの接続状況を確認し、「再検索」を押してください。また、複数の LAN ポートがある PC の場合(無線 LAN+有線 LAN など)、NAS が接続されている ネットワーク以外の LAN ポートを無効にしてください。
- ※ 複数の機器が画面上に表示された場合は、「サーバーアプライアンス名」や「IP アドレス」などの情報を 照合して選択してください。

Windows Storage Server 2012R2 では、一度に 2 人のユーザからしか管理画面にアクセ スできません。3 人以上でアクセスしようとすると「サインインしているユーザーが 多すぎます」というメッセージが表示されます。



管理者のユーザ名を選択し、パスワードを入力して OK を押します。

※ デフォルトの管理者ユーザ名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー :admin パスワード:admin

(パスワードは大文字・小文字を判別します。)



設定が完了すると、リモートデスクトップが立ち上がり、管理画面が起動します。

#### Oストレージ管理ツールについて

本製品には管理用のツールとしてリモートデスクトップ上から「サーバーマネージャー」と、「NAS ツール」を 利用することができます。「サーバーマネージャー」は、Windows Server 2012R2 標準のサーバ機能管理用 コンソールです。「NAS ツール」は本製品の拡張管理機能になります。

#### ・サーバーマネージャー

サーバーマネージャーでは製品出荷時の状態で、以下の項目が管理できます。(リモート)デスクトップ上の タスクトレイにあるサーバーマネージャーアイコンをクリックして起動します。

- IIS
- ファイルサービスと記憶域サービス
- 印刷サービス
- 役割と機能の追加
- ローカルサーバー (イベントビューアー、パフォーマンス)

È.	サーバー マネージャー	
€ - ガーバ- <del>-</del>	マネージャー・ダッシュボード ・ ②   🏴 智理(M) ソール(T) 表示(V) ヘルフ(H)	
E      Syシュポード     Dーカルサーバー     F コーカルサーバー     すべてのサーバー     び IIS     TS     アイル サービスと記憶域… ▷	サーバーマネーシャーへようこそ 1 このローカル サーバーの構成 2 役割と機能の追加	~
■ 印刷サービス	3 管理するサーバーの追加 最新情報(W) 4 サーバーグループの作成 非表示	Ξ
	(注意) (注意) (注意) (注意) (注意) (注意) (注意) (注意)	
	IIS     1       ① 管理状態     プアイル サービスと記憶     1       ① 管理状態     イペント     1       ① 管理状態     イペント       リービス     リービス       リービス     リービス	
	ハノオーマンス     ハノオーマンス       BPA 結果     BPA 結果	×

#### ・NAS ツール

NAS ツールでは、以下の項目が管理できます。

(リモート)デスクトップ上の「NAS ツール」アイコンをダブルクリックして起動します。

- お知らせメール
- 電源設定
- ・ステータスパネル
- ・ RAID ビルダー
- ・暗号化と自動ロック/アンロック設定(NSB-75S4DS2、75S4DW2、75S4CS2、75S4CW2 シリーズのみ)
- ・ナスコール
- ・ ArobaView サービスコントロールセンター
- VVAULT
- VVAULT AUDIT
- ・フォルダアナライザ
- Windows Server バックアップ
- ・ データフォルダバックアップツール
- NetStor Backup for Windows
- その他設定
- ・ ローカルユーザとグループ(ローカル)
- ・サポート





#### 〇ネットワークの設定

#### ※ NAS のネットワークの設定は、ネットワーク経由ではなく、USB マウス・キーボード・モニタを接続し、 直接操作で行う事を推奨します。

①本製品の(リモート)デスクトップ上のネットワークを右クリックして、プロパティ(R)を選択してください



②ネットワークと共有センターが表示されますので、アクティブなネットワークの表示より、イーサネットをクリックしてください。(2つのLANポートが両方ネットワークに接続されている場合は、2つのイーサネットが表示されます。この場合、 実際の接続ポートと画面上では次のような関係性になります。

LAN ポート1 イーサネット

- LAN ポート 2 イーサネット 2
- ※LAN ポートの番号と「イーサネット」、「イーサネット2」の関係性は必ずしも一致しません。これは Windows OS の仕様であり、異常ではありません。

アクセスの種類・	129 キント
接続:	単 イーサネット
アクセスの種類:	インターネット アクセスなし
接続:	📱 イーサネット 2

4	イーサネ	マットの状態	
全般			
接続			
IPv4 接約	続:		インターネット
IPv6 接約	続:	ネットワ-	-ク アクセスなし
メディアの	状態:		有効
期間:			00:06:43
速度:			1.0 Gbps
詳細(	E)		
動作状況—			
		and the second se	
	送信 —	- 🖊 —	受信
/ናイト:	送信 — 42,8	- 🔩 — 31	受信 115,562
ולרא: דסונדי 😚 אינוייייייייייייייייייייייייייייייייייי	送信 — 42,8 イ(P) 💱 無効にする	- • • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受信 115,562

③ローカルエリア接続の状態が表示されますので、プロパティをクリックしてください。

④インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)を選択しプロパティ(R)を選択してください。

□ イーサネットのプロパティ ×	
	インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ ? ×
接続の方法:	全般代替の構成
Intel(R) 82574L Gigabit Network Connection 構成(C)	ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を目動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を開い合わせ てください。
この接続は次の項目を使用します(0):	<ul> <li>IP アドレスを自動的に取得する(Q)</li> </ul>
✓ 県 Microsoft ネットワーク用クライアント	<ul> <li>次の IP アドレスを使う(<u>S</u>):</li> </ul>
	IP アドレス( <u>1</u> ):
Microsoft ネットリーク用ノアイルとノリンター共有 → Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol	サブネット マスク(U):
<ul> <li>✓ ▲ Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver</li> <li>✓ ▲ Link-Layer Topology Discovery Responder</li> </ul>	· デフォルト ダートウェイ(D): · · ·
	<ul> <li>DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(<u>B</u>)</li> </ul>
	○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
インストール(N) 削除(U) プロパティ(R)	優先 DNS サ−バ−( <u>P</u> ):
説明	代替 DNS サーバー(A):
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク期の通信を提供する。 映完のワイド エリア ネットワーク プロトコ	
INTEREST AND A STREET AND A STR	□ 終了時に設定を検証する(L) 詳細設定( <u>V</u> )
 のK   キャンセル	OK キャンセル

各項目を環境に合わせて設定してください。

#### ★注意★

ネットワーク経由で設定を変更する場合、変更する項目によっては変更した時点で管理画面との接続が解 除されてしまいます。引き続き変更する場合は再度管理画面にアクセスしなおしてください。

## Oコンピュータ名変更、ドメイン/ワークグループ参加設定

※NAS のコンピュータ名の設定は、ネットワーク経由ではなく、コンソールから行う事を推奨します。 ※コンピュータ名の変更は NAS の再起動を伴います。

①本製品の(リモート)デスクトップ上の PC を右クリックして、プロパティ(R)を選択してください



②システムウインドウが表示されますので、コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定より設定の変更をク リックしてください

コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定

コンピューター名:	NSB-75S
フル コンピューター名:	NSB-75S
コンピューターの説明:	
ワークグループ:	WORKGROUP



③システムのプロパティが表示されますので、コンピュータ名タブを選択し、変更ボタンをクリックします。

	システムのプロパティ
コンピューター名 ハードウェア	詳細設定
次の情報は、この二	コンピューターをネットワーク上で識別するために使われます。
コンピューターの説明( <u>D</u> ):	
	例: "IIS Production Server" または "Accounting Server"
フル コンピューター名:	NSB-75S
ワークグループ:	WORKGROUP
コンピューター名を変更したりた。 るには [変更] をクリックしてくた	メインやワークグループを変更した。 さい。
	OK         キャンセル         適用( <u>A</u> )

④コンピュータ名/ドメイン名の変更が表示されます。

コンピューター名/ドメイン名の変更 ×
このコンピューターの名前とメンバーシップを変更できます。変更により、ネット ワーク リソースへのアクセスに影響する場合があります。
コンピューター名( <u>C</u> ):
NSB-75S
フル コンピューター名: NSB-75S
詳細(M)
所属するグループ
O FX12( <u>D</u> ):
● ワークグループ( <u>W</u> ):
WORKGROUP
OK キャンセル

1)コンピュータ名の変更

コンピュータ名欄に本製品のコンピュータ名を入力して OK をクリックします。

2)ワークグループ名の変更・参加

所属するグループのワークグループラジオボタンを選択し、ワークグループ欄にワークグループ名を入力 して OK をクリックします。

3)ドメインへの参加

所属するグループのドメインラジオボタンを選択し、ドメイン欄に参加するドメイン名を入力して OK をクリックします。ドメイン参加に必要な(ドメイン参加の権限を持つ)ユーザ名とパスワードの入力を要求されますので、正しく入力して OK をクリックします。

変更後、再起動が要求される場合は NAS を再起動します。

### 〇電源 OFF(シャットダウン)方法

本製品は電源 ON 時は本体パワースイッチにて行いますが、電源 OFF に関しては管理画面よりシャットダウン処理を行います。

①管理画面の画面上下右端(赤枠内のどちらか)へマウスカーソルを移動し、チャームを表示させます。



②設定をクリックすると、設定メニューが表示されるので、電源をクリックし、「シャットダウン」を選択してください。さらに、シャットダウンの理由を選択して、「続行」をクリックするとシャットダウン処理を開始します。



#### 〇管理者パスワードの変更

本製品はデフォルトで「admin」と管理者パスワードが設定されていますが、セキュリティ上変更することをお 勧めします。ただし、変更したパスワードは紛失することの無いように厳重に管理してください。パスワードを 紛失すると、本製品の設定の変更などができなくなります。(管理者パスワードを紛失すると、システムリカ バリーが必要となります)

- 管理画面上で「ctrl」+「alt」+「end」キーを同時に押します。(リモートデスクトップ管理画面ではなく、直 接本製品にキーボード、マウス、モニタを接続して設定している場合は「ctrl」+「alt」+「del」キーを同時 に押します)
- <text>
- 2) 以下の画面が表示されますので、「パスワードの変更」をクリックします。



	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
¢	H Windows Storage Server 2012 R2

パスワードの変更画面が表示されますので、現在のパスワード、新しいパスワード、新しいパスワード
 の確認を入力し、「→」ボタンをクリックします。

4) パスワードが変更された旨を案内する画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。 以上でパスワードは変更されました。

パスワードの変更 パスワードは変更されました。 <b>OK</b>

# <u>第3章:ディスク・ボリュームの管理</u>

#### ORAID 構成の変更

ソフトウェア RAID 構築に不整合が発生した際や HDD 交換に不具合ドライブの特定と、簡単に確認及び修復 を行うことが可能です。また、プリセットされた他の RAID パターンに構成を変更する事が可能です。 ※RAID パターンを変更する場合、データエリア上の情報は消去されますので、ご注意ください。 プリセットされたパターン以外のボリューム構成はサポート外ですのでご了承ください

①NAS ツールの「RAID ビルダー」をクリックしてください。

6	NASツール	_ <b>D</b> X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へレプ(H)	
🧼 🏟 📊 🚺 🎫		
III NASツール	NASツール Ver 4.70	
	NASツールでは、お知らせメール、電源設定など、NAS 製ための機能をご利用いただけます。	と品を便利にご活用いただく
	たからセメール	
	一 暗号化と自動ロック/アンロック設定	
	ArobaView サービスコントロールセンター	
	Q         フォルダアナライザ	
	Windows Server バックアップ	
	🛛 💏 <u>รั–タフォルダバックアップツール</u>	
	NetStor Backup for Windows	
	🤣 その他設定	

②新しく RAID ビルダーのウインドウが表示されます.

9	RAIDE/149-	×
ボリュームの状態 ステータス ドライブ タイプ ●正常 C: ミラー ●正常 D: RAID 5	HDD1 HDD2 HDD3 HDD4	<b>再</b> スキャン 修復 ポリューム作成
メッセージ 正常		ディスクの管理を起動 閉じる

- ③「ボリューム作成」ボタンをクリックします。RAID パターンの選択画面が表示されますので、目的に応じた パターンを選択し、「RAID ボリュームを作成する」をクリックしてください。
  - ※「RAID ボリュームを作成する」を実行した後、5分~6分程度応答がなくなる事がありますが、これは 異常ではありません。

#### ★注意★

RAID ボリュームの変更/作成を行うと、C ボリューム以外のボリュームのデータは消去されます。 ボリューム作成の際はバックアップなどを忘れずに行ってください。

データ以外の共有設定やアクセス権の設定もクリアになります。

	RAIDボリューム作成		x
RAID動作モード <ul> <li>① パターン2</li> <li>〇 パターン2</li> <li>〇 パターン3</li> <li>〇 パターン4</li> </ul>	パターン1 HDD1 HDD2 HDD2 HDD3 HDD4	未割り当て	
	RAIDボリュームを作成する	閉じる	]



#### 選択できる RAID パターンは以下の通りです。





パターン3:ミラーX2





パターン4:ストライピング

O暗号化と自動ロック/アンロック設定 (NSB-7554DS2、7554DW2、7554CS2、7554CW2 シリーズのみ)

本製品がまるごと盗難にあった場合、あるいは内蔵のハードディスクユニットが持ち出された場合などに、本 製品に保存されているデータの漏洩リスクを低減する事を目的とした機能です。

本機能では、本製品のデータ領域をボリューム単位でまるごと暗号化してデータを保護する事を基本とした 上で、暗号化データへのアクセスを禁止(ロック)および許可(アンロック)する事が可能です。

#### ■■■■注意■■■■

- 本機能は拡張機能として提供されますので、初期状態ではインストールされていません。本機能をご利用になるためには、管理画面より「NAS 暗号化拡張機能」のセットアップを実行する必要があります。
- 暗号化を施す単位はボリューム単位になります。
- 本暗号化機能は、NFS 共有との併用はできません。
- 本暗号化機能は、ボリュームシャドーコピーとの併用はできません。
- 本暗号化機能使用時は「Windows Server バックアップ」、「データフォルダバックアップツール」は利用で きません。
- 本暗号化機能は、起動用システムボリュームには適用できません。

#### ■ディスク暗号化の概要と運用の流れ

暗号化の概要と運用の流れを図と共に説明します。

① 初期状態(非暗号化状態):



「NAS 暗号化拡張機能」のセットアップを行っただけの状態では、データは暗号化されません。

データの暗号化機能をご利用になるためには、論理ドライブにマウントされたボリュームを選択して、暗号化 ドライブの設定を行う必要があります。 ② ディスクの暗号化:



HDD 内のデータを暗号化します。オプションにより既存の HDD 内の非暗号化データを読み込み、暗号化してから HDD に上書きする事も可能です。暗号化の際にパスワードを登録します。このパスワードが暗号化した HDD にアクセスするための「キー(鍵)」となりますので、厳重に管理してください。

③ ロック状態:



暗号化ドライブに保存されているデータは、そのままでは読み取る事ができません。 この状態を「ロック状態」といいます。



④アンロック状態:

パスワードを入力する事により、暗号化ドライブに保存されているデータを自動的に復号して読み取る事が できるようになります。この状態を「アンロック状態」といいます。 アンロック状態の間は、ユーザーは暗号化/復号を意識せずにデータへアクセスできます。パスワードを入 力する替わりに、パスワードをデータ化したファイルを指定してアンロックすることも可能です。 パスワードをデータ化したファイルのことを「キーファイル」といいます。
⑤ディスクの暗号化解除:



暗号化済データが書き込まれた HDD を非暗号化データで上書きし、通常のドライブに戻します。

#### ■「NAS 暗号化拡張機能」のインストール

※暗号化機能を利用しない場合はインストールをしないでください。データ転送のパフォーマンス等に影響を及ぼします。

①管理画面にアクセスし、デスクトップ上の「NAS 暗号化拡張機能」アイコンをダブルクリックして起動します。



②「NAS 暗号化拡張機能」のセットアップを開始する前に知っておいていただきたい注意事項などが表示されます。よくお読みいただき、「次へ」ボタンをクリックしてください。



- ③インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。
- 「次へ」ボタンをクリックすると、セットアップ作業が開始されます。



④セットアップ作業が完了するまで、しばらくお待ちください。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 実行中						
「NAS暗号化拡張機能」のインストール作業を実行しています。						
しばらくお待ちください・・・						
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル						

⑤セットアップ作業が完了するとシステムの完了を案内するダイアログが表示されます。

「完了」ボタンをクリックしてインストールを完了してください。



※インストールが完了すると、デスクトップ上の「NAS 暗号化拡張機能」ショートカットは削除されます。

■「NAS 暗号化拡張機能」のアンインストール

※本アンインストール作業には NAS の再起動を伴います。NAS の再起動が可能な状態で作業を開始してく ださい。

※アンインストール作業を開始する前に、全てのドライブの暗号化を解除しておいてください。

①管理画面にアクセスし、コントロールパネルを起動してください。



②「プログラム」→「プログラムと機能」をクリックし「NAS 暗号化拡張機能」を選択して、「アンインストール」 ボタンをクリックしてください。



③確認のメッセージボックスが表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。

アンインストール作業が開始されます。



④アンインストール作業が完了するまで、しばらくお待ちください。

⑤アンインストール作業が完了するとシステム再起動を促すメッセージが表示されます。

「はい、今すぐ再起動します。」ラジオボタンを選択して「完了」ボタンをクリックしてください。 システムが再起動します。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 完了
「NAS暗号化拡張機能」のアンインストール作業が完了しました。 設定を有効にするために、システムを再起動する必要があります。
今9ぐ冉起動しよ9か?
○ いいえ、後で再起動します。
「空マ」ばか、たれいのして、セットマップを放了してくだけ)
元」「ドウンセル

以上で「NAS 暗号化拡張機能」のアンインストールは完了です。

アンインストールが完了すると管理画面のデスクトップ上に「NAS 暗号化拡張機能」アイコンが作成されます。



#### ■暗号化管理ツールの説明

NAS ツール内の「暗号化と自動ロック/アンロック設定」をクリックすると「暗号化と自動ロック/アンロックの 設定」ダイアログが起動します。



#### ■暗号化と自動ロックアンロック設定の起動

NAS ツール内の「暗号化と自動ロック/アンロック設定」をクリックすると、「暗号化と自動ロック/アンロック 設定」ダイアログが起動します。

※「NAS 暗号化拡張機能」のインストールが完了していない場合、NAS ツールメニューで「暗号化と自動 ロック/アンロック設定」をクリックするとエラーを示すメッセージボックスが表示されます。本機能をご利 用になる場合は、必ず事前に「NAS 暗号化拡張機能」のインストールを完了しておいてください。

# <暗号化と自動ロック/アンロック設定ダイアログについて>

ここでは、「NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログ内の情報について説明します。

第         NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定         ×	
オプション ( <u>P</u> )	
「暗号化ドライブ	
ドライブ     暗号化ステータス     ロック認証ファイル       ローカル ディスク(D)     アンロック中     なし	→→ ① 暗号化ドライブ情報ボックス
・ 自動ロック/アンロック機能を利用するためには、暗号化ドライブに対してロック認証ファイルを作成しておく必 要があります。 ドライブを選択して、「ロック認証ファイルの作成」ボタンをクリックしてください。 手動でロック/アンロックを行う場合は『ドライブ暗号化管理』ボタンをクリックしてください。	
②     ③     ④       下ライブ暗号化管理     ロック認証ファイルの作成     自動ロック/アンロック設定     閉じる	

①暗号化ドライブ情報ボックス	システムドライブを除いた、論理ドライブの一覧を表示します。
	それぞれ、ボリュームラベル(ドライブレター)、暗号化ステータス、
	ロック認証ファイルの状態についての情報が表示されます。
②ドライブ暗号化管理ボタン	ドライブの暗号化/暗号化解除を行うために、暗号化管理ダイアロ
	グを起動します。
③ロック認証ファイルの作成ボタン	暗号化済みドライブの自動ロック/アンロックのために必要な「ロッ
	ク認証ファイル」の作成と登録を行います。
	「ロック認証ファイル」登録済みのドライブが選択されている場合
	は、「ロック認証ファイルの削除」ボタンに名称が変わります。
	この場合、このボタンをクリックする事により、自動ロックアンロック
	用に登録されたロック認証ファイルを削除(登録解除)できます。
④自動ロック/アンロック設定ボタン	暗号化済みドライブのロック/アンロック状態を自動的に切り替え
	る設定を行うための「自動ロック/アンロック」設定ダイアログを開
	きます。
	「ロック認証ファイル」が登録された暗号化ドライブが一つ以上存在
	する場合のみ有効になります。
⑤閉じるボタン	設定ダイアログを終了します。

#### ■ロック認証ファイル保存先リストダイアログについて

「NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログでオプションメニュー内の「ロック認証ファイル保存先の設定」をクリックすると、「ロック認証ファイル保存先リスト」ダイアログボックスが開きます。

「ロック認証ファイル保存先リスト」ダイアログでは、ロック認証ファイルの保存先を管理することができます。

	ロック認証ファイル保存先リスト								
	F	コック認証ファイル保存先リスト							
1	-	名称	ステータス	新規追加 2					
		AD File Server	参照可能	編集 3					
	L			削除 ④					
		優先順を上げる     優先順を下げる       5     6	)						
		更新	ОК	キャンセル					

①ロック認証ファイル保存	ロック認証ファイルの保存先として登録されている設定の一覧が表示されます。
先リスト情報ボックス	参照先として優先順の高い設定が上から表示されます。アンロックの認証時に
	は基本的に一番上位に登録されている保存先の認証ファイルをアクセスしま
	すが、何らかの理由でアクセスできない場合、次の順位の保存先の認証ファイ
	ルにアクセスします。
②新規追加ボタン	ロック認証ファイルの保存先を新規に追加します。
	最大で5つまでの保存先を登録可能です。このボタンをクリックすると「ロック認
	証ファイル保存先の設定」ダイアログが開きます。
③編集ボタン	既存の保存先設定情報を編集します。このボタンをクリックすると「ロック認証
	ファイル保存先の設定」ダイアログが開きます。
④削除ボタン	情報ボックスから既存の設定を選択してからこのボタンをクリックすると設定情
	報が削除されます。
⑤優先順を上げるボタン	情報ボックスから既存の設定を選択してからこのボタンをクリックすると優先順
	位が一つ上に上がります。
⑥優先順を下げるボタン	情報ボックスから既存の設定を選択してからこのボタンをクリックすると優先順
	位が一つ下に下がります。
⑦更新ボタン	保存先リストの現在のステータスを更新します。

■ロック認証ファイル保存先の設定ダイアログについて

ロック認証ファイル保存先の設定
①ロック認証ファイルの保存先
<ul> <li>● ローカルに保存する</li> <li>○ ネットワーク共有フォルダに保存する</li> </ul>
2 名称:
③アォルダバス:
④ <sup>ユーザー名</sup> :
<b>⑤</b> パスワード:
〇K キャンセル

①ロック認証ファイルの	ロック認証ファイルの保存先を選択します。
保存先	・ローカルに保存する:NAS のローカルフォルダに保存します。
	(C:¥ProgramFiles¥VIA¥VEDS¥ulk)
	※この場合、NAS 製品がまるごと盗難にあった場合、盗難先でも自動的に
	アンロック状態へ移行してしまいます。
	・ネットワーク共有フォルダに保存する:NASから参照可能なネットワーク共有
	フォルダに保存します。
	※NAS製品本体が盗難にあった場合でもロック認証ファイルは本体に含ま
	れないため、自動的にアンロック状態へ移行することはありません。
	保存先としてネットワーク共有フォルダを選択した場合は、以下の②、③、
	④、⑤を設定する必要があります。
②名称	設定項目を識別するために、わかりやすい任意の名前を入力してください。
③フォルダパス	NAS からアクセス可能な共有フォルダのパスを指定します。
	(フォルダはあらかじめリード、ライトが可能な状態で作成しておく必要があり
	ます。)
	例> ¥¥192.168.2.10¥Public¥KeyFile
④ユーザー名	共有フォルダにアクセス可能なユーザー名を指定します。
	例> DomainName¥admin
⑤パスワード	共有フォルダにアクセス可能なユーザーのパスワードを指定します。

# ★注意★

# 暗号化機能の仕様として、③で指定した保存先フォルダ内に存在する、ロック認証ファイル以外のファイ ルは自動的に削除されますので、ロック認証ファイル以外のファイルは保存しないでください。

#### ■暗号化管理ダイアログについて

「NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログで「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリックすると「暗号 化管理」ダイアログが開きます。

「暗号化管理」ダイアログでは、暗号化ドライブの作成、暗号化ドライブの解除、暗号化ドライブのロックおよ びアンロック、パスワードの変更、キーファイルの作成を行うことができます。

ここでは、「暗号化管理」ダイアログ内の情報について説明します。



#### 〇情報ボックス

情報ボックスには NAS 内で現在利用可能なボリュームの一覧と、各ボリュームに関するパラメータが表示されます。各パラメータについては以下のようになります。

①ドライブ	現在 NAS に登録されている論理ドライブ(ドライブレター)をリストアップしています。
②ファイルシステム	論理ドライブのフォーマット形式を表示します。未フォーマットや暗号化ドライブが
	ロック中の場合は表示されません。
③タイプ	論理ドライブのタイプを表示します。下記の略称で表示されています。
	SYS:システムボリューム BT:ブートボリューム DYN:ダイナミックボリューム
④暗号化	各論理ドライブが暗号化済みかを表記しています。
	〇が暗号化済み、×が非暗号化ドライブとなります。また、暗号化が完了していない
	(暗号化処理を途中でキャンセルした等)場合には「未完了」と表示されます。
	※但し、該当ドライブの暗号化が未完了の場合でも、ロック状態の場合は常に〇が
	表示されますのでご注意ください。
⑤ロック	暗号化された論理ドライブがロック状態にあるかを表示します。
	ロック状態の場合が〇、アンロック状態の場合が×となります。
⑥ディスク容量	選択された論理ドライブの全体容量を表示します。
⑦GUID	選択された論理ドライブの GUID を表示します。

**Oツールボタン** 

暗号化に関する操作をツールボタンで行います。各ボタンの説明は以下をご参照ください。ボタンが該当する操作に対してボリュームが対応していない状態の場合はボタンがグレーアウトします。



:暗号化ボタン/ 暗号化ドライブを作成します。 暗号化されていないか、暗号化が完了していな いドライブが選択された場合に有効になります。 暗号化が完了していない暗号化ドライブを選択 してこのボタンをクリックすると、暗号化を継続する事ができます。



:暗号化解除ボタン/ 暗号化ドライブの暗号化を解除します。 暗号化ドライブか、暗号化が完 了していないドライブが選択された場合に有効になります。



:ロックボタン/ 暗号化ドライブをロックします。アンロック状態の暗号化ドライブを選択している場合に操作することが可能です。



:アンロックボタン/暗号化ドライブをアンロックします。 ロック状態の暗号化ドライブを選択してい る時に操作することが可能です。





:キーエクスポートボタン/パスワードをデータ化したファイル「キーファイル」を作成します。暗号化 ドライブを選択した時に表示されます。



:ボリューム修復ボタン/暗号化システムから認識されない暗号化ボリュームを修復するときに 利用します。 ■ディスク暗号化の手順

★注意★

ディスク暗号化作業は完了までに時間を要します。

暗号化作業中に電源障害等で不正シャットダウンが発生すると暗号化作業中のボリューム全体のデータが 破損する危険性があります。

UPS(無停電電源ユニット)等で電源対策を行うことを強くお勧めします。

①暗号化管理ダイアログを起動します。

NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定							
オプション ( <u>P</u> )							
「暗号化ドライブ							
ドライブ	暗号化ステータス	ロック認証ファイル					
ローカル ディスク (D:)	アンロック中	73L					
自動ロック/アンロック機能を利用するためには、暗号化ドライブに対してロック認証ファイルを作成しておく必							
要がゆります。 ドライブを選択して、「ロック認証ファイルの作成」ボタンをクリックしてください。 手動でロックノア・ロックを行う場合に打ドライブ辞号化管理しばない旅々しいクロマイだおい							
		youveeu					
「ドライブ暗号化管理」	>認証ファイルの作成   自動口ッ	クノアンロック設定 閉じる					

#### ②暗号化するドライブを情報ボックスより選択します。

			暗日	引化管理				x	
ボリューム	]								潘屯
ドライブ	ファイルシ	タイプ	暗号化	ロック	ディスク容量	GUID			医爪
C C	NTFS	SYS, BT, DYN	х		39.99GB	Volume{120a30cb	-1769-11e2-	$\checkmark$	
D	NTFS	DYN	×		2.61TB	Volume{42a244f9-	1770-11e2-		
								-	
<			Ш				>		
	~	(C)		-			~		
- 🔫	6	- E			K		0		
			_		1982	1			

۲		暗号化管理						
	#Ја∼А							
	ドライブ	ファイルシ	タイプ	暗号化	ロック	ディスク容量	GUID	
	10 C	NTFS	SYS, BT, DYN	×		39.99GB	Volume{120a30cb	-1769-11e2-
	D	NTFS	DYN	×		2.61TB	Volume{42a244f9-	-1770-11e2-
	<			Ш				>
							_	
	-		E.					6
					T			<b>~</b>

③暗号化ボタンをクリックします。

④選択したドライブのデータを保持したまま暗号化を行うかの確認ダイアログが表示されます。

暗号化 - 既存データの保持
現在保存されているデータを保持しますか?
● はい(データを保持したまま暗号化します)
○ いいえ(データは保持しません)
戻る 次へ キャンセル

- ・現在ボリュームに保存されているデータを暗号化し、ドライブに上書き保存する場合は、「はい」を選択 して「次へ」をクリックしてください。(⑤に進んでください)
- ・現在ボリュームに保存されているデータを消去して、暗号化ドライブとする場合は、「いいえ」を選択し、 「次へ」をクリックしてください。(⑥に進んでください)

★ポイント★

データを保持したまま暗号化する場合、保存してあるデータの量に関わらず、完了までに非常に時間を要し ます(数十時間)。

暗号化の対象ボリュームにデータが存在しない場合、又は機密度の低いデータの場合にはあらかじめデー タをバックアップした上で、「データを保持しない」を選択し、初期化方法で「クイックフォーマット」を選択してく ださい。「クイックフォーマット」による暗号化作業は数分で完了します。

⑤(「はい」を選択した場合)暗号化したデータを書き込む際の処理を選択するダイアログが表示されますの で、処理内容を選択して「次へ」をクリックします(⑦に進んでください)

暗号化 - 消去方法の設定				
暗号化したデータを書き込む際の処理を選択してください				
◎ 暗号化データをそのまま書き込む				
○ データを書き込む前に完全消去する				
(安全性は高いですが、時間がかかります)				
消去する回数 3回 🗸				
暗号化処理の前に、暗号化前のデータを完全消去することにより、より セキュアになります。				
消去する回数が多いほどよりセキュアになりますが、時間がかかります。				
展る 次へ キャンセル				

• 暗号化データをそのまま書き込む:

暗号化データを上書きする際にそのままデータを上書きします。セクタ単位で残った残留データの消去を 行わないので、暗号化以前のデータの読み出しができてしまう可能性が在ります。

・ データを書き込む前に完全消去する:

データを書き込む際に、以前に書き込まれているデータを完全消去します。消去する回数は1回から3回の間で設定可能で、消去回数を重ねることにより、元データの読み出しは、より困難になります。

⑥(「いいえ」を選択した場合)消去方法の設定ダイアログが表示されますので、データの消去方法を選択 して「次へ」をクリックします(⑦に進んでください)

暗号化 - 消去方法の設定		
ポリュームを初期化する方法を選択してください。		
◉ ঠ1৩ঠフォーマット		
○ データを書き込む前に完全消去する		
(安全性は高いですが、時間がかかります)		
消去する回数 3回 ✓		
戻る 次へ キャンセル		

・ クイックフォーマット

高速にデータ消去ができますが、ハードディスク上に残留データが残る可能性があります。また、初回の 利用でまだデータを書き込んでない場合は、特に危険性は無いので、有効です。

・ データを書き込む前に完全消去する

既に HDD 上に書き込まれているデータを完全に消去します。残留データを残さないので、よりセキュアな 環境を構築できます。

⑦パスワードを設定します。

暗号化 - パスワードの設定 ×
パスワードを設定してください。
パスワード: [
パスワードの確認:
パスワードは半角6文字以上、64文字以下で設定してください。
パスワードは、キーファイルとしてエクスポート可能です。
キーファイルはセキュリティー上、USBメモリなどの個別管理可能なメディアに 保存することを強くお勧めします。
戻る 完了 キャンセル

暗号化ドライブをアンロックする場合に必要となるパスワードを設定します。

パスワードは半角6文字以上64文字以下で指定します。

パスワードを設定後、「完了」ボタンをクリックすると暗号化が開始されます。

### ★重要★

このパスワードは今後この暗号化ドライブにアクセスするために必要になります。

忘れない様に控えておき、厳重に管理してください。

パスワードを紛失すると、暗号化ドライブに保存されているデータにはアクセスできなくなります。この場 合、データ復旧サービス等でも復旧は不可能となりますので、ご注意ください。 ⑧暗号化作業が開始されます。

	暗号化	x
ボリューム名:	[D:]	
ボリュームサイズ:	2674.53 GB	
暗号化処理の準備をしてい	ます。しばらくお待ちください。	
	停止	
【警告】 作業内に重適がopp(ch)る	レデーカが生われる可能体が生ります	
TF未平して電源がOFFになる ご注意ください。	∠ナ ™≫ル!大4ル (る門 蛇住がめります。	

暗号化作業の進捗状況が表示されます。

「停止」をクリックすると、暗号化作業を中断する事が可能ですが、作業を中断した場合、残りの領域はデー タが暗号化されませんのでご注意ください。中断した場合でも、必ず最後まで暗号化作業を完了しておいて ください。暗号化完了までの時間は選択した処理内容、暗号化レベル、ドライブ容量等により異なります。

⑨暗号化処理が完了すると以下のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

これで暗号化処理は完了です。

暗号化管理
ポリュームの暗号化を完了しました。
OK

データを保持しない設定で暗号化を実行した場合、ボリューム上の既存の共有フォルダは全て削除されま すが、共有フォルダ自体の設定はシステム上に残存していますので、必ず再起動を行ってください。

く参考:暗号化作業にかか	る時間>			
ドライブ内のデータを保持した状態で暗号化を行う場合、データボリュームの全セクタのデータ書き換えを				
行うので、完了までに時間	『を要します。			
以下に各容量モデル毎の	所要時間の目安を記載しますので、ご参照ください。			
※本数値は無負荷時のものになります。				
O4TB モデル	約 57 時間			
O8TB モデル	約 114 時間			
O12TB モデル	約 172 時間			
O16TB モデル	約 228 時間			
O24TB モデル	約 344 時間			

■■ 暗号化ドライブのお取り扱いに関する重要なご注意 ■■

- ■暗号化作業中、WindowsUpdate などによりシステムが再起動されることの無いようにあらかじめ設定を 行ってください。
- ■暗号化作業中は電源 OFF やスリープ、再起動をしないでください。データが失われる可能性があります。
- ■「電源設定」で自動終了/自動起動を設定されている場合は、暗号化作業中に作動しないよう、設定を解 除しておいてください。
- ■暗号化作業中は「自動ロック/アンロック機能」を無効にし、暗号化作業中に該当ボリュームがロック状態 にならないようにしてください。
- ■暗号化ドライブの RAID 構成を変更する場合は、必ず暗号化を解除した状態で行ってください。 ロックされた状態や、暗号化されたままの状態で RAID 構成を変更した場合、正常に反映されない場合が あります。

■暗号化ドライブをロックした状態では論理フォーマットを行わないでください。

# ■暗号化ドライブのアンロック方法(手動アンロック)

暗号化ドライブに保存されているデータへアクセスするためには、アンロックする必要があります。自動ロッ ク/アンロックが設定されていない場合、起動時はすべての暗号化ドライブがロック状態です。 アンロックは以下の手順で行ってください。

#### ①暗号化管理を起動します



②アンロックする暗号化ドライブを選択して、「アンロック」ボタンをクリックしてください。



#### ③パスワードの入力を要求されます。

アンロック ×
パスワードを入力してください。
パスワード: トーの参照
作業を続けるためには、パスワードの入力が必要です。 (*)パスワードを入力する代わりに、キーファイルも指定できます。
ОК キャンセル

パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックする事により、アンロックが可能です。 この画面で、「キーの参照」ボタンをクリックしてキーファイルを指定すると、パスワード入力ボックスに自 動的にパスワードが読み込まれます。そのまま「OK」ボタンをクリックしてアンロックする事も可能です。

④②で「キーによるアンロックボタン」をクリックした場合、キーファイルの選択画面が表示されますので、正しいキーファイルを選択して「開く」をクリックするとキーが読み込まれ、ドライブがアンロックされます。

		開く		X
€ ⊚ - ↑[	🗟 ▶ ライブラリ ▶ ドキュメント ▶	~ ¢	ドキュメントの検索	Q
整理 ▼ 新しい	フォルダー			:= • 🔟 🔞
▲☆ お気に入り	名前	*	更新日時	種類
■ デスクトップ ■ デスクトップ		検索条件に一致する	項目はありません。	
20 最近表示し	た場所 =			
▲ 3175リ ▶ 3175リ ▶ 3175リ				
▷ 🔛 ピクチャ ▷ 🛃 ビデオ				
▷ 🎝 ミュージック	× <	ш		>
	ファイル名(N):	¥	All Files (*.*)	~
			開<( <u>O</u> )	キャンセル

#### ■暗号化ドライブのロック方法(手動ロック)

アンロック状態の暗号化ドライブをロックする場合は、以下の手順で行ってください。 ①暗号化管理を起動し、ロックするドライブを選択。ロックボタンをクリックします。



確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると暗号化ドライブはロックされます。

※暗号化ドライブに保存されているファイルが使用中の場合など、ロックできない場合があります。

暗号化管理
ボリュームのロックに失敗しました。
通制的にボリュームをロックする事が可能ですが、その場合はボリューム上に保存されているファイルが開かれていない事を確認してください。
通制的にロックを実行しますか?
はい(Y)
いいえ(N)

ロックできない場合、以下画面が表示されます。

この場合、「いいえ」をクリックした後、開いているファイルやフォルダをすべて閉じてから再度ロックボ タンをクリックしてください。

それでも上記画面が表示される場合は、「はい」をクリックする事で強制的にロックする事ができます。 但し、開いているファイルが存在している場合は強制ロックを行うとファイルが壊れる可能性があります ので、確認の上強制ロックを行って頂きますようお願いします。

暗号化ドライブがロックされた状態でも、「ディスクの管理」や diskpart コマンドによりボリュームを削除 する事が可能です。

パスワードを忘れてしまった場合など、暗号化ドライブへアクセスできなくなってしまった場合には、これ らの方法でボリュームを削除してください(保存されていたデータは削除されます)。 反対に、誤ってアンロック中のボリュームを削除しないようご注意ください。

#### ■自動ロック/アンロックの設定方法

暗号化ドライブのロック/アンロックはセキュリティ上、原則的には手動で行う事をお勧めいたします。 本ソフトウェアでは、暗号化ドライブを自動アンロックする機能があります。

自動ロック/アンロックの機能をご利用になるためには、暗号化ドライブの「ロック認証ファイル」を用意する 必要があります。ロック認証ファイルの登録された暗号化ドライブが一つ以上存在する場合、「自動ロック/ アンロックの設定」が可能になります。

ロック認証ファイルは NAS ローカルとネットワーク共有フォルダのどちらかに保存できます。NAS ローカルへ 保存した場合、NAS 製品がまるごと盗難にあった場合に盗難先でも自動的にアンロック状態へ移行してしま いますので、この条件でも問題ない場合のみ、自動ロック/アンロック機能をご利用ください。

まずは、「ロック認証ファイル」を作成します。

#### 1. ロック認証ファイルの作成

①「暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログで、ロック認証ファイルを作成する暗号化ドライブを選 択して、「ロック認証ファイルの作成」ボタンをクリックします。

🤻 N	AS 暗号化と自動ロック/アンロック	り設定
オプション ( <u>P</u> )		
┌ 暗号化ドライブ		
ドライブ	暗号化ステータス	ロック認証ファイル
ローカル ディスク(D:)	ロック中	たし
自動ロック/アンロック機能を利用	月するためには、暗号化ドライブに対して	ロック認証ファイルを作成しておく必
そのゆうます。 ドライブを選択して、「ロック認証」 手動でロック/アンロックを行う場	ファイルの作成」ボタンをクリックしてくださ 全日「ドライブ暗号化管理」ボタンタクレッ	い。 っつしてください。
		////
ドライブ暗号化管理 ロッ:	ク認証ファイルの作成 自動中	ック/アンロック設定 閉じる

②「ロック認証ファイルの作成」ボタンをクリックした時点でロック認証佐ファイルの保存先が確定していない 場合、「ロック認証ファイル保存先の設定」ダイアログが開きますので、必要事項を入力し、「OK」をクリッ クします。

ロック認証ファイル保存先の設定					
ロック認証ファイルの保存先					
● ローカルに保存する ○ ネットワーク共有フォルダに保存する					
名称:					
フォルダバス:					
ユーザー名:					
パスワード:					
   OK   キャンセル					

③「ロック認証ファイルの作成」ダイアログが開きます。

ここで、アンロックするためのパスワードを入力するか、キーファイルを指定します。

ロック認証ファイルの作成	x
ローカル ディスク (D) ● <u>「パスワードを入力して作成</u> パスワード ○ ・ ・ マーイルを指定して作成	
ОК <del>1</del> еуел	

「OK」ボタンをクリックする事により、NAS 内部に「ロック認証ファイル」が作成されます。

これで、自動ロック/アンロックを設定するための準備が整いました。続いて、自動ロック/アンロックの 設定を行います。

※「ロック認証ファイル」が登録されている暗号化ドライブを選択した場合、「ロック認証ファイルの作成」ボ タンは「ロック認証ファイルの削除」ボタンに切り替わります。「ロック認証ファイルの削除」ボタンをクリッ クして、ロック認証ファイルを削除する事により、その暗号化ドライブを自動ロック/アンロックの対象か ら外す事ができます。

#### ★ロック認証ファイルについてのご注意★

ロック認証ファイルは、マザーボードが変わると無効になります。このため、本製品の修理などでマザー ボードが交換された場合、自動ロック/アンロックが機能しなくなります。

※この場合、「暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログのロック認証ファイルステータスが「エ ラー」または「なし」になります。この場合、新しいマザーボード上で再度ロック認証ファイルを作成する 事により、再び自動ロック/アンロックが機能するようになります。

#### 2. 自動ロック/アンロックの設定

暗号化ドライブのロック/アンロックをスケジュール構成し、自動的にロック/アンロックを行うようにします。 本設定を行うには前述の「ロック認証ファイル」の作成が必要です。

①「暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログで「自動ロック/アンロック」ボタンをクリックします。

※「自動ロック/アンロック」ボタンは「ロック認証ファイル」の準備ができている暗号化ドライブが一つ以上 存在する場合に有効になります。

📆 N/	AS 暗号化と自動ロック/アンロック	7設定	x
オプション ( <u>P</u> )			
┌暗号化ドライブ―――			
ドライブ	暗号化ステータス	ロック認証ファイル	
ローカル ディスク(D)	アンロック中	ОК	
, 自動ロック/アンロックの設定が同	T能です。		
「自動ロック/アンロック」ボタンを	クリックしてください。 とは「ロック認証ファイルの削除」ボタンダ	クリックしてください。	
手動でロック/アンロックを行う場	合は「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリッ	んしてください。	
			_
ドライブ暗号化管理 ロック	7認証ファイルの削除 自動口	ゥク/アンロック設定 閉じる	
			_

②「自動ロック/アンロック設定」ダイアログが表示されます。

	自動ロック/	アンロック設定	x
自動スケジュー 自動ロック/ア 自動ロック/ア 起動時、常にア 毎日定時刻に	ル設定 ンロックを使用しない ンロックを使用しない ンロック リック/アンロック	リトライ間隔 リトライ回 ▼ 5 00分 12 日	数 ♀ □
<ul> <li>指定曜日の指摘</li> <li>自動アンロック</li> </ul>	官時刻IICロック/アンロック	有効	
アンロック時刻		00:00 🗘	
自動ロック		有効	
ロック時刻		00:00	
		設定 キャンセ	μ

自動スケジュール設定	自動スケジュールに関する設定を以下の中から選択します。				
	自動ロック/アンロック	手動でのロック/アンロックのみを行う場合			
	を使用しない	に指定します。			
	起動時に常にアンロック	NAS 起動時にアンロックし、NAS シャットダウ			
		ン時に自動ロックする設定です。			
	毎日定時刻にロック/ア	毎日指定の時刻にロック/アンロックする設			
	ンロック	定です。			
	指定曜日の指定時刻に	一週間の各曜日ごとにロック時刻/アンロッ			
	ロック/アンロック	ク時刻を設定します。			
リトライ間隔とリトライ回数	自動ロック/アンロック時に他のタスクの影響などでコマンドが実行できない				
	際に、再度コマンドを実行するまでの間隔と回数を指定します。ここで指定し				
	た回数の再試行を行っても失敗した場合、「お知らせメール」機能によりメー				
	ルが配信されます(設定され	れている場合)。			
	※設定可能な値…「リトライ	間隔」: 119 分以下・「リトライ回数」: 359 回以下			
自動アンロック/アンロック	自動アンロックを実行する時刻を指定します。曜日ごとに指定する場合は実				
時刻	行する曜日のチェックボックスをチェックします。				
自動ロック/ロック時刻	自動ロックを実行する時刻を指定します。曜日ごとに指定する場合は実行す				
	る曜日のチェックボックスをチェックします。				
	│※自動アンロックの時刻と自動ロックの時刻は、両方とも必ず一つ以上設定				
	しておく必要があります。				

- ・暗号化ドライブがロックされた状態でも、「ディスクの管理」や diskpart コマンドによりボリュームを削除する事が可能です。 パスワードを忘れてしまった場合など、暗号化ドライブへアクセスできなくなってしまった場合には、これらの方法でボリュームを削除してください(保存されていたデータは削除されます)。 反対に、誤ってアンロック中のボリュームを削除しないようご注意ください。
- ・リモートデスクトップなどでログオン中に自動アンロック機能が働いた場合、ログオン中のユーザーからは暗号化ドライブが消えたように見える場合があります。「コンピュータ」から暗号化ドライブを参照できなくなった場合には、一度ログオフし、再度ログオンすることによってドライブを参照できるようになります。
- ・リモートデスクトップなどでログオン中に自動ロック機能が働いた場合、ディスクのフォーマットを促す ポップアップが表示される事があります。これは、ロックされた暗号化ドライブは Windows からは フォーマットされていないドライブとして認識されるために起こる事象で、ディスクの不具合ではござ いません。誤ってフォーマットやドライブの削除をなさいませんようご注意ください。

■パスワードの変更

セキュリティの為に定期的に暗号化パスワードを変更したい場合には以下の手順を参照してください。

①暗号化管理ダイアログを起動します。

②パスワードを変更する暗号化ドライブを情報ボックスで選択して、「パスワード変更ボタン」をクリックします。
※アンロック状態の暗号化ドライブを選択した場合、「パスワード変更ボタン」は無効になります。

パスワードを変更する前に、あらかじめ暗号化ドライブをロック状態にしておいてください。

٠				暗	号化管理			_ □ >	x
	ポリューム								
	ドライブ 1000	ファイルシ NTFS	タイプ SYS,BT,DYN	暗号化 ×	ロック	ディスク容量 39.99GB	GUID Volume{120a30cb	-1769-11e2-	
	D	NONE	DYN	0	0	2.61TB	Volume{42a244f9	-1770-11e2-	
	<			Ш				>	
	$\sim$		C	a (	n	0		$\sim$	
	V	6	1		T			Q	

③確認メッセージボックスが表示されます。内容をご確認の上、「はい」ボタンをクリックしてください。 「パスワードの変更」ダイアログが表示されます。

パスワードの変更
現在のパスワード: キーの参照
新しいパスワード:
新しいパスワードの確認:
□ 新しいパスワードで再暗号化します。
ご注意: パスワードを変更すると、以前にエクスポートしたキーファイルは無効になります。 キーファイルの管理にご注意ください。
OK キャンセル

確認のため、現在のパスワードを入力します。

パスワードを入力する代わりに「キーの参照」ボタンをクリックしてキーファイルを指定する事もできます。 続いて、確認用も含めて新しいパスワードを2回入力します。

ここで、「新しいパスワードで再暗号化します。」チェックボックスをチェックする事により、新しいパスワード を元に、暗号化ドライブを再暗号化できます。

# ★ご注意★

パスワードを変更すると前のパスワードで作成したキーファイルは無効になりますので、再度キーのエク スポート機能を利用してキーファイルを作成してください。 ■キーのエクスポート(キーファイルの作成)

暗号化したドライブをセキュアに管理するためにパスワードの代わりにパスワードより生成したキーファイル を作成することが可能です。キーのエクスポート(キーファイルの作成)手順は以下を参照してください。

①暗号化管理を起動、キーをエクスポートする対象の暗号化ドライブを選択し、キーエクスポートボタンをク リックします。



②暗号化の際に入力したパスワードを入力します。

キーのエクスポート
パスワードを入力してください。
パスワード: トーの参照
キーをエクスポートします。 キーファイルはセキュリティー上、USBメモリなどの個別管理可能なメ ディアに(保存することを強くお勧めします。
ОК <b>キャンセル</b>

③キーファイル保存先を選択し、ファイル名を入力後保存ボタンをクリックします。

•	名前を付けて保存
🕞 💿 🔹 👌 📑 ۲ خانه المحالي 🔹	いた・・・・         ・         C         ドキュメントの検索         P
整理 ▼ 新しいフォルダー	8== 👻 🔞
▲☆お気に入り へ 名前 ゆウンロード 雪 デスクトップ 目 3回 最近表示した場所	▲ 更新日時 種類 検索条件に一致する項目はありません。
▲ (⇒ 54ブラリ ▶ (⇒ 16キュメント ▶ (⇒ 16キュメント ▶ (⇒ 16)577 ↓ () ビデオ ∨ <	ш >
ファイル名(N): ファイルの種類(II): key file(*.*)	 ▼
● フォルダーの非表示	保存(5) キャンセル

確認アラートが表示されるので、はい(Y)をクリックすれば、キーファイルの作成は完了です。

★ご注意★
キーファイルは暗号化パスワードと同義となりますので、NAS 内の HDD 上に放置せず、USB メモリなど
に保管し、厳重に管理することをお勧めします。

#### ■暗号化解除の方法

HDD への暗号化処理を解除する場合には以下の手順を参照してください。

①暗号化管理を起動、暗号化解除する対象のドライブを選択し、暗号化解除ボタンをクリックします。

۲				暗	号化管理	1	_ <b>_</b> X
	ポリューム						
	ドライブ	ファイルシ	タイプ	暗号化	ロック	ディスク容量	GUID
	<u> </u>	NIFS	SYS, BT, DYN	×		39.99GB	Volume{120a30cb-1709-14e2-
	S.a.₽	NONE	DYN	0	0	2.61TB	Volume[42a244f9-1770-11e2-
	<			Ш			>
	~					•	
							2. 10
		C		_		•4	

<sup>※</sup>この時、対象の暗号化ドライブがアンロック状態の場合は先にロック処理を行ってください。

②確認アラートが表示されるので、はい(Y)をクリックします。すると、パスワードの入力画面になるので、暗 号化パスワード(もしくはキーファイル)を入力し、OK をクリックします。

暗号化解除 - パスワードの設定
パスワードかキーファイルを入力します パスワードを入力してください。 パスワード: 「キーの参照 作業を続けるためには、パスワードの入力が必要です。 (*)パスワードを入力する代わりに、キーファイルも指定できます。
戻る 次へ キャンセル

③選択したドライブのデータを保持したまま暗号化解除を行うかの確認ダイアログが表示されます。

暗号化解除 - 既存データの保持
現在保存されているデータを保持しますか?
◉ はい(データを保持したまま暗号化解除します)
C C C C C C C C C C C C C C C C C C C
戻る 次へ キャンセル

- ・現在ボリュームに保存されているデータを平文化し、ドライブに上書き保存する場合は、「はい」を選択し て「次へ」をクリックしてください。(④に進んでください)
- ・現在ボリュームに保存されているデータを消去して、平文化ドライブとする場合は、「いいえ」を選択し、 「次へ」をクリックしてください。(⑤に進んでください)

④(③で「はい」を選択した場合)平文化したデータを書き込む際の処理を選択するダイアログが表示されま すので、処理内容を選択して「次へ」をクリックします。(⑥に進んでください)

暗号化解除 - 消去方法の設定	x
暗号化解除したデータを書き込む際の処理を選択してください	
● 暗号化解除したデータをそのまま書き込む	
○ データを書き込む前に完全消去する	
(安全性は高いですが、時間がかかります)	
消去する回数 3回 🗸	
暗号化解除処理の前に既存データの完全消去を行うことにより、よりセキュアになります。	
消去する回数が多いほどよりセキュアになりますが、時間がかかります。	
	-
戻る 完了 キャンセル	]

- 暗号化解除したデータをそのまま書き込む:
   平文化データを上書きする際にそのままデータを上書きします。
   暗号化時に保存されていたデータがディスク上に残留する可能性があります。
   データを書き込む前に完全消去する:
- データを書き込む際に、以前に書き込まれているデータを完全消去します。 消去する回数は1回から3回の間で設定可能で、消去回数を重ねることにより、元データの読み出し は、より困難になります。

⑤(③で「いいえ」を選択した場合)消去方法の設定ダイアログが表示されますので、データの消去方法を選 択して「次へ」をクリックします。(⑥に進んでください)

暗号化解除 - 消去方法の設定
ポリュームを初期化する方法を選択してください。
๏ ๖イッbフォーマット
○ データを書き込む前に完全消去する
(安全性は高いですが、時間がかかります)
消去する回数 3回 🗸
戻る 完了 キャンセル

クイックフォーマット
 高速にデータ消去ができますが、ハードディスク上に暗号化時に書き込んだ残留データが残る可能性があります。(但し残留データは暗号化されたままです)

データを書き込む前に完全消去する
 既に HDD 上に書き込まれているデータ(暗号化時に書き込まれたデータ)を完全に消去します。
 残留データを残さないので、よりセキュアです。

⑥暗号化解除作業が実行されます。

暗号化解除作業が開始されます。既存データの処理内容、ドライブ容量などにより完了するまでの時間 は異なります。

データを保持しない設定で暗号化を解除した場合、ボリューム上の既存の共有フォルダは全て削除されま すが、共有フォルダ自体の設定はシステム上に残存していますので、必ず再起動を行ってください。

# OiSCSI ドライブの構成

本製品では iSCSI プロトコルでネットワーク経由でのストレージ提供が可能です。仕組みとしては、本製品内 に作成した仮想ディスクファイルをドライブスペースとして提供します。

<準備作業:iSCSI サービスのインストール>

 管理画面上のサーバーマネージャーアイコンをクリックし、サーバーマネージャーを起動し、ダッシュ ボードより「役割と機能の追加」をクリックします。



② 役割と機能の追加ウィザードが起動しますので「次へ」をクリックします。



③ インストール種類の選択画面になるので、「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択して 「次へ」をクリックします。

E.	役割と機能の追加ウィザード	×
≧ インストールの種类 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの没割 機能 確認 結果	役割と機能の追加ウィザード つい遅大 ウンストールのほかに、いたっていたいで、かか、また中の物理コンピューター、 いただいト・ディスク (VHD) にインストールできます。 ・ 役割へースまたは構築が一スのインストール つ割 役割サービス、おくび機能を追加して、1 きのサービ に構成します。 ・ リモート デスクトップ サービスのインストール 使想デスクトップ インラストラウタテ (VDI) に必要な役割サービスをインストール ション ベースのデスクトップ 環境を作成します。	Logitectus      K感アンパー Logitectus      Kの思コンピューター、またはオフライ      して、仮想マシン ベースまたはセッ
	< 軒(段) 茨へ(1) >	17.21-14(1) <b>*77.214</b>

 ④ 対象サーバーの選択画面になるので、「サーバープールからサーバーを選択」を選択し、サーバープー ルより本製品のホスト名を選択して「次へ」をクリックします。

対象サーバーのi	選択			Logitech
開始する前に	役割と機能をインストー	ルするサーバーまたは仮想	リハード ディスクを選択します。	
インストールの種類	● サーバー ブールからサーバーを選択			
サーバーの選択	○ 仮想ハード ディスクから選択			
サーバーの役割	サーバー ブール			
機能	7/8.6			
確認		1		
结果	名前	IP PFLZ	オペレーティング システム	
	LogitecNAS	100,000,000	- Martined Mindows Rowage 1	www.com.com.com
	4			
	1 台のコンピューターが5	見つかりました		
	このページには、Windo 用して追加されたサーバ サーバーは表示されませ	wws Server 2012 を実 ニーが表示されます。オフラ ん。	行しており、サーバー マネージャーの [サー イン サーバーや、データ収集が完了していい	パーの追加] コマンド ない、新たに追加された

⑤ サーバーの役割の選択画面になるので、「ファイルサービスおよび記憶域サービス」→「ファイルサービ スおよび iSCSI サービス」をクリックし、「iSCSI ターゲットサーバー」をチェックして「次へ」をクリックします。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>_</b> ×
サーバーの役割の	選択	対象サーバー WSS2012STD
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの投割 機能 確認 結果		説明 ISCSI ターグット・サーバーは、ISCSI ター ゲットのサービスと管理ツールを提供しま す。
	<前(P) 次へ(N	)> イストール(I) キャンセル

⑥ 機能の選択画面になるので、「次へ」をクリックします

	対象サーバー LogitecNAS
選択したサーバーにインストールする機能を1つ以上選択します。	説明 - NET Framework 3.5 では、NET Framework 2.0 名りの場応にアウル クッション作説用の新しいテクハロラが加 カリミレム・ユーザーは、魅力的タユ- サイ・ノント・コントは、動音の画人、情報保 ま、コーレルスではある違いと示水、カレロスを セデルルとすることができます。
	選択したサーバーにインストールする操能を1 つ以上選択します。 機能
⑦ インストールオプションの確認画面になるので、画面の通りに iSCSI サービスが選択されていることを確認して「インストール」をクリックします。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード
インストール オプシ	コンの確認 Wissouzsto
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、「インストール」をクルックしてください。
インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割	L1 20家にはのした第一つたって単期的に用物を動する オプションの機能を(管理シールなど)は、自動的に重視を行るため、このページに表示されている可能性が多ります。これ らのオプションの機能をインストールしない場合は、「副へ」をクリックして、チェックボックスをオフにしてください。
サーバーの役割 機能 確認 結果	ファイル サービスおよび記憶地サービス ファイル サービスおよび ISCSI サービス ISCSI ターダット サーバー
	場成設定のエクスポート 代替ソース バスの指定
	<前へ(E) 次へ(A ら インストール(I) キンセル

⑧ インストールが完了すると画面のようになるので、「閉じる」をクリックしてインストールを完了します。

<b></b>	役割と機能の追加ウイザード	
インストールの進行	<b>行状況</b>	対象サーバー WSS2012STD
開始する前に	インストールの進行状況の表示	
インストールの種類	も 機能のインストール	
サーバーの選択	WSS2012STD でインストールが正常に完了しました。	
機能	ファイル サービスおよび記憶域サービス	
確認	ファイルサービスおよび iSCSI サービス iSCSI ターゲットサーバー	
結果		
	このウィザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行	犬況を表示したり、この
	* ページを再度開いたりするには、コマンド バーの [通知] をクリックし、[タスクの詳細] ? 堪応於定のエクスポート	をクリックします。
	188428459459701	
	<前へ(P) 次へ(N) > 開し	ia \$72711

<iSCSIドライブの構成>

① 管理画面上のサーバーマネージャーアイコンをクリックし、サーバーマネージャーを起動します。



 ファイルサービスと記憶域・・より「iSCSI」をクリックするとiSCSI 仮想ディスク画面になるので、右上の「タ スク▼」をクリックしてプルダウンメニューより「新しい iSCSI 仮想ディスク…」をクリックします。



③ 新しい仮想ディスクウィザード画面になるので、サーバーを本製品、記憶域の場所に本製品のデータ領 域(デフォルトでは D:ボリューム)を選択して「次へ」をクリックします。

E	新しい iSC	SI 仮想ディスク ウィザ・	-*	_ <b>D</b> X
iSCSI 仮想ディス・	クの場所を選択			
iSCSI 仮想ディスクの場所 iSCSI 仮想ディスク名 iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターケット	サーバー( <u>S</u> ): パーズ LogitecNAS	状態 オンライン	クラスターの役割 非クラスター化	所有者ノード
ターゲット名およびアクセス アクセス サーバー 認証サービスを有効にする 確認 結果	この一覧には、フィルター います。     記憶域の場所:     ④ ポリュームで選択(⊻):	ーにより、 iSCSI ターゲット サ	ーバー役割がインストー	ルされたサーバーだけが表示されて
	ボリューム C D:	空未領域 29.9 GB	空母   ファイル シ 40.0 GB NTFS	
	iSCSI 仮想ディスクは、 〇 カスタム パスを入力して	、選択したポリュームの ¥iSC [〈ださい(工):	SIVirtualDisk (ご保行	字されます。 参照( <u>B</u> )
		<前へい	次へ(N) >	作成( <u>C</u> ) <b>キャンセル</b>

④ iSCSI 仮想ディスク名の指定画面になるので、名前に任意の名前を入力して「次へ」をクリックします。

h	新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード	_ 🗆 X
► iSCSI 仮想ディスクの場で iSCSI 仮想ディスクの場で iSCSI 仮想ディスクの iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターグット ターグット 名およびアクセス アクセス サーバー 総証サービスを有効にする 確認 結果	新しい ISCSI 仮想ディスク ウイザード 2名の指定 名前(A): [scsi01 説明(D): J(ス(I): D:VISCSIVirtualDisksWiscsi01.vhd	
	< 前へれ 次へ(N) > 作成(C)	キャンセル

⑤ iSCSI 仮想ディスクのサイズを指定画面になるので、仮想ディスクサイズを入力して「次へ」をクリックします。

R	2	新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード	-		x
	iSCSI 仮想ディスかの場所 isCSI 仮想ディスクの場所 isCSI 仮想ディスクタ isCSI 仮想ディスクのサイズ isCSI 仮想ディスクのサイズ isCSI クープット クーヴット名およびパクサビス アクビス サーバー 認証サービスを有効にする 確認 結果	新しい ISOSI 仮想デイスク ウイザード  クロサイズを指定  空を聴べ(E): 1.00.10  ジベベベンション  の電域のディスクはリウーマンスが高いため、ディスク アウセスの多いアブルケーションを取得するサーバーに 推測されて、の想い「ティスク」のご知道に登量仮想」に下 ディスクのサイズを使用して作成されます。テーク が追加または制除されてたサイズは変化しません。  ジ 密切 でで、個男・スクンを読みする  注 オンにすることは推奨されません。ディスクを 0 に消去すると、元になる記憶地に洗っているデータの 助治がずべて間障されたあった。(単純の)ークから保護されます。  ジ 密切 ので、彼のディスクには加速記憶地が有効に利用されるので、多くのディスク情域を使用しないアブルケーショ が出たまするの いてたくなります。  シ 密切 ので、パント・ジャイスクト・戦争では、戦争ではつかいたものディスクは注意されました。  シント・シーン  シント・シーン  シント・シーン  ク ご の 読のがっくろうた。他のディスクと読 予報所で、戦争に付いて、戦争にあることが、この (原語)  シント・シーン  シント・シーン  ク ご かいたます。  シーン  シント・シーン  シント・シ	_ 1		x
		< 颗へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 作成( <u>C</u> )	<b>+</b> †	ッンセル	,

⑥ iSCSI ターゲットの割り当て画面になるので、適宜選択して「次へ」をクリックします。(既存の iSCSI ター ゲットを選択した場合は⑪に移動してください)

iSCSI 仮想ディスクの場所	この iSCSI 仮想ディス 〇 既存の iSCSI ター	りを既存の iSCSI ターゲットに割り当て ゲット( <u>E</u> ):	るか、新しいターゲットを作成してい	ください。
ISCSI 1以限ナイスク名	ターゲット名	イニシェーター ID	說明	
ISCSI 102871290912				
カーボットタナトパフクセフ				
フランシンロロスのよびアクビス				
認証サービスを有効にする 確認				
認証サービスを有効にする 確認 結果		5		
認証サービスを有効にする 確認 結果	● 新いiSCSI ター	۶ур(T)		
認証サービスを有効にする 確認 結果	● 新しい ISCSI ター	۶»F(I)		
認証サービスを有効にする 確認 結果	● 新しい ISCSI 5	<sup>7</sup> νF(I)		

⑦ 新しい iSCSI ターゲットを選択した場合、ターゲット名の指定画面になるので、任意の名前を入力して 「次へ」をクリックします。

Ъ.	新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード
ターゲット名の指定 ISCSI 仮想ディスクの場所 ISCSI 仮想ディスクの考示 ISCSI かーゲット ターゲット名およびアウレス アクセス サーバー 変近サービスを有効にする 確認 結果	名前(A): [iscsi01] 提明(D):
	< 前へ(1) 次へ(1) > 作成(C) キャンセル

⑧ 新しい iSCSI ターゲットを選択した場合、アクセスサーバーの選択画面になるので、「追加」をクリックして、イニシエーターID の追加画面を表示し、イニシエーターを指定してください。

	2		<sup>(c)</sup>	(Lase)		イニクエーター 10 の追加	
iSCSI 仮想ディスクの場所	[追加]をクリックして、この	iSCSI 仮想ティスクにアクセスする iSCSI イ:	ニシエーターを指定してください。	1	シエーターを	識別する方法を選	沢してく…
iSCSI 仮想ディスク名 iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターゲット	<u>ш</u>	12			<ul> <li>イニシェーター コンピュ 2008 R2、Window</li> </ul>	ーターを ID で照会する (Windows S rs 7 以前ではサポートされません)( <u>Q</u> ):	Server
ターゲット名およびアクセス							参照( <u>B</u> )
アクセスサーバー 認証サービスを有効にする					) 9-0%r 0-//-01	ニシエーターのキヤッシュから離れする(当	2):
確認							
結果							
(	追加( <u>A)</u>	(R)					
					<ul> <li>) 違択した種類の他の/ 種類(工):</li> </ul>	<刀(E) 値(⊻):	
					IP アドレス ・	251-0814-100	参照(B)
	アクセス サーハーの詳細を	表示する					

⑨ 新しいiSCSIターゲットを選択した場合、認証サービスの選択画面になりますので、必要に応じて認証を 有効にして「次へ」をクリックします。

iSCSI 仮想ディスクの場所	必要に応じて、イニシエーター接続を認証するために CHAP プロト:	コルを有効にするか、イニシェーターで iSCSI
iSCSI 仮想ディスク名	ターケットを認証できるようにするためにリハース CHAP を有効にして □ CHAP を有効にする(E):	C(EBU)
iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターゲット	ユーザー名(以):	
ターゲット名およびアクセス	パスワード( <u>W</u> ):	
アクセスサーバー 認証サービスを有効にする	パスワードの確認入力( <u>C</u> ):	
確認	□ リバース CHAP を有効にする( <u>R</u> ):	
10.90	ユーザー名(旦):	
	パスワード( <u>W</u> ):	
	パスワードの確認入力( <u>C</u> ):	
	ANY LONBOUNDED.	
	CHAP および MIN-Z CHAP の詳細を表示する	

 ① 選択内容の確認画面になりますので、設定内容に問題が無ければ「作成」をクリックし、仮想ディスクの 作成を開始します。

おけのなってないの			
送大ドハ谷の4年記。 iSCSI 仮想ディスクの場所 iSCSI 仮想ディスクの場所 iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセス サーバー 認証サービスを有効にする 4年記 輸業	以下の設定が正し iscsi 仮想ティスか サーバー: クラスターの役割: パス: マークターの役割: パス: タークットのプロパティ 名前: アクセスサーバー IP アドレス: セキュリティ CHAP: WF - フィムロト	ハンことを確認し、[作成]をクリックしてください。 DP場所 LogiteCNAS 非クラスター化 DP:VISCSIVirtualDisksWiscsI01.vhd のプリ/ティ	

1) 仮想ディスクの作成が完了すると画面のようになりますので、「閉じる」をクリックしてウィザードを終了します。

iSCSI 仮想ディスクの場所 iSCSI 仮想ディスク名 iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセス サーバー	ISCSI 仮想ティスクか止吊に タスク ISCSI 仮想ティスクの作成 ISCSI ターゲットの作成 ターゲットへの ISCSI 仮想ティスクの;	進行状況	状態 完了 完了 完了 完了 完了	
認証サービスを有効にする 確認 <b>結果</b>				

## <u>第4章:共有フォルダの作成・管理</u>

Windows Storage Server 2012R2 は、SMB 接続、NFS 接続で共有リソースへのアクセスを提供し、クライアントーNAS 間でのファイルの受け渡しを行うことができます。

## Oファイルサーバー機能とは

NAS 上に保存されたフォルダに対してネットワーク経由でファイルの受け渡しを行うことができる機能で す。クライアントOS毎に標準で採用されているプロトコル(通信規格)が異なるので、アクセスするOSに 合わせたプロトコルでの設定が必要になります。

本製品でサポートしているプロトコルは以下の通りです。

・SMB(CIFS)・・・・WindowsOS、MacOSX との通信をサポート SMB3.0 サポート

・NFS・・・・・・Linux 系 OS との通信をサポート NFSv4 サポート

·FTP

•http(WebDAV)

ファイルサーバー機能の特徴としてファイルの受け渡しに「アクセス権」を設定することが可能です。これはネットワーク上の特定のユーザーのみにファイルへのアクセスを許可するものです。

ユーザーの特定には、SMB(CIFS)プロトコルの場合ユーザー名とパスワードが利用され、Windows ク ライアントの場合、デフォルトではクライアントにログインする際に使用されるログイン名とパスワードが 自動的に NAS にアクセスするためのユーザー名、パスワードとして利用されます。これと NAS 側に登 録されたユーザー名、パスワードと照らし合わせてユーザーを承認します。

注意:Workgroup エディションの場合、利用可能なユーザーアカウントは 50 アカウントまでです。 Standard エディションの場合、利用可能なユーザーアカウントに制限はありません。

いづれのエディションも1つのユーザーアカウントを利用できるのは1人のユーザーのみです。

# 〇ユーザーの作成

共有フォルダの作成に先立ち、アクセス権の設定に必要なユーザーを登録します。

①NAS ツールの「ローカルユーザーとグループ(ローカル)」をクリックします。



②「ローカルユーザーとグループ」が新しく表示されますので、「ユーザー」の上を右クリックし、「新しい

æ	lusr	mgr - [ローカル ユー	ザーとグループ (ロ	]ーカル)¥ユーザー]		_ □	x
ファイル(F) 操作(	(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🗢 🔿 🗾 💽	🖬 🔝 📾						
💭 🗁 JJIL ユーザ-	-とグループ (ローカ) 名前	フル ネーム	説	明	操作		
□ ユーザー □ ガルーフ	新しいユーザー(N)	ministen	נב	ンピューター/ドメインの管理用	ユーザー		•
	4877(1)	•	,L	21-9-/1×12/00/XI	他の操作		•
	最新の情報に更新(F)						
	一覧のエクスポート(L)						
	へルプ(H)						
<	> <		Ш	>			
新しいローカル ユーザ	ー アカウントを作成します。						

ユーザー(N)」を選択してください。

新しいユーザー ? ×
ユーザー名( <u>U</u> ): フル ネーム(E): 説明( <u>D</u> ):
<ul> <li>✓ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(<u>M</u>)</li> <li>□ ユーザーはパスワードを変更できない(<u>S</u>)</li> <li>□ パスワードを無期限にする(<u>W</u>)</li> <li>□ アカウントを無効にする(<u>B</u>)</li> </ul>
ヘルプ(出) 作成(E) 閉じる(Q)

③新しいユーザー登録の画面が表示されますので、必要事項を入力して「作成」をクリックします。

### 入力項目:

ューザー名(U)	クライアントログイン名を入力します。利用可能な文字は巻末の設
	定制限表にてご確認ください。
フルネーム(F)	任意(NAS の管理用)
説明(D)	任意(NAS の管理用)
パスワード(P)	クライアントログインパスワードを入力します。
パスワードの確認入力(C)	パスワードと同じフレーズを入力します。
	※パスワードに:記号「?[] ;:″、< >! ¥ / *」は使用できま
	せん。
	英字の大文字、小文字は区別しません。全角の文字は使用しない
	でください。

#### チェック項目:

ユーザーは次回ログオン時にパス	ユーザーは次回ログオン時に任意のパスワードを設定
ワードの変更が必要(M)	します。
ューザーはパスワードを変更できない	管理者が設定したパスワードで運用します。
(S)	
パスワードを無期限にする(W)	チェックを入れる事により半永久的に同じパスワードで
	運用可能です。
アカウントを無効にする(B)	チェックを入れる事により作成したユーザーをロックでき
	ます。

これで、ユーザーの作成は完了です。

## Oグループの作成

組織で NAS を利用する場合、アクセス権の設定をユーザー毎ではなく、ユーザーを束ねたグループ毎 に設定することが可能です。グループでアクセス権を設定することで、組織的な移動によるアクセス権 の変更が楽に行えます。

①NAS ツールの「ローカルユーザーとグループ(ローカル)」をクリックします。



②ローカルユーザーとグループが新しく表示されますので、「グループ」の上を右クリックし、「新しいグ



ループ(N)」を選択してください。

	新しいグループ ? X
グループ名( <u>G</u> ):	usergroup01
説明( <u>D</u> ):	
所属するメンバー( <u>N</u>	<u>4</u> ):
ietn(a)	ЖШФ(D)
迎加( <u>A</u> )	(四) 和昭
////(日)	

③新しいグループが表示されますので、グループ名・説明(任意)を入力し、「追加」をクリックしてください。

### ④以下の画面になりますので「詳細設定(A)」をクリックしてください。

※ActiveDirectory(Windows ドメイン)に参加している場合、場所をクリックして一覧から選択することでドメイン

ユーザーとローカルユーザーのどちらからユーザーリストを取得するかを選択することが「	きます。
---	------

ユーザー の選択	? ×
オブジェクトの種類の選択( <u>S</u> ):	
ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類( <u>O</u> )
場所の指定( <u>F</u> ):	
****	場所( <u>L</u> )
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
	名前の確認( <u>C</u> )
Ĭ 詳細設定( <u>A</u> ) ○k	( キャンセル

### ⑤「検索」をクリックしてください。

ユーザー の選択	×
オブジェクトの種類の選択( <u>S</u> ): ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパリ 場所の指定( <u>F</u> ): NSB-75S	オブジェクトの種類( <u>0</u> ) 場所( <u>L</u> )
共通クエリ         名前(A):       次の文字で始まる v         説明(D):       次の文字で始まる v         一無効になっているアカウント(B)         一無期限のパスワード(X)         前回ログオン時からの日数(1):       v	列( <u>C</u> ) 検索(N) 中止(I)
検索結果( <u>U</u> ): 名前 フォルダー	OK キャンセル

⑥ユーザーの一覧が表示されますので、グループに登録するユーザーを選択し「OK」をクリックしてく ださい。

ユーザー の選択		x
オブジェクトの種類の選択( <u>ら</u> ): ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシバル	オブジェクトの種類(O)	1
 場所の指定(F):	,	1
NSB-75S	場所( <u>L</u> )	]
名前( <u>A</u> ): 次の文字で始まる >	歹」( <u>C</u> )	
説明( <u>D</u> ): 次の文字で始まる ∨	検索( <u>N</u> )	
□ 無効になっているアカウント( <u>B</u> )	中止(工)	
<ul> <li>□ 無期限のパスワード(X)</li> <li>前回ログオン時からの日数(I): </li> </ul>	<del>9</del> 9	
検索結果( <u>U</u> ):	ок <i>‡</i> т>tл	
名前 フォルダー		^
admin     NSB-75S       ALL APPLI       ANONYMO       ArobaView       NSB-75S		=
戦 Autinentica 逸 BATCH 逸 CONSOLE 逸 CREATOR 逸 CREATOR 逸 DIALUP		
Everyone		~

⑦選択するオブジェクト名を入力してください(例)(E)にユーザーが表示されます。

複数のユーザーをグループ登録する場合は④~⑥を繰り返し(ユーザー分)作業を行ってください。 登録が完了しましたら、「OK」をクリックしてください

ユーザー の選択	x
オブジェクトの種類の選択( <u>S</u> ):	
ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類( <u>O</u> )
場所の指定( <u>E</u> ):	
NSB-75S	場所( <u>L</u> )
選択するオブジェクト名を入力してください ( <u>例)(E</u> ):	
NSB-75S¥admin	名前の確認( <u>C</u> )
□評細設定( <u>A</u> )0	K キャンセル .::

⑧「作成」をクリックしてください。これでグループの作成は完了です。

	新しいグループ	?	x
グループ名( <u>G</u> ):	usergroup01		
説明( <u>D</u> ):			
所属するメンバー( <u>M</u> )	:		
user01			
追加( <u>A</u> )	削除( <u>R</u> )		
∧レプ( <u>H</u> )	作成( <u>C</u> )	閉じる(	( <u>0)</u>

# ○新しい共有フォルダ(SMB)を作成する

 ①サーバーマネージャーのツリーウィンドウから、「役割」→「ファイルサービスと記憶域サービス」→ 「共有」をクリックします。共有の管理情報が表示されますので、共有エリアのタスクプルダウンメ ニューより「新しい共有」をクリックします。

$ \mathbf{E} $	● ・ ファイル	・サービスと記	意域サ−ビス・共有	・ 🕝   🚩 管理(M)	ツ−ル(T) 表示(V) へルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <del>其有</del> iSCSI	大相 すべての共有 フィルクー 共有 ・ LogitecNAS public	合計:1 22 新の情報に更新 ローカルパス 5 (1) d?¥public	ボリューム LogitecNAS 上の public ポリューム (D:) 容量: 15.0 GB 4% 使用 ● 使 ・ ***********************************	<u>タスク</u> ▼ 用領域: 614 MB 注領域: 14.4 GB
				ラオータの時には1953 クオータを設定するには、[クオータの構 す。	成] ダイアログ ポックスを開きま

②新しい共有ウィザードが起動しますので、まずはプロファイルを選択します。 ここでは「SMB 共有 簡易」を選択して「次へ」をクリックします。

🖻 新しい共有ウイザード 📃 🗖 🗙					
この共有のプロファ・ <u>フロファイルの選択</u> 共有の場所 共有名 他の設定 アクセス許可 確認 結果	10000月7 17-7月14月27日 17-7月14月27日 17-7月14日 17-711141 17-71141 17-7114114 17-7114114 17-7114114 17-7114114	説明( <u>D</u> ): この基本的なプロファイルでは、通常は Windows ベースのコン ビューターとファイルを共有するために使用する SMB ファイル共 有を最も速く作成できます。 ・ 一般的なファイルの共有に遠しています ・ 後で (プロパマイ) タイアログを使用して高度なオプションを 構成できます			
< 前へ(P) 次へ(N) > 作成(C) <b>キャンセル</b>					

③この共有のサーバーとパスの選択が表示されます。共有フォルダとするフォルダのサーバーと場所 を指定して「次へ」をクリックします。

ボリュームで選択する場合はボリュームの最上位層に「Shares」という共有フォルダが作成されます。 共有フォルダの場所を指定するには、「カスタムパスを入力してください」のラジオボタンにチェックし、パ スの入力又は参照ボタンをクリックし、本製品上の任意のフォルダを指定し、「次へ」をクリックします。

i 🖻	新し	い共有ワイサード		
この共有のサーハー	-と八人の選択			
	サーバー(S):			
ノロノアイルの連邦	サーバー名	状態	クラスターの役割	所有者ノード
共有の場所	NSB-75S	オンライン	非クラスター化	
共有名				
確認				
結果				
	共有の場所:			
	④ ボリュームで選択(⊻):			
	ボリューム	空き領域	容量 ファイル シス	( <del>Γ</del> Δ
	C:	80.8 GB	100 GB NTFS	
	D:	530 GB	531 GB NTFS	
		2240 total / For Vol	anna Eil Abumas	いつみいだ にわわます
	クリーク カフタレ パフを しわして	産がいたパウユームエの ¥31 /ポオロ/T)・	1dres 740-91-900#1	0003009-10/808.9+
		VCCV(I).		表昭(中)
		/		18-24(D)
		< 前八(P)	次へ(N) >	代成(C) キャンセル     キャンセル

④共有名の指定が表示されます。この共有フォルダの共有名と説明を入力し、「次へ」をクリックします。

险	新しい共有ウィザード	_ 🗆 X
<u>大</u> 大有名の指定 プロファイルの選択 共有の場所 <u>共有名</u> 働の定 アクセン許可 確認 諸葉	新しい共有ウィザード 共有の説明(D):	
	共有するVモート パス( <u>B</u> ): IYYNSB-75SYPublic2 (第へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > パ	

直接パスを入力することも可能です。指定のフォルダが存在しない場合は次の様なアラートが表示 され、ディレクトリを自動的に作成します。

新しい共有ウィザード	x
入力されたローカル パスは存在しません。[OK] をクリックしてこのディレクトリを作成するか、[キャンセル] をクリックして別のローカル パスを選択してください。	

⑤共有設定の構成が表示されるので、必要事項を選択して、「次へ」をクリックします。

<b>b</b>	新しい共有ウイザード
<ul> <li>上</li> <li>大有設定の構成</li> <li>プロファイルの選択</li> <li>共有の場所</li> <li>共有名</li> <li>他の設定</li> <li>アクセス許可</li> <li>確認</li> <li>結果</li> </ul>	新しい共有ウィザード × 「
	□ データアケセスの贈号化(E) 有効にすると、この共有に対するリモート ファイル アクセスが暗号化されます。これによりデータを共有に送受信 する際に許可されていないアクセスからデータが保護されます。このボックスがオンで、灰色表示になっている場 合には、管理者によってサーバー全体の暗号化がオンになっています。

⑥アクセスを制御するアクセス許可の指定が表示されます。

フォルダーのアクセス許可欄に現在のアクセス権の設定内容が表示されていますので、必要に応じ て「アクセス許可をカスタマイズする」をクリックして設定を変更します。

アクセス権に問題が無ければ「次へ」をクリックします。

P	新しい共有ウィザー	۴	_ <b>D</b> X
アクセスを制御する プロファイルの選択 共有の場所	アクセス許可の指定 共有のファイルに対するアクセフメテ可は、フォルム ポリシー (オブション)の組み合わせを使用して言	ジーのアクセス許可、 殳定されます。 冊	共有のアクセス許可、および集約型アクセス
共有名	スペーのアクセス計可、Everyone 読み取り等) フォルダーのアクセス許可(F):	10	
1001安定 <b>アクセス許可</b> 確認 結果	種類 プリンシバル 許可 BUILTIN¥Users 許可 BUILTIN¥Users 許可 CREATOR OWNER 許可 NT AUTHORITY¥SYSTEM 許可 BUILTIN¥Administrators 許可 BUILTIN¥Administrators パ アクセス許可をカスタマイズする(C)	アクセス 特殊 読み取りと実行 フルコントロール フルコントロール フルコントロール	適用先 このフォルダーとサブフォルダー このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル サブフォルダーとファイルのみ このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル このフォルダーのみ >
	< 前	<u>ヽ(₽)</u> 次へ( <u>N</u>	() > 作成( <u>C</u> ) <b>キャンセル</b>

#### <アクセス権追加例>

1)セキュリティの詳細設定画面で「追加」をクリックします。

			Public2 のセキ	ュリティの詳細設定	_ □
名前	6	C:¥Shares¥Public2			
所有	者:	Administrators (NSB-75S¥Adn	ninistrators) 変更( <u>C</u> )		
r⁄t	2ス許可	共有 監査 有効	3アクセス		
岸細 アクt	については 7ス許可ェ	ま、アクセス許可エントリをダブルクリックしてく こントリ:	ださい。アクセス許可エン	トリを変更するには、エントリを注	輩択し、 [編集] (使用できる場合) をクリックします。
_	種類	プリンシバル	アクセス	継承元	適用先
12	許可	SYSTEM	フルコントロール	C:¥	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
Ja.	許可	Administrators (NSB-75S¥Admi	フルコントロール	C:¥	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
2	許可	Users (NSB-75S¥Users)	読み取りと実行	C:¥	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
2	許可	Users (NSB-75S¥Users)	特殊	C:¥	このフォルダーとサブフォルダー
2	許可	CREATOR OWNER	フルコントロール	C:¥	サブフォルダーとファイルのみ
道	:h0( <u>0</u> )	制除因 表示凶			
組子	承の無効  オブジェク	<u>がに())</u> かのアクセス許可エントリすべてを、このオブ	ジェクトからの継承可能な	なアクセス許可エントリで置き換	₹5₽
					OK キャンセル 適用(A

2)アクセス許可エントリ画面になるので、「プリンシパルの選択」をクリックします。

1.	Public2 のアクセス昨可エントリ	_ <b>D</b> X
プリンシバル・ロ	ser01 (LOGITECNAS/use (1) カルシバルの温沢	
種類	作可	
アクセス許可:		
	]フルコントロール	
	) 変更 利徳み取り	
	特殊なアクセス許可	
		すべてクリア
		OK キャンセル

3) ユーザー又はグループの選択画面になりますので、「選択するオブジェクト名を入力して ください」の項にアクセス権を設定したいアカウント/グループの入力し、「名前の確認」を クリックし、エラーが発生しなければ「OK」をクリックします。

ユーザー または グループ の選択
オブジェクトの種類の選択( <u>S</u> ): ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル オブジェクトの種類(Q)
場所の指定( <u>F</u> ):
NSB-75S 場所( <u>L</u> )
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):
詳細設定( <u>A</u> )…     OK     キャンセル

4)アクセスエントリ画面に戻りますので、種類、アクセス許可の設定を行い、「OK」をクリックします。

3		Public2 のアクセス許可エントリ	_ <b>□</b> X
[	プリンシバリ	user01 (LOGITECNAS/user01) プロンシバルの選択	
	種類:	許可 🗸	
l			
	アクセス許可		
1			
		143906.7.7 CARTHI	すべてクリア
L			
			ок = ү>дл

<種類>

許可	選択したプリンシパルに対してアクセス許可の設定内容を許可する
拒否	選択したプリンシパルに対してアクセス許可の設定内容を拒否する

<アクセス許可>

フルコントロール	フォルダ内のデータの操作に制限はありません。
変更	フォルダ内のデータの読込み、書込み、変更までが行えま
	す。
読み取り	フォルダ内のデータの読込みが行えます。
特殊なアクセス許可	フォルダ内のデータに特殊なアクセス許可を適用できます。

5)セキュリティの詳細設定画面に戻りますので、「OK」をクリックします。

これでアクセス権 の追加作業は完了です。

		Public2 のセキ:	コリティの詳細設定	>
名前: 所有者:	C:¥Shares¥Public2 Administrators (NSB-75S¥Adr	ninistrators) 変更(C)		
アクセス許可	、 共有 監査 有効	なアクセス		
詳細については	t、アクセス許可エントリをダブルクリックして・ ントリ・	ださい。アクセス許可エント	りを変更するには、エントリを注	藍沢し、[編集] (使用できる場合) をクリックします。
1910	ブリンシバル	アクセス	継承元	源用先
<ol> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> <li>許可</li> </ol>	SYSTEM Administrators (NSB-755¥Admi Users (NSB-755¥Users) Users (NSB-755¥Users) CREATOR OWNER	フル コントロール フル コントロール 説み取りと実行 特殊 フル コントロール	C:# C:# C:# C:#	このフォルダー、セブフォルターをはファイル このフォルダー、サブフォルターをはファイル このフォルダー、セブフォルターをはファイル このフォルダーとロフォルターとはファイル このフォルダーとファイルのみ
追加(Q) 総承の無効 ] 子オブジェク	削除(E) 表示(L) がしの トのアクセス許可エントリすべてを、このオブ	ジェクトからの継承可能な	アクセス許可エントリで置き換	, える(P)
			(	

⑦共有フォルダの選択内容の確認画面になりますので、問題が無ければ「作成」をクリックして共有 フォルダを作成します。

<b>A</b>	新しい共有ウィザード	_ <b>□</b> ×
選択内容の確認 プロファイルの選択 共有の場所 共有名 他の設定 アクセス許可 種認 結果	以下の設定が正しいことを確認し、[作成]をクリックしてくださ 共有の場所 サーバー: NSB-755 クラスターの役割: 非クラスター化 ローカルパス: C:¥Shares¥Public2 共有のプロパティ 共有名: Public2 プロトコル: SMB アクセスペースの列挙: 無効 キャッシュ: 有効 BranchCache: 無効 データの暗号化: 無効	<u>5</u> 61.0
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	作成( <u>C</u> ) キャンセル

⑧共有フォルダ作成が完了すると以下のような画面になるので「閉じる」をクリックします。 以上で共有フォルダの作成作業は完了です。

5	新しい共	有ウィザード	_ <b>_</b> ×
結果の表示			
JUNCO LOD			
プロファイルの選択	共有が正常に作成されま	した。	
共有の場所	<u> </u>	進行状況	状態
共有名	SMB 共有の作成		完了
	SMBアウセス計可の設定		元」
アワビス計り			
結果			
		<前へ(P) 次へ(N):	閉じる キャレセル

# ○新しい共有フォルダ(NFS)を作成する

①サーバーマネージャーのツリーウィンドウから、「ファイルサービスと記憶域サービス」→「共有」をク リックします。

共有の管理情報が表示されますので、共有エリアのタスクプルダウンメニューより「新しい共有」をク リックします。

$\mathbf{E}$	⋺・ ・ ファイル	・サービスと記憶り	或サービス・共有	・ ②   ✔ 管理(M) ツール(T) 表示(V) へルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <b>共行</b> iSCSI	大有 すへての共有   合計 フイルター 大有 ▲ LogitecNAS (1) public	t: 1 9X9 新心以共有 最新の情報に更新 ローカルパス d:¥public	オリューム LogitecNAS 上の public     タスク ▼       ポリューム (D:) 音量:     15.0 GB       4% 使用     ● 使用領域: 614 MB       空空領域: 14.4 GB       ポリュームの概要に移動 >       クォーク       LogitecNAS 上の public       クォークが服達付けられていません。
				クォータを設定するには、「クォータの構成」 ダイアログ ポックスを開きま す。

②新しい共有ウィザードが起動しますので、まずはプロファイルを選択します。 ここでは「NFS 共有 簡易」を選択して「次へ」をクリックします。

ľ	新しい共有ウィザ	²-þ° <b> X</b>
IET この共有のプロファ・ <u> プロファイルの確釈</u> 共有の場所 共有名 他の設定 アクセス許可 確認 結果	MUUUUE1979 イルを選択 ファイル共有プロファイル(E): SMB 共有 - 簡易 SMB 共有 - 高度 SMB 共有 - 高度 NFS 共有 - 簡易 NFS 共有 - 簡易 NFS 共有 - 簡易	説明(D): この基本的なプロファイルでは、通常は Windows ペースのコン ビューターとファイルを共有するために使用する SMB ファイル共 有を最も速く作成できます。 ・ 一般的なファイルの共有に運しています ・ 後で [プロパティ] ダイアログを使用して高度なオプションを 構成できます
	<	(へ(P) 次へ(N) > 作成(C) ≠pンセル

③この共有のサーバーとパスの選択が表示されます。共有フォルダとするフォルダのサーバーと場所を 指定して「次へ」をクリックします。

ボリュームで選択する場合はボリュームの最上位層に「Shares」という共有フォルダが作成されます。 共有フォルダの場所を指定するには「カスタムパスを入力してください」のラジオボタンにチェックし、パ スの入力又は参照ボタンをクリックし、本製品上の任意のフォルダを指定し、「次へ」をクリックします。

i 🖻	新しい	\共有ウィザード			x
この共有のサーバー	とパスの選択				
プロファイルの選択	サーバー( <u>s</u> ):				
共有の場所	サーバー名	状態	クラスターの役割	所有者ノード	
共有名	NSB-75S	オンライン	非クラスター化		
からい					
1回り設た					
アクビス計刊					
维彩					
枯果	## 0.P?				
	共有の場所:				
		カキ領域	一 四月 コライル シフ	<i>₹1</i> .	
	() ()	20 8 GB 1	台里 リバル シス 00 GB NTES	.74	
	D:	530 GB 5	31 GB NTFS		
	ファイル共有の場所は、邏	択したポリューム上の ¥Sha	ares ディレクトリの新し	ノいフォルダーになります。	
	つ カスタム パスを入力してくた	Eさい(工):			
				参照(图	<u>3)</u>
			17 0 (01) -		477.0
			<u> </u>	1FDX( <u>C</u> ) +72	210

	新しい共有ウイザード		
土右々の指定			
プロファイルの選択	共有名(A): nfs-public		
共有の場所			
共有名	C:¥Shares¥nfs-nublic		
認証	<ol> <li>フォルダーが存在しない場合は、そのフォルダーが作成されます。</li> </ol>		
共有のアクセス許可	土有するリモート パフ/₽)・		
アクセス許可	NSB-75S:/nfs-public		
確認	··· · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
結果			
	$\sim$		
		++> +7	

④共有名の指定が表示されます。この共有フォルダの共有名と説明を入力し、「次へ」をクリックします。

指定のフォルダが存在しない場合は以下のアラートが表示され、ディレクトリを自動的に作成します。



⑤認証方法の指定画面が表示されるので、いずれかを選択して、「次へ」をクリックします。

<b>a</b>	新しい共有ウィザード		X	
Image: Control (Control (Contro) (Control (Control (Control (Contro) (Contro) (Control	XTLUUE(オリイゾート      CO NFS 共有に使用する認証方法を指定します。      Kerberos v5 認証     Kerberos v5 認証     Kerberos v5 認証と告合性 (Krb5)(L)     Kerberos v5 認証と考ら代(Krb5)(L)     サーバー認証なし     サーバー認証なし     サーバー認証なし     サーバー認証なし     UD/CID によるマップされていないユーザー アクセスを特別する(L)         UD/CID によるマップされていないユーザー アクセスを許可する(L)         E名アクセスを許可する(A)  NFS 認証なばセキュリティの詳細を表示する			
	< <u>、</u> (N)> 作成( <u>C</u> )	キャン	til	

⑥共有のアクセス許可を指定する画面が表示されますので、「追加」ボタンをクリックしてアクセス許可 の追加画面で必要なアクセス権を追加設定し、終了後「次へ」をクリックします。

<b>B</b>	亲	fしい共有ウイザード			- 5	x
共有のアクセス許可	「を指定					
プロファイルの選択 共有の場所	サーバーでは、以下に示 セス許可は、共有のアク 厳しいアクセス許可が適	されている順序で共有のアクセ セス許可エントリと NTFS アク 用されます。	ス許可を評価します。フ セス許可エントリの両方	ァイル共有に対す を考慮して決定さ	る最終的 れ、より制	日なアク 則限の
共有名	名前	アクセス許可	ルート アクセス	א-בעב		$(\uparrow)$
認証						
共有のアクセス許可						
アクセス許可						
確認						
結果						
	[追加( <u>A)</u> ] []編	集( <u>E)</u> 削除( <u>R</u> )	$\frown$			
		< 前へ(₽)	次へ(N) >	作成( <u>C</u> )	<b>\$</b> 72	121L

<アクセス権設定方法>

アクセス許可の追加画面で NFS 共有フォルダにアクセス可能とするデバイスを 以下の指定方法より選択して指定し、完了したら「追加」をクリックします。

をある。 アクセス許可の追加 ×
NFS 共有へのアクセス許可をホスト、クライアント、または netgroup に付与します。共有 のアクセス許可および言語のエンコードを選択してください。
○ ホスト( <u>H</u> ):
○ netgroup( <u>G</u> ):
○ <i>ケ</i> ライアント <i>ウ</i> iレ−フ <u>(C</u> ):
All <u>Machines</u>
言語のエンコード(L): 共有のアクセス許可(S): ANSI ▼ 読み取り/書き込み ▼
□ ルート アクセスを許可する (推奨しません)( <u>R</u> )
<u>追加(A)</u> <u>追加(A)</u>

Oホスト:アクセス可能なクライアントのホスト名を直接入力します。 Onetgroup:ホストグループ単位でアクセスを許可します。 Oクライアントグループ:クライアントグループ単位でアクセスを許可します。 OAll Machines:全てのクライアントからのアクセスを許可します。

□言語のエンコード:アクセスするクライアントの言語コードを設定します。 □共有のアクセス許可:指定したクライアントのアクセスの種類を指定します。 ⑦アクセスを制御するアクセス許可の指定画面になりますので、必要であればアクセス許可をカスタマ イズし、問題なければ「次へ」をクリックします。

2		新しい共有ウィザー	۴	_ 🗆 🗙
アクセスを制御する	るアクセス	許可の指定		
プロファイルの選択 共有の場所	共有のファ- ポリシー (オ	(ルに対するアクセス許可は、フォルダ プション) の組み合わせを使用して言	ーのアクセス許可、 役定されます。	共有のアクセス許可、および集約型アクセス
共有名	フォルダーの	アクセス許可(F):		
認証	種類	プリンシバル	アクセス	適用先
共有のアクセス許可	許可	BUILTIN¥Users	特殊	このフォルダーとサブフォルダー
アクセス許可	許可	BUILTIN¥Users	読み取りと実行	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
TO THE REAL PROPERTY OF THE PR	許可	CREATOR OWNER	フル コントロール	サブフォルダーとファイルのみ
9世前2-	許可	NT AUTHORITY¥SYSTEM	フル コントロール	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
結果	許可	BUILTIN¥Administrators	フル コントロール	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
	許可	BUILTIN¥Administrators	フル コントロール	このフォルダーのみ
	<			>
	アクセス	許可をカスタマイズする(C)		
		< 前/	() 次へ(N)	)> 作成(C) キャンセル

⑧設定内容の確認画面になりますので、問題が無ければ「作成」をクリックして共有フォルダを作成し

#### ます。

B	親	行しい共有ウィザード	_ <b>□</b> ×
▶ 選択内容の確認 プロファイルの選択 共有の場所 共有名 認証 共有のアクセス許可 アクセス許可 確認 離果	親 以下の設定が正し 共有の場所 サーバー: クラスターの役割: ローカルパス: 共有のプロパティ 共有名: プロトコル:	んい共有ウィザード いことを確認し、[作成] をクリックしてください NSB-755 非クラスター化 C:¥Shares¥nfs-public nfs-public NFS	•
		<前へ( <u>P</u> ) 次へ(N) > イ	F成( <u>C)</u> またンセル

⑨共有フォルダが完成すると以下のような画面になるので、「閉じる」をクリックします。 これで NFS 共有フォルダの作成手順は以上です。

<b>a</b>	新しい共	有ウィザード	_ 🗆 X
結果の表示			
プロファイルの選択	共有が正常に作成されま	した。	
共有の場所	970	進行状況	状態
共有名	NFS 共有の作成		二 完了
認証	NFS アクセス許可の設定		二 完了
共有のアクセス許可			
アクセス許可			
確認			
結果			
		<前へ(P) 次へ(N) :	閉じる アンセル

## 〇共有フォルダアクセス権の設定変更(SMB)

共有したフォルダに共有フォルダのアクセス許可を割り当てることができます。共有フォルダのアクセ ス許可は次の 3 種類です。これらのアクセス許可は、ローカルまたはドメインのユーザーとグループに 追加することが可能です。

共有フォルダのアクセス許可

アクセス許可	内容
	フォルダ内のファイルとサブフォルダを表示できます。また、ファイルの
一記の取り	内容、属性、アクセス許可を表示し、アプリケーションを実行できます。
亦五	[読み取り]に加えて、ファイルとサブフォルダの追加と削除ができま
変史	す。また、ファイルの内容を変更できます。
フルコントロール	ファイルに対してすべての操作ができます。

最終的なユーザーのアクセス許可は、NTFS アクセス許可と共有フォルダのアクセス許可の制限の高 い方が採用されます。例えば、NTFS アクセス許可が、[読み取り]で、共有フォルダのアクセス許可が [変更]の場合、最終的なアクセス許可は[読み取り]になります。

①サーバーマネージャーのツリーウィンドウから、「ファイルサービスと記憶域サービス」→「共有」をクリックします。

共有の管理が表示されますので、設定変更する共有フォルダを右クリックし、プロパティを選択します。



②共有フォルダのプロパティが表示さますので、「アクセス許可をカスタマイズする」ボタンをクリックします。

12		р	ublic のプロパティ		
public					
P					
A 61	べて表示	マクトゥフ	計画		
主权		JUCX	5 <b>7</b> 9		
PUCKatel		#方のファイ		0700787	サラクマクセンア
BR/E		一只、および第	「約型アクセスポリシー(オプション)	の組み合わせを使	用して設定されま
管理ノロバティ	+	す。			
		共有のアクセ	Zス許可:Everyone 読み取り専用	Ħ	
		フォルダーの	アクセス許可(E):		
		種類	プリンシバル	アクセス	適用先
		許可	BUILTIN¥Users	特殊	このフォルダーとサン
		許可	BUILTIN¥Users	読み取りと実行	このフォルダー、サン
		許可	CREATOR OWNER	フル コントロール	サブフォルダーとファ
		許可	NT AUTHORITY¥SYSTEM	フル コントロール	このフォルダー、サン
		許可	BUILTIN¥Administrators	フル コントロール	このフォルダー、サン
		許可	BUILTIN¥Administrators	フルコントロール	このフォルダーのみ
					)
		アクセス	許可をカスタマイズする( <u>C</u> )	/	
			OK	キャンセー	L 適用(A)

設定方法は第4章の「新しい共有フォルダを作成する(SMB)」の⑥項を参照ください。

設定が完了したら「OK」をクリックします。

# Oフォルダアクセス権の設定変更(NTFS)

NTFSでフォーマットしたボリュームのファイルとフォルダにNTFSアクセス許可を割り当てることができます。基本となるアクセス許可は、次の 6 種類です。これらのアクセス許可は、ローカルまたはドメインのユーザーとグループに追加することが可能です。

アクセス許可	内容
	フォルダ内のファイルとフォルダを表示できます(フォルダのアクセス許
フォルタ内谷の一見衣木	可のみ)。
読み取り	ファイルとサブフォルダの内容、属性、アクセス許可を表示できます。
読み取りと実行	ファイルとサブフォルダの内容、属性、アクセス許可を表示し、アプリ
	ケーションを実行できます。
書き込み	ファイルとサブフォルダの内容を表示と変更ができます。
亦五	ファイルとサブフォルダの内容を表示と変更できます。また、削除をお
変史 	こなうことができます。
フルコントロール	ファイルとサブフォルダに対してすべての操作ができます。

NTFS アクセス許可

①管理画面の「コンピュータ」をダブルクリックし、設定を変更したいフォルダを選択。右クリックで「プロ パティ」を選択します。



②該当フォルダのプロパティ画面が表示されますので、「セキュリティ」タブをクリックし、「編集」ボタンを クリックします。

- ボリューム (D:)のプロ	ロパティ	x
以前のバージョン クォータ カスタマイ 全般 ツール ハードウェア 共同 オブジェクト名: D:¥	で <u>ガ類</u> NF セキュリティ シャド	iS 共有 ウコピー
ヴループ名またはユーザー名( <u>G</u> ): 梁 Everyone 梁 CREATOR OWNER 梁 SYSTEM 名 doministrators (LOCITECNAS¥Adm	ninistrators)	
& Users (LOGITECNAS¥Users)	(E# (P)	
	編集(E) 許可 拒否	
フル コントロール		^

③フォルダのアクセス許可が表示されますので、既存のアクセス権を変更する場合はグループ名また はユーザー名から該当のグループ名/ユーザー名を選択して、[ユーザー名]のアクセス許可エリア でチェックボックスを選択しなおしてください。

既存のアクセス権を削除する場合は同じくグループ名/ユーザー名を選択して「削除」ボタンをクリックします。

🌡 ボリューム (D:)	のアクセス許可	x		
セキュリティ				
オブジェクト名: D:¥				
グループ名またはユーザー名( <u>G</u> ):				
Service Everyone				
CREATOR OWNER				既存のアクセス権を選択
Administrators (LOGITECNA	S¥Administrators			
& Users (LOGITECNAS¥Users	)			
	追加( <u>D</u> )	削除( <u>R</u> )		ᇃᇬᇆᇍᄹᇭᇓᅇᇓᇵᄖᇃᇰᇅᇰᄹᇭᅆ
アクセス許可(P): Everyone	許可	拒否	」」成任	アクセス権の削除・新規アクセス権の追加
フル コントロール				
変更				
読み取りと実行				アクセス権の種別の変更
フォルダーの内容の一覧表示				
読み取り				
アクセス制御とアクセス許可の詳細を表	<u>示します。</u>			
ОК	キャンセル	適用( <u>A)</u>		

新規にアクセス権を設定する場合は「追加」ボタンをクリックし、ユーザー/グループを追加、設定するアクセス種別を選択してください。設定が完了したら「OK」をクリックします。

# 〇共有フォルダアクセス権の設定変更(NFS)

 ①サーバーマネージャーのツリーウィンドウから、「ファイルサービスと記憶域サービス」→「共有」をク リックします。共有の管理が表示されますので、設定変更する NFS 共有フォルダを右クリックし、プロ パティを選択します。

$\mathbf{E}$	●・ ・・ ファイル	サービスと記憶域サービス	・共有	・ ② │
	サーバー ボリューム ディスク	大方     すべての共有   合計: 1       フィルター     ク	<u>977</u> ▼	ホリューム LogiteCNAS 上の public タスク ▼ ポリューム (D:) 容量: 15.0 GB
	記憶或ノール 共有 iSCSI	共有 ローカル バス ▲ LogitecNAS (1) public d:¥public		4% 使用
			クォータの構 共有の停止 プロパティ	成

②プロパティが表示されますので、「NTFS アクセス許可」をクリックしてください。

1	nfs-public のプロパティ	-		x
nfs-public すべて表示 全般 + <u>認証 -</u> 共寺の79427年可 + NTFS アクセス許可 + 管理ノロバティ +	認証 Kerberos v5 認証 ✓ Kerberos v5 認証と整合性 (Krb5)( <u>K</u> ) C Kerberos v5 認証と整合性 (Krb5i)( <u>I</u> ) Kerberos v5 認証とプライバシー (Krb5p)( <u>R</u> ) <b>サーバー認証なし</b> サーバー認証なし サーバー認証なし UD/GID によるマップされていないユーザー アクセスを許可する( <u>U</u> ) ○ E名アクセスを許可する( <u>A</u> )			
	OK         キャンセル	適	用( <u>A</u> )	

	nfs-public のプロパティ	L	-   -
nfs-public			
すべて表示 全般 + 認証 + 共有のアクセス許可 + NTFSでセス許可 -	NTFS アクセス許可 共有のファイルに対するアクセス許可は、フォルダ- アクセスポリシー (オプション) の組み合わせを使り	-のアクセス許可、共有のアクセス許可、お 用して設定されます。	よび集約型
管理ノリハティ ◆	RATE OF CALL ALL CALL ALL CALL ALL ALL ALL ALL	アクセス 適用先 物殊 このフォルダーとサブファ 読み取りと実行 このフォルダー、サブファ フル コントロール サブフォルダーとファイル フル コントロール このフォルダー、サブファ フル コントロール このフォルダー、サブファ フル コントロール このフォルダーのみ II	ロレダー ロレダーおよびフ のみ ロレダーおよびフ ロレダーおよびフ >

③共有フォルダのアクセス許可が表示されますので、必要な設定を行い「OK」をクリックしてください。

## Oクォータについて

Windows Storage Server 2012R2 には、フォルダクォータ機能が搭載されており、フォルダ単位で利 用可能容量の上限値を設定することができます。クォータには FSRM クォータ(フォルダクォータ)と NTFS クォータ(ユーザークォータ)が存在します。二つの違いは次の通りです。

機能	FSRM クォータ	NTFS クォータ
制限対象	フォルダ単位	ボリューム上のユーザー単位
	ボリューム単位	
使用量の算出	実際のディスク領域	論理ファイルサイズ

# Oクォータの設定(FSRM クォータ/フォルダクォータ)

FSRM クォータでは、フォルダ単位で利用可能容量の上限値を設定することができます。

 ①サーバーマネージャーのツリーウィンドウから、「ファイルサービスと記憶域サービス」→「共有」をク リックし、共有の管理を表示します。設定する共有フォルダを選択し、クォータエリアのタスクプルダ ウンメニューより「クォータの構成」を選択します。

È.			サーバー	マネージャー	
$\mathbf{E}$	। • • • ৴ <b>ঢ়</b> ৴৴	ル サービスと記憶域サ	ナービス・共有		・ ② │ 『 管理(M) ツール(T) 表示(V) ヘルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <u>共有</u> iSCSI	大有 アイズの共有   合計: 2 フィルター 共有 ロー ・segneenves (2) nfs-public 高: public d:	ρ     Ξ       -ħμ /ťZ       ¥nfs-public       ¥public	920 -	ホリューム LogitecNAS 上の nfs-public タスク ▼ 新しいポリューム (E:) 容量: 3.97 GB 14.1% 使用 ● 使用領域: 572 MB ● 空き領域: 3.41 GB ・ クォータ LogitecNAS 上の nfs-public タスク クォータ LogitecNAS 上の nfs-public タスク ・ クォータを設定するには、[クォータの構成] ダイアログ ポックスを開きます。
					2012/10/24

②クォータの構成が表示されます。クォータテンプレートを選択し、「OK」をクリックします。これでクォータの設定は完了です。

<b>B</b>	クォータの構成	x
クォーク	タの構成	
サーバー: 共有名: フォルダー	名: NSB-75S Public パス: D:¥Public	
র্∧া	てのユーザーのクォータを目動的に作成および適用する	
100 M 200 G 200 M 250 M	アンフレードの選択(Q): B 制限 ^ B ボリュームの使用率の監視 B 制限 (50 MB の拡張あり) B 拡張制限 - B の世界の影響	
=5.70 M		
テンプレー デンプレー 制限: 通知のし 859 959 1009	- ト名: 100 MB 制限 100 MB 八ード たい値: 3 6 - 電子メール 6 - イベント、電子メール 6 - イベント、電子メール	
	ОК <b>キャンセル</b>	

# Oクォータの設定(NTFS クォータ/ユーザークォータ)

NTFS クォータでは、ボリューム単位でユーザーが使用できるディスクサイズを制限することができます。

①管理画面の「コンピュータ」をダブルクリックし、設定を変更したいボリュームを選択。右クリックで「プ

ロパティ」を選択します。



②該当ボリュームのプロパティ画面が表示されるので、「クォータ」タブを選択してください。 以下の画面が表示されますので必要事項にチェックを入れ「OK」をクリックしてください。

全般         ツール         ハードウェア         共有         セキュリティ         シャドウ コピー           以前のパージョン         クォータ         カスタマイズ         分類         NFS 共有				
大態: ディスク クォータは無効				
✓ クォータの管理を有効にする(E) ○ クォータ制限を超過したユーザーのディスク割り当てを拒否する(D)				
このボリューム上の新規ユーザーに対する既定のクォータ制限値を選択して ください。				
<ul> <li>ディスクの使用を制限しない(Q)</li> <li>ディスク領域を制限する(L)</li> <li>無制限</li> </ul>				
習告レベルの設定 無制限				
このボリュームに対するクォータログのオプションを選択してください。				
□ ユーザーがウォータ制限値を超えたらイベントをログに記録する( <u>G</u> )				
ユーザーが警告レベルを超えたらイベントをログに記録する(V)				
クォータ エントリ(Q)				
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )				

## **Oファイルスクリーンの管理**

ファイルスクリーンの管理を利用すると、ファイル名や拡張子を指定してファイルの保存許可・拒否を設 定できます。管理者やイベントログなどで不要なデータの書き込みが無いかを確認できます。

①サーバーマネージャーの「ツール」をクリックし、プルダウンメニューより「ファイルサーバーリソースマ

ネージャー」を起動します。				
ī.		サーバー マネージャー		- 0 ×
E	<ul> <li>• •• ファイル</li> </ul>	サービスと記憶域サービス・共有	• 🗭   🚩 📴(M)	<mark>ツール(T)</mark> 表示(V) N <i>J</i> 7(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <del>共有</del> iSCSI		ホリューム LogiteCNAS 上の public ボリューム (D:) 容量: 15.0 GB 4% 使用 ● 使用 ボリュームの既要に移動 > クォーク LogiteCNAS 上の public クォークを設定するには、(ウォータの構成 す。	NFS 用ナーピス ODEC データ ソース (32 どりト) ODEC データ ソース (46 どりト) Windows PowerShell Windows PowerShell (x66) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Visition Studies Top-Tayler Top-Tayler Top-Tayler Distribution Studies Windows PowerShell ISE Windows PowerShel

②「ファイルサーバーリソースマネージャー」のツリーリストより「ファイルスクリーンの管理」→「ファイル スクリーン」を選択し、操作ウインドウの「ファイルスクリーンの作成」をクリックします。


ファイル スクリーンの作成 エ
ファイル スクリーンのパス(P):
- ファイル スクリーンのプロパティー ファイル スクリーンのテンプレートからプロパティを使うか、またはカスタム ファイル スクリーンのプロパティを定義することができます。
<ul> <li>ファイル スクリーンのプロパティをどのように構成しますか?</li> <li>● ファイル スクリーンのテンプレートからプロパティを取得する(推奨)(丁): オーディオとビデオのファイルのブロック マ</li> <li>● カスタム ファイル スクリーンのプロパティの定義(C): カスタム プロパティ(R)</li> </ul>
ファイル スクリーンのプロパティの要約(S): ■・ファイル スクリーン: ー・ソース テンプレート:オーディオとビデオのファイルのブロック ー、スクリーン処理の種類: アクティブ ー・ファイル グループ:オーディオとビデオのファイル ー・通知:電子メール、イベント ログ
作成キャンセル

[ファイルスクリーンのパス]

ファイルスクリーンを設定するフォルダを指定します。

[ファイルスクリーンのプロパティ]

スクリーンするファイルの種類をテンプレートより選択します。

希望するテンプレートが無い場合はカスタムプロパティを作成します。

#### 〇記憶域レポートの管理

記憶域レポートの管理を構成すると、定期的にディスクの使用状況やクォータ、ファイルスクリーンに関 するレポートを作成できます。

□□□作成できるレポート一覧□□□□

- ・クォータの使用率 ・ファイルグループごとのファイル ・ファイルスクリーン処理の監査
- ・最近アクセスされていないファイル ・最近アクセスしたファイル ・重複しているファイル
- ・所有者ごとのファイル ・大きいサイズのファイル

①サーバーマネージャーの「ツール」をクリックし、プルダウンメニューより「ファイルサーバーリソースマネージャー」を起動します。



②ファイルサーバーリソースマネージャーのツリーリストより「記憶域レポートの管理」を選択し、操作ウ インドウの「新しいレポートのタスクのスケジュール」をクリックします。



③記憶域レポートタスクのプロパティが起動します。「設定」タブで監視するボリューム/フォルダと生成

9 るレホートの裡類、形式を選択しま9。 記憶域レポート タスクのプロパティ ×
i該定 リコーブ   配信   スケジュール   レポート名:
レポート データ 生成するレポートの選択( <u>P</u> ):
選択したレポートの表示(⊻)
レポートの形式 「 DHTML( <u>D</u> )    HTML( <u>M</u> )    XML( <u>X</u> )    CSV( <u>C</u> )    テキスト(I)
OK キャンセル

[レポート名]:任意のレポート名を設定します。

[レポートデータ]:生成するレポートの種類をチェックボックスで選択します。

[レポートの形式]:レポートのファイル形式をチェックボックスで選択します。

④次に「スコープ」タブで監視するボリューム/フォルダと生成するレポートの種類、形式を選択します。

記憶域レポート タスクのプロパティ 📃 🗖	x
設定 スコープレ記信 スケジュール	
次の種類のデータを格納するすべてのフォルダーを含めます	
<ul> <li>□ アプリケーション ファイル</li> <li>□ グループ ファイル</li> <li>□ バックアップおよびアーカイブ ファイル</li> <li>□ ユーザー ファイル</li> </ul>	
このスコープに含まれるフォルダー:	
フォルダーフォルダーの使用法	
フォルダー管理プロパティの設定。 道加。 前除	
ОК <b>+</b> +>/2	IL

[次の種類のデータを・・・]:格納しているデータの種類を選択します。

[このスコープに含まれるフォルダー]:「追加」をクリックし、監視するボリューム/フォルダーを選択し

ます。

記憶	域レポート タスクク	)プロパティ し	-		x
設定 スコープ 記信 入	ケジュール				
<b>実行時期</b> 16:58:42					
<ul> <li>() 毎週</li> </ul>	() 毎日				
	□月曜日	□ 火曜日			
□ 水曜日	□ 木曜日	□ 金曜日			
□ 土曜日					
🗌 制限 (時間数): 🝚	1				
		OK	3	キャンも	211

以上の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックします。以上で設定は完了です。

# Oファイル分類管理(FCI)

ネージャー」を起動します。

ファイル分類管理を利用すると、長期間アクセスの無いファイルを削除したり、特定のキーワードを含 むデータを特定のフォルダへの移動を自動的に行うことが可能です。

①サーバーマネージャーの「ツール」をクリックし、プルダウンメニューより「ファイルサーバーリソースマ

<b>a</b>		サーバー マネージャー		
$ \mathbf{E} $	∋・ ・・ ファイル	サービスと記憶域サービス・共有	• 🔅   🖡 🦉 M	/─µ/(T) 表示(V) へµブ(H)
	サーバー ポリューム ディスク 記憶域ブール <u>共有</u> iSCSI		ボリューム LogiteCNAS 上の public ポリューム (D:) 容量: 15.0 GB 4%使用 ● 使用 ● 空き物 ポリュームの概要に移動 > クォーク LogiteCNAS 上の public クォータが販達付けられて ウォータを設定するには、[ウォータの構成] す。	NFS 用サーゼス ODEC データ ソース (32 ビット) ODEC データ ソース (34 ビット) Windows PowerShell (x86) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows SPOwerShell ISE Windows SPOwerShell ISE Windows SetWith イントビューアー インターネット インフォーション サービス (IIS) マネージャー コンポーネント サービス サービス サービス フィブーネント サービス サービス フィブーネント サービス サービス マネージャー フィガーネント サービス サービス フィブーネント サービス サービス フィブーネント サービス サービス フィブーネント サービス サービス フィブーネント サービス サービス フィブーネン フィガーネント サービス ロージック マネージャー フィガーネント サービス ロージック マネージャー フィガーネント サービス ロージック マネージャー フィガーネント サービス ロージック マネージャー フィガーネント サービス ロージック マネージャー フィガーネント サービス ロージック マネージャー フィガーネント ロージック マネージャー フィガーネント ロージック マネージャー フィガーネント ロージック マネージャー フィガーネント ロージック マネージャー マネージャー マージー マネージャー マージー マネージャー マージー マネージャー マージー マネージャー マージー マネージャー マージー マネージャー マージー マー マージー マージー マージー マージー

②ファイルサーバーリソースマネージャーより「分類管理」をダブルクリックし、下層ツリーの「分類プロ パティ」をクリック、操作パネルより「ローカルプロパティの作成」をクリックします。

i.		ファイル サーバー リ	リース マネージャー		_ <b>D</b> X
ファイル(E) 操作(A) 表示	示(⊻) ヘルプ( <u>H</u> )				
🗢 🌳 🖄 🖬 🚺 🗖	]				
🌆 ファイル サーバー リソース	/   名前	スコープ   使用状況	種類	使用可能な値	操作
▶ 20 クォータの管理	📴 アクセス拒否アシスタンス メッセージ	ローカル フォルダー管理	文字列		分類プロパティ
	🔄 フォルダーの使用法	ローカル フォルダー管理	複数の選択肢リスト	アプリケーション ファイル, グルー	💭 ローカル プロパティの作成
▲ 1 分類管理	📂 フォルダー所有者の電子メール	ローカル フォルダー管理	文字列		最新の情報に更新
一一 万規ノロバティ					┃ 🚮 フォルダー管理プロパティの設
					表示
					マンレプ
					-
< III >					

	ローカル分類プロパティの作成 - ロ ×
è般	
么前	π(N)·
	10.
≣ÿ8	B(D)-
	ロパティの種業(T)
Í	
	1200万須規則はたはノアイル内容によって提供される12 はいいは、へい、値(いいえ)を上書きします。
	値
	L 10, 1%

③分類プロパティの定義の作成が起動します。各項目を設定し、「OK」をクリックします。

[名前]	プロパティの名前を入力します
[説明]	プロパティの説明を入力します。
[プロパティの種類]	プロパティの種類を選択します。ファイルに割り当てるプロパティはカスタ
	マイズが可能です。

④ファイルサーバーリソースマネージャーのツリーウインドウより「分類管理」-「分類規則」をクリックし、 操作ウインドウより「分類規則の作成」をクリックします。

2.			ファイル サーバー リソー	-ス マネージャー			
ファイル(E) 操作(A) 表	示(⊻) ヘルプ(且)						
🗢 🔿 🙍 🖬 🖬							
ふ ファイル サーバー リソース	/ 規則名	スコープ	フォルダーの使用法	分類方法	プロパティ名	プロパティ値	操作
▷ 2 クォータの官埕 ▷ 10 ファイル スクリーンの管							
<ul> <li>記憶域レポートの管理</li> </ul>							🧖 分類規則の作成
⊿ 📸 分類管理							フフォルヘフ シュールの構成
分類プロパティ の分類提問し							すべての規則で今すぐ分類を
ごろう ひゃくり 管理タスク							分類の取り消し
	1						最新の情報に更新
							表示
	<ul> <li>一分類の実行</li> <li>ニスケジュール</li> <li>レガシタスク・</li> <li>一状態:</li> <li>二次回の実行時刻</li> </ul>	タスク スケジューラの参 : レガシ タスク: タスク フ	照 、ケジューラの参照				
<							

			分類規	則の作成	ż			x
全般	スコープ	分類	評価の種類					
規則:	名(N):							
						☑ 有効(	E)	
脱明	( <u>D</u> ):							-
ヘルプ	H)					OK	キャン	211

⑤分類規則の定義が起動します。「全般」タブで必要事項を設定します。

[規則名]	規則名を入力します。
[説明]	規則の説明を入力します。

⑥「スコープ」タブで分類対象となるフォルダと格納しているデータの種類を選択します。

フォルダは複数選択可能です。

分類規則の作成		
全般 スコープ 分類 評価の種類		
次の種類のデータを格納するすべてのフォルダーを含めます:		
<ul> <li>□ アプリケーション ファイル</li> <li>□ グループ ファイル</li> <li>□ グループ ファイル</li> <li>□ バックアップおよびアーカイブ ファイル</li> <li>□ ユーザー ファイル</li> </ul>		
このスコープに含まれるフォルダー:		
フォルダー フォルダーの使用法		
ヘルプ(H) OK キャンセル		

全般	スコープ「分類」評価の種類
- <del>'</del> 2	鑽方法
-	ファイルにプロパティを割り当てる方法を選択してください( <u>C</u> ):
l	Windows PowerShell 分類子 🛛 🗸 🗸
	Windows PowerShell スクリプトを使用してファイルを分類します。
7	פולדו
	ファイルに割り当てるプロパティを選択してください( <u>0</u> ):
[	test 🗸 🗸
ſ	値の指定(\/):
[	< <p>&lt;分類方法で指定された値&gt;</p>
	注意:割り当てられた値は、他の分類規則のより重要な値と結合されるか 上書きされる可能性があります。
-}* 2	ラメーター この分類方法には追加の構成パラメーターが必要です。
[	構成( <u>N</u> )

⑦「分類」タブをクリックし、必要事項を設定し、「OK」をクリックします。

分類方法	次の項目から選択します。	
	Windows PowerShell 分類子	PowerShell スクリプトに基づいて分類基準
		を決定します。
	コンテンツ分類子	ファイルの内容に基づいて指定した条件と
		一致するもののみを分類します。
	フォルダー分類子	フォルダーパスに基づいて分類プロパティ
		を一括設定できます。
プロパティ名	分類プロパティで作成した設定を使用します。	
値の指定	プロパティの値を選択します。	
パラメーター	分類方法に基づくパラメーターを設定します。	

# 〇分散ファイルシステム(DFS)について

分散ファイルシステムを利用すると、一つのサーバー内の共有ファイルシステムを複数のサーバーに 分散させることができます。分散ファイルシステムを利用するには、まず DFS をインストールし、DFS 名 前空間を設定します。

※DFS レプリケーションを設定するには ActiveDirectory 環境下での DFS 名前空間の設定が必要です。 また、設定にはドメイン管理者の権限が必要です。

# 〇分散ファイルシステム(DFS)のインストール

※本製品は出荷時状態で DFS サービスがインストールされておりません。初回設定時にはインストー ル作業が必要です。

	<b>B</b>		サーバー マネージャー			□ X
	€ → サーバー マ	<i>?</i> ネージャー・ダッシュボード	: .	•③	) ツ−ル(エ) 表示(⊻)	へルプ( <u>H</u> )
<	<b>〒 ダッシュボード</b> ● ローカル サーバー ● すべてのサーバー ● IIS ■ ファイル サービスと記憶域… ♪ ● 印刷サービス	ナーバーマネージャーへようこそ クイック スクート (2) 星新情報( <u>W</u> ) ナーバーマネージャーへようこそ 1) このに 2 役 3) 管部 4) サー	1ーカル サーバーの構成 割と機能の追加 理するサーバーの追加 ーバー グループの作成			=
		詳細情報( <u>」</u> ) 役割とサーバーグループ 役割の数:3   サーバーグル−プの数:1	サーバーの合計数: 1		非表	⊼
		<ul> <li>IIS 1</li> <li></li></ul>	ファイル サービスと記憶         1           域サービス         1           ・         管理状態           イベント         サービス           リーフィーマンス         1	<ul> <li>印刷サービス</li> <li>管理状態 イベント サービス パフォーマンス</li> </ul>	1	~

①管理画面の「サーバーマネージャー」より「ダッシュボード」→「役割と機能の追加」をクリックします。



②役割と機能の追加ウィザードが起動しますので、「次へ」をクリックします。

③インストールの種類の選択画面になるので、「役割ベース又は機能ベースのインストール」をチェック して「次へ」をクリックします。

<b>b</b>	役割と機能の追加ウィザード	-		x
► インストールの種類 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの登割 機能 確認 結果	<ul> <li>役割と機能の追加ウイザード</li> <li>(ハストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コンピュータンの仮想リードティフタ (ハロロ) にインストールできます。</li> <li>(ク 役割ペースまたは機能ペースのインストール や剤、役割サービス、および機能を追加して、1 台のサーバーを構成します。</li> <li>(リモートテスクトップサービスのインストール 仮想テスクトップ インフラストラクチャ (VDI) に必要な役割サービスをインストールして、仮想マシン ション ペースのテスクトップ展開を作成します。</li> </ul>		ローパイ tecNA	<b>x</b> 
		±1	·>ヤ/	k
			- Ch	

à	役割と機能の追加ウィザード
対象サーバー	)選択 <sup>対策サーバー</sup> LogitecNAS
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	<ul> <li>役割と機能を1/2パールするサーバーまたは仮想ハードディスクを選択します。</li> <li>●「サーバーブールからサーバーを選択</li> <li>● 仮想ハードディスクから選択</li> <li>サーバーブール</li> <li>フィルター:</li> <li>2前</li> <li>IP アドレス オペレーティング システム</li> <li>LogitecNAS</li> <li>192.168.2.116</li> <li>Microsoft Windows Storage Server 2012 R2 Works</li> </ul>
	<前(P) 次へ(M) > パンストール(I) キャンセル

④サーバーの選択画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

⑤サーバーの役割の選択画面になるので、「ファイルサービスと記憶域サービス」→「ファイルサービス および iSCSI サービス」より「DFS 名前空間」(更にレプリケーション機能も必要であれば「DFS レプリ ケーション」にも)にチェックをし、「次へ」をクリックします。

<b>b</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
サーバーの役割の		対象サーバー NSB-75S
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	田小のにシーバーにサンバー「かゆるいを書」 コムノ工座がいよう。     谷割	説明 DFS レガリケーションはマルドマスター レブ リケーション エンジンであり、これを使用す ることでローカルまたはワイド エリア ネット ワーク (WAN) のネットワーク接続全体に わたる複数のウーバー上のフルバラーを同 期できます。DFS レブリケーションでは、 RDC (Remote Differential Compression) プロトコルを使用して最 終レプリケーション続以後に変更されたファ イルの卸分のみを更新します。DFS レブリ ケーションは、DFS 名前空間と組み合わ せて使用することも、単独で使用すること もできます。
	「□ ======= (1== / ∧ = 1 = (1== ∧ = ) < □ ==== (1== / ∧ = 1 = (1== ∧ = ) < 前へ良 次へ(N)	<ul> <li>レンストール(I) キャンセル</li> </ul>

⑥DFS 機能のチェックと同時に DFS 管理ツールのインストールを促す画面が表示されますので、必要 な場合は「管理ツールを含める」をチェックして「機能の追加」をクリックします。

🚵 役割と機能の追加ウィザード	x
DFS レプリケーション に必要な機能を追加しますか? この機能を管理するには次のツールが必要ですが、同じサーバーにインストール する必要はありません。	
<ul> <li>▲ リモート サーバー管理ツール</li> <li>▲ 役割管理ツール</li> <li>▲ ファイル サービス ツール         <ul> <li>[ツール] DFS 管理ツール</li> </ul> </li> </ul>	
✓ 管理ツールを含める (存在する場合) 機能の追加 キャンセル	

⑦サーバーの役割の選択画面に戻りますので、必要な機能にチェックがついているのを確認のうえ、

「次へ」をクリックします	- 0
--------------	-----

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
世ーバーの役割のは     間始する前に     インストールの種類     サーバーの選択     サーバーの役割     機能     確認     結果	役割と機能の追加ウイザード 選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 役割 □ Active Directory ライトウェイト ディレクトリサービス ▷ ■ Web サーバー (IIS) (インストール済み) △ ☑ ファイル サービスおよび記憶域サービス (インストール ☑ ファイル サービスおよび記憶域サービス (インストール ☑ ファイル サービー (インストール済み) □ DFS 名前空間 ☑ ISCSI ターがり サーバー (インストール済み)	
	(I) SIGS 5 - ゲット記憶電ブロバイター (VDS およ)     (VDS x)     (VD	せて使用することも、単独で使用すること もてきます。 シストール(I) キャンセル

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>□</b> X
機能の選択		対象サーバー LogitecNAS
開始する前に	選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。	
インストールの種類	機能	説明
サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	▶       ■       INET Framework 3.5 Features (インストール済み)         ▶       ■       NET Framework 4.5 Features (インストール済み)         ■       ■         ■       BitLocker ドライブ暗号化         ■       BranchCache         ■       HTTP プロキシを経由した RPC         □       IP アドレス管理 (IPAM) サーバー         □       ISNS サーバー サービス         □       LPR ポート モニター         Management OData IIS 拡張機能         Media Foundation         NFS ウライアント         RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK)         ■         ■	.NET Framework 3.5 では、.NET Framework 2.0 API の機能にアカリ ケーションド成用の新いしドウノロジが加 わりました。ユーザーは、魅力的なユー ザーインターフェイス、観客の個人情報保 謎、シームレスで安全な通信を利用でき ます。また、さきざまなビジネスプロセスを モデル化とすることができます。
	<前/(P) 次へ(N	)> インストール(I) キャンセル

⑧機能の選択画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

- ⑨インストールオプションの確認画面が表示されるので、「インストール」をクリックしてインストールを開
  - 始します。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 X
▲ インストール オプシ 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	役割と機能の追加ウイザード      ヨンの作言記      選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、「インス      「 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する      オブションの機能をインストールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示され     ちのオブションの機能をインストールなど」は、自動的に選択されるため、このページに表示され     ちのオブションの機能をインストールなど」は、「前へ」をかりかりして、チェック ポックえな      アイル・サービスおよび記憶域サービス      アイル・サービスおよび記憶域サービス      DFS 名前空間      DFS レブリケーション      リモート サーバー管理ツール      役割管理ツール      役割管理ツール	オ泉サーバー LogitecNAS (トール)をクリックしてください。 
	ファイル サービス ツール DFS 管理ツール 構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定	レンマンセキ

⑩インストールが完了すると以下のような画面になるので、「閉じる」をクリックしてインストール作業を 完了します。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
インストールの進行	F状況	対象サーバー LogitecNAS
開始する前に	インストールの進行状況の表示	
インストールの種類	1 機能のインストール	
サーバーの建訳	LogitecNAS でインストールが正常に完了しました。	
機能 確認 <b>結果</b>	ファイル サービスおよび記憶域サービス ファイル サービスおよび iSCSI サービス DFS 名前空間 DFS レブリケーション	
	リモート サーバー管理ツール 役割管理ツール ファイル サービス ツール DFS 管理ツール	
	このウィザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行 「「」 このウィザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行 ページを再度開いたりするには、コマンド バーの [通知] をクリックし、[タスクの詳細] 構成設定のエクスポート	状況を表示したり、この をクリックします。
	<前へ(P) 次へ(N) > 閉	5 +7>21

# ODFS/名前空間の作成

①管理画面の「サーバーマネージャー」より「ツール」→「DFS の管理」をクリックし、DFS 管理画面を開きます。



②DFS の管理画面の操作ウインドウより「新しい名前空間」をクリックします。

	DFS の管理		
💁 ファイル(E) 操作( <u>A</u> ) 表示(	Y) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		_ 8 ×
🧇 🔿 📅 🖬 🖬			
💁 DFS の管理	DFS の管理	Ħ	R/F
🏭 名前空間	はじめに	1	
▶ ₩ UJ97=542	- このスキップインを使用して、分数ファイル、システム (DES) の名前空間およびレプリケーション グループを作成われる	÷ 2	🧯 新しい名前空間
	The second of the second of the second of the second secon	-	第二 いい ゴルケーション ガ
			2 名前空間の表示
	DFS の管理タスク	1	』 レプリケーション グループ
	複数のサーバーにデータを公開する		表示
	名前空間を作成して複数のサーバーにあるフォルダーを共有し、シングル・ソリーのフォルダーとして表示します。フォ		ここから新しいウィンドウ
	が多一のルモスロを通じし、離れにあれたいのユーサールというを使用してるようとするとは、して3 レブリケーションを 使用して、コンテンツを複数のサーバーで常に同期します。		へルプ
	バックアップ目的でデータを収集する		
	DFS レフリケーションを使用すると、支払のサーバー(ああデー)を中継局のサーバー支払はデータ センターのサーバ ー(こレプリケートして)やクアップできま。また、名前空間のコンテンツを任意で公開することで、支払のクライアントが 常にプランチ サーバー(法務続し、プランチ サーバーが使用不能になった場合でも、ハブ サーバー(こフェール オーバー	=	
	できます。		
	名前空間およびレブリケーショングループを管理する		
	以任の名前空間がよびレンリケーンヨン クルーフをコンソールの表示に追加して管理します。		
		٠.	
	名前空間の図	-	
		-	

③新しい名前空間ウィザードが起動します。名前空間サーバー名を入力し、「次へ」をクリックします。

	新しい名前空間ウィザード	- • ×
● 名前空間サー/	۲-	
<b>ステップ:</b> 名前空間サーバー	名前空間をホストするサーバー名を入力してください。指定したサーバーは、名前空間 サーバーとして認識されます。	
名前空間の名前と設定 名前空間の種類	サー/(-(S):  dfs-server   参照(B)	
設定の確認と名前空間の作成		
確認		
	<前へ( <u>P)</u> 次へ( <u>N</u> ) >	キャンセル

④名前空間の名前と設定画面になるので、名前空間の名前を入力し、「次へ」をクリックします。

────────────────────────────────────				x		
■ ★ 名前空間の名前と設定						
ステック:         名前空間サーバー         名前空間の名前と設定         名前空間の種類         設定の確認と名前空間の作成         確認	名前空間の名前を入力してください。この名前は、名前空間)八アで ¥¥Server¥Name または ¥¥Domain¥Name などのサーバー名またはドメイン名の(彼に表示されます。 名前(合): [dfs] 例 Public ウ・ザードは、必要に応じて共有フォルダーを名前空間サーバーに作成します。ローカ ルパスやかりわざ許可などの共有フォルダーの設定を変更するには、話定にの編集)を クリックしてください。 該定の編集(E)					
	< 前へ(P) 次へ(N) >	*	ャンセノ	۶.		

⑤名前空間の種類を設定します。

<u>1</u>	新しい名前空間ウィザード				
● 名前空間の種類					
ステッ?:         名前空間からバー         名前空間の名前と設定         名前空間の種類         設定の確認と名前空間の作成         確認	作成する名前空間の種類を選択してください。         ドメインベースの名前空間の         ドメインベースの名前空間低」 つまたは推動の名前空間サーバーおよび Active Directory ドメイ ンサンビス 福祉交社はす。構築のサーバーを使用が高く、ドメインベースの名前空間の可用性を向 上できず、小小の上い、アクセスベースの利率構築にサポードでは取りたいといく、スカム名前空間では、スケーラビリテ イが向上し、アクセスベースの利率構築にサポードでは取りたいという。         Windows Server 2008 モードを有効にする(E) トメイン ベースの名前空間のグレビュー(B).         マインの名前空間のグレビュー(B).         マレッパーのドメインを特定できません *******>         の スタンドアロンの名前空間の は、フェールダーバー クラスターであたりなことによって可用性を向上できます。         スタンドアロンの名前空間のフレビュー(V).         W******* Wofs				

⑥設定の確認と名前空間の作成画面になるので、設定内容を確認し、問題なければ「作成」をクリック

します。

	新しい名前空間ウィザード				
■ 設定の確認と名前空間の作成					
ステッチ: 名前空間サーバー 名前空間の名前と設定 名前空間の種類 設定の確認と名前空間の作成 確認	新しい名前空間に以下の設定を選択しました。設定が正しい場合は、[「FK以 をクリック」で新しい名前空間を作成します。設定を変更するには、「前へ」をクリックするか、 作業項目のへいやびき強切なべうを選択します。 名前空間の設定(3): 名前空間サーバーにのeteenas: ルード大潮ッオルダーのローカル・パス: CADFSRootSW15 名前空間サーバーにのすたのas のかりて、許存しない場合は共有フォルダーが作成されます。 名前空間サーバーにのすたのas 名前空間サーバーのアクセス許可:すべてのユーザーは読み取り 専用				

⑦名前空間の作成が完了すると以下のような画面になるので、「閉じる」をクリックして作業を完了します。

<b>1</b>	新しい名前空間ウィザード	- 0	x
₽₫確認			
ステップ:			
名前空間サーバー	● 新しい名前空間ウィザード を正常に完了しました。		
名前空間の名前と設定			
名前空間の種類			
設定の確認と名前空間の作成			
66622			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		閉じる(	( <u>C</u> )

## ODFS/名前空間へのフォルダーの追加

①管理画面の DFS の管理画面より作成した名前空間をクリックし、操作ウインドウの「新しいフォル ダー」をクリックします。



②「新しいフォルダー」ウインドウが起動しますので、フォルダーの名前を入力し、「追加」ボタンをクリックし ます。

呂前( <u>N</u> ): est-01 呂前空間のブレビュー( <u>P</u> ): ₩ *******¥ ¥dfs¥test-01 ਯルダー ターゲット( <u>T</u> ): ₩ *****¥¥¥public	
est-01 呂前空間のブレビュー( <u>P</u> ): (¥ ******* ¥dfs¥test-01 フォルダー ターゲット( <u>T</u> ): (¥ ******¥¥public	
呂前空間のブレビュー(P): W ******* ¥dfs¥test-01 フォルダー ターゲット(I): W ******¥public	
Y¥ 米米米米米米 ¥dfs¥test-01 フォルダー ターゲット(工): Y¥ 米米米米米¥public	
なルダー ターゲット(丁): W 米米米米米米¥public	
₩₩₩₩₩₩¥public	
OK キャンオル	わル
	_,,,

③リンク先のフォルダーパスを入力し、設定が完了したら「OK」をクリックします。 ②の画面に戻りますので、「OK」をクリックして完了してください。

フォルダー ターゲットを追加	x
フォルダー ターゲットへのパス( <u>P</u> ):  (例: ¥¥Server¥Shared Folder¥Folder	参照( <u>B</u> )
OK	キャンセル

# ODFS/レプリケーションの設定

※レプリケーションには同一フォルダー内に複数のリンク(フォルダーターゲット)が設定されている必要 があります。

①管理画面の DFS の管理画面より作成したフォルダを右クリックし、「フォルダーターゲットを追加」をク リックします。

		DFS の管理	_ <b>_</b> ×
🐴 ファイル(F)	操作(A) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		_ <i>8</i> ×
(n 🔿 🖉 🗖			
🐴 DFS の管理	test-01		操作
	マナルダー ターゲット レプリ	ケーション	test-01
			フォルダー ターゲットを追
▶ 🍇 レズリケー	ノオルター ターケットを追加(A) フォルダータの亦更(N)	<del>//</del> /	フォルダー名の変更
	フォルダー 石の変更(N) フォルダーの移動(M)	<不明> ¥¥******	K米¥public フォルダーの移動
	フォルダーのレプリケート(E)		フォルダーのレプリケート
	表示(∨)		表示
	ここから新しいウィンドウ(W)		ここから新しいウィンドウ
	切り取り(工)		🤞 切り取り
	削除(D)		🛛 🔀 削除
	最新の情報に更新(F)		最新の情報に更新
	プロパティ(R)		📋 วื่อパティ
	へ)レプ(H)		□ ヘルプ
選択したフォルダー(	こフォルダー ターゲットを追加します。		

②新しいフォルダーターゲットウィンドウが起動しますので、レプリケーションをするリンク(フォルダー ターゲット)を入力し、「OK」をクリックしてください。

新しいフォルダー ターゲット	2
フォルダー(E): test-01 名前空間のパス(N):	
¥¥米米米米米米米 ¥dfs¥test-01           フォルダー ターゲットへのパス(P):           ※##2(p)	
(例: ¥¥Server¥Shared Folder¥Folder       のK	

③レプリケーショングループを作成するか確認されますので、「はい」をクリックしてください。

レプリケーション ×
レブリケーション グループを使用して、これらのフォルダー ターゲットの同期を保持す ることができます。 レブリケーション グループを作成しますか?
はい(Y) いいえ( <u>N</u> )

④レプリケートフォルダーウィザードが起動します。レプリケーショングループ名、レプリケートフォル ダーの名前を入力し、「次へ」をクリックします。

	レプリケート フォルダー ウィザード
VJU7-9a2	グループおよびレプリケート フォルダーの名前
<ul> <li>ステラ子:</li> <li>レブリケーション・グループおよびレブリケートフォルダーの名前</li> <li>レブリケーションの対象</li> <li>プライマリ メンパー</li> <li>トボロジの選択</li> <li>ハブ メンパー</li> <li>ハブ メンパー</li> <li>ハブとスボークの発統</li> <li>レブリケーションの形統</li> <li>レブリケーションの形統</li> <li>レブリケーショング環境福</li> <li>設定の確認をよびレブリケーショ</li> <li>ン グループの作成</li> <li>確認2</li> </ul>	ウィザードにより、フォルダー ターゲットを木ストするサーバーを含なレクリケーション グル ープが作成式れます。提案されたグループ名あよびフォルダー名を確認し、必要に応じ て確実します。 レプリケーション グループ名(E): ******* xtsy¥dfs=rn¥public レプリケート フォルダーの名前(E): public

⑤レプリケーションの対象リンク(フォルダーターゲット)が表示されますので、「次へ」をクリックします。

<u>*</u>	レプリケート	フォルダー ウィザード		_ □	x
עוביכ- לעיל ע	)対象				
ステップ: レプリケーション グループたよびレ フリケート フォルターの名前 ンプリケーションの対象 フライマリ メンバー トポロジの選択 ハブ メンバー ハブとスポークの接続 レプリケーション グループのスケジ コールおよび予禁帽 設定の確認知よびレプリケーショ ン グループの作成	ウ.ボードによって、フォルダーター かどうかが決定されました。詳細は <b>詳細(</b> <u>0</u> ): フォルダーターゲット ¥¥G3-WSS2012¥backup ¥¥G3-WSS2012-V330¥public	ゲットを評価して、DFS レプルケーションに参加で 、下の はす象となる】 列佐参照してください。 対象となる DFS レプリケーション メンバーとして適加 DFS レプリケーション メンバーとして適加	*5		
		<前へ( <u>P</u> )	)太へ( <u>N</u> ) >	キャンオ	211

- ⑥プライマリメンバーの選択画面になりますので、レプリケートの基盤となるリンク(フォルダーターゲッ
  - ト)をプルダウンメニューより選択し、「次へ」をクリックします。

4	レプリケート フォルダー ウィザード	-		x
プライマリメンバ	_			
ステップ: レブリケーショングループおよびレ ブリケートフォルダーの名前 レブリケーションの対象 フライマリメンバー トボロジの選択 ハブ メンバー ハブとスポーシの持続 レブリケーショングループのスケジ ュールあよび帯域幅 設定の確認およびレブリケーショ ングループの作成	他のフォルダーターゲッドにレプリケートするコンテンツを含むサーバーを選択して だだい。このサーバーは、フライマリメンバーと呼ばれます。 フライマリメンバー(M): ③3-WSS2012 ・ レフリク、「メモラ・ルドーが明い情報ののサーバーに存在する場合、最初のレプリケ ーションでは、プライマリメンバーのフォルターとファイルに確認があります。			
	< 前へ(P) (	ŧ	+>Z	ŀ

⑦トポロジの選択画面になりますので、リンク(フォルダーターゲット)間の論理的接続方法を選択し、 「次へ」をクリックします。

<u>6</u>	レプリケート フォルダー ウィザード	_ <b>D</b> X
いいちゅう しょう しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	l	
入テップ: レブリケーショングループおよびレ フリケートフォルダーの名前 レブリケーションの対象 フライマリメンバー トボロジの選択 レブリケーショングループのスク5 ユールおよび予想増 設定の増歩増幅 設定の増歩増幅 建設	レクリケーション グルーブのメンバー間の接続トポロジを選択してください。 ・ プラよびスポーク(1) のトポロジでは、レフリケーション グループの 3 つじし上のメンバーが必要です。この が口いでは、スポーク メンバーバレイ 1 つませく 2 つのバブ メンバーに抹発を求します。 つり ポロジゼ 5 インがパーブ メンバーのものであり、スポーク メンバーにさせてレブリ クート それるような公開 シナリオの場合にうまく 機能します。 ・ マート メキシュ(1) つけ ポロジでは、各 マンバーがレブリケーション グループのその他すべてのメンバーを 1 フリケートします。この ポロジは、レブリケーション グループのその他すべてのメンバーを 1 フリケートします。この ポロジは、レブリケーション グループのそい他すべてのメンバーを 1 プリケートします。この ポロジは、レブリケーション グループのそい代一数が 10 しよ の場合にうまく機能します。 ・ ポロジなし(0) この オプションは、ウィザードの終く TFNにカスタムのトポロジを作成する場合に注意状し、 てください。カスタムのトポロジを作成するまで、レブリケーションは美行されません。	<ul> <li>キャンセル</li> </ul>

⑧レプリケーショングループのスケジュールおよび帯域幅の設定画面になりますので帯域幅、スケ ジュールを指定し、「次へ」をクリックします。

<u>^</u>	レプリケート フォルダー ウイザード
VJU7-532-	<b>グループのスケジュールおよび帯域幅</b>
ステッチ レブリケーショングループおよびレ ブリケートラルダーの名前 レブリケーションの対象 フライマリメンバー トポロジの選択 レブリケーショングループのスカブ ユールおよびレブリケーショ ジ グループの作成 確認2	レカレーションガルーブのすべての新しい特殊の既定で使用するレプリケーションのスケ コールもとび寒端を違択してなたな。 ③ 指定した帯域幅を違用して継続りにレプリケートする(B) このオーションを使用すると、次の帯域幅を使用して常時レプリケーションを有効 にできます。 帯域幅 B): 最大 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	〈前へ(日) 次へ(1) 〉 キャンセル

<u>~</u>	レプリケート フォルダー ウィザード 📃 🗖 🗙
11 設定の確認	忍およびレプリケ ーション グループの作成
ステップ: レブリケーション グループお。 プリケート フォルダーの名前 レプリケーションの対象	新し、レブリケーショングループに以下の設定を選択しました。設定や正しく場合は、 作氏灯をクリッジして新し、レブリケーショングループを作成します。設定を変更するに は、面へしをクリッジするか、作業項目ウィンドウで適切なページを選択します。 レブリケーショングループの設定(S):
フライマリ メンバー トポロジの選択 レプリケーション グループの2 ユールおよび帯域幅 設定の確認わよびレプリケ・ ングループの作成	ワオルター:         サギnasteam.localWdfs¥test-01         へ           レプリケーション グループ名:         nasteam.localWdfs¥test-01            ・ジョ         レプリケーション グループのドメイン:         =
確認	レブリケーション グループ メンバー (2): G3-WSS2012- G3-WSS2012-V330 レブリケート フォルダーの名前: test-01
	レプリケート フォルダーのパス: G3-WSS2012 d4Public <b>4back</b> up G3-WSS2012 v330: D¥public ブライマリ フォルダー ターゲット: G3-WSS2012 ~
	< 前へ(E) 作成(B) キャンセル

⑨レプリケーション設定の確認画面が表示されますので、内容を確認し、「作成」をクリックします。

⑩グループの作成作業が完了したら「閉じる」をクリックします。

<b>6</b>	レプリケート フォルダー ウ	ロイザード	_ <b></b>
<b>W</b> 確認			
ステッチ: レブリケーション・グループなよびレ ブリケートフォルダーの名前 レブリケーションの対象 フライマリメンバー トボロジの選択 レブリケーション グループのスケジ コールなどび場場幅 設定の確認なよびレブリケーショ ン グループの作成 確認	レブリケート フォルダー ウィザード を正常	<ul> <li>に完了しました。</li> <li></li></ul>	
	<u>するガイダンス</u> を参照してください。	シンシーカルシーの成画しに対	
			閉じる( <u>C</u> )

## OWebDAV 共有フォルダの利用

WebDAV とは、http を利用したファイル転送プロトコルです。WebDAV を利用することでタブレット等で WebDAV 保存/読込に対応したアプリでデータのやりとりが可能になります。

#### **OWebDAV**利用の準備

<1>サーバーマネージャーでの役割の追加

①管理画面上から「サーバーマネージャー」を起動します。



②「IIS」を選択し、役割と機能のタスクメニューから「役割と機能の追加」を選択します。

	ー マネージャー・ IIS	• 🕲   🖡	管理(M) ツール(T) 表示(V) ^
■ ダッシュポード ■ B キル # パ	使用可能なメモリ		
■ すべてのサーバー	フィルター	► ()) ► ())	$\overline{\mathbf{v}}$
to IIS	<u></u>	態 CPUの警告の数 メモリの警告の数 最初の発生 最後の発	生
	5S4RQW-CLIENT 無効		
	役割と機能		
	すべての役割と機能   合計: 19		1070 Hora 200
	フィルター	▼ (ii) ▼ (ii) Q	役割と機能の追加 役割と機能の削除
	11 m at am	1777	最新の情報に更新
	サーバー名名前	種類パス	最新の情報に更新
	サーバー名 名前 5S4RQW-CLIENT ディレクトリの創	種類         パス           9照 役割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP #	最新の情報に更新 も通機能¥ディレクトリの参照
	サーバー名 名前 554RQW-CLIENT ディレクトリの名 554RQW-CLIENT HTTP エラー	種類 //ス  ●照 役割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非 役割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非	最新の情報に更新 主通機能¥ディレクトリの参照 主通機能¥HTTP エラー
	サーバー名 名前 554RQW-CLIENT ディレクトリの約 554RQW-CLIENT HTTP エラー 554RQW-CLIENT 静的なコンテン	健康 パス 「低 2019-ビス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非 低割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非 の 低割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非 の 低割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非	<ul> <li>         最新の情報に更新     </li> <li>              ដេឆ្ងែងដើម ディレクトリの参照 よ遠機能 ¥HTTP エラー          </li> <li>             などは #静的なコンテンツ         </li> </ul>
	サーバー名         名前           SS4RQW-CLIENT         ディレクトリの8           SS4RQW-CLIENT         計断的なコンデン           SS4RQW-CLIENT         静的なコンデン           SS4RQW-CLIENT         酸なコンデン	健康 //ス     総割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非     総割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非     役割サービス Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非     やいの Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非     やいの Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥HTTP 非	最新の情報に更新 基準維能¥テルクトリの参照 基準維能¥HTTP エラー な遺検能¥研的なコンテンツ 遺検能¥研的なコンテンツ は通検に構成之のドキュント
	サーバー名         名前           SS4RQW-CLIENT         ディレクトリの           SS4RQW-CLIENT         HTTP エラー           SS4RQW-CLIENT         静的なコンデ;           SS4RQW-CLIENT         酸なコンデ;           SS4RQW-CLIENT         酸なコンデ;           SS4RQW-CLIENT         酸なコンデ;           SS4RQW-CLIENT         Web0x9           SS4RQW-CLIENT         Web0x9	ぼう アンドレージョン (IS) YWeb サーバー + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
	サーバー名         名前           SS4RQW-CLIENT         ディレクトリの目           SS4RQW-CLIENT         新校32-27           SS4RQW-CLIENT         新校32-37           SS4RQW-CLIENT         新校32-37           SS4RQW-CLIENT         WebDaY 聖           SS4RQW-CLIENT         ビキム374           SS4RQW-CLIENT         ビキム374           SS4RQW-CLIENT         ビキム374           SS4RQW-CLIENT         ビキム374		最新の清朝に更新   基礎能学行んクトリの参照   基礎能学行んクトリの参照   基礎能学校的なンテンツ   基礎能学校的なンテンツ   基礎能学校などのドネントト   基礎能学校会のドネント   基礎能学校会のドネント   基礎能学校会のドネント   、

Ē.	役割と機能の追加ウイザード	
開始する前に	対象サーバー 554RQW-Client	
<ul> <li>開始する前に</li> <li>インストールの種類</li> <li>サーバーの選択</li> <li>サーバーの役割</li> <li>機能</li> <li>確認</li> <li>結果</li> </ul>	このウィザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共有や Web サイト のホストなどの組織のコンピューティング ニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を決定しま す。 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割と機能の削除ウィザードの起動 総行する前に、次のタスクが完了していることを確認してください。 管理者アカウントに強わなりてスワードが設定されている ・障碍 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている ・Windows Update から最新のセキュリディ更新プログラムがインストールされている 前提条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了してから、ウィザー ドを再度実行してください。 続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
	□ 既定でこのページを表示しない(S)	
	<前/2) 次へ(N)> インストール(I) キャンセル	

③役割と機能の追加ウィザードが表示されるので、「次へ」をクリックします。

④インストール種類の選択画面になりますので、「役割ベースまたは機能ベースのインストール」ラジオ ボタンを選択して「次へ」をクリックします。

	1212121201201201201201	
インストールの種类 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果		対象サーバー SS4RQW-Client ーター、またはオフライ
	<前(P) 次へ(N) > インストール	I) +t>UN

⑤対象サーバーの選択画面になりますので、「サーバープールからサーバーを選択」ラジオボタ ンを選択し、サーバープールの中から現在操作している本製品のホスト名を選択して「次へ」をクリッ クします。

<b>b</b>	役割と機能の追加ウィザード
対象サーバーの選	#現 まましーパー SS4RQW-Client
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択	役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。 ④ サーバー プールからサーバーを選び ○ 仮想り、ド ディストン 2007
サーバーの役割 機能 確認 結果	サーバー ブール フィルター: 名前 IP アドレス オペレーティング システム
<	554RQW-Client 192.168.24.8 Microsoft Windows Storage Server 2012 Workgro
	<ul> <li>メ</li> <li>1 台のコンピューターが見つかりました</li> <li>このページには、Windows Server 2012 を実行しており、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使用して追加されたサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、データ収集が完了していない、新たに追加された サーバーは表示されません。</li> </ul>
	<前へ(R) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

⑥サーバーの役割の選択画面が表示されますので、WebDAVに必要なサービスを選択します。 WebDAVを利用する場合、以下の3つのサービスが必要となりますので、サービスがインストールさ れていない(チェックがついていない)場合はチェックを追加して「次へ」をクリックします。

・Web サーバー(IIS)>Web サーバー>HTTP 共通機能>WebDAV 発行

・Web サーバー(IIS)>Web サーバー>セキュリティ>Windows 認証

・Web サーバー(IIS)>Web サーバー>セキュリティ>基本認証

<b>b</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b></b>
サーバーの役割の	選択	対象サーバー 5S4RQW-Client
開始する前に	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。	
インストールの種類	役割	説明
サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	✓ 静的なコンテンツ (インストール済み)     ▲       ● HTTP リダイレクト     ✓ WebDAV 発行 (インストール済み)       ✓ WebDAV 発行 (インストール済み)       ● E+3274 (オンストール済み)       ● E+3274 (オンストール済み)       ● IS 554 (オンストール済み)       ● IS 554 証明書の集中サポート       ● URL 承認       ● Of パント型明書マダビング認証       ● After 2+3を経 ● After 2+3を経 ● After 2+3を経 ● ID 757-マンス (インストール済み)       ● ID 757-マンス (インストール済み)       ● ID 757-マンス (インストール済み)       ● ID 757-マンス (インストール済み)	基本認証には高いブラウザー互換性があ ります。この認証方法は小規模な内部 ネットフークは10を0で、公共のインター ネットではほとんど使用されません。この方 活の大きな火点は、ネットフークを介して 送信されるパスワードの時号化アルゴリズ ムが見破られやすいことです。必要された パスワードは標準に整読可をす。した がって、基本認証は SSL と共に使用して ください。
	< 前入(P)	) > (インストール(I) キャンセル

すでに上記 3 つのサービスがインストールされている場合(インストール済みと表記されている)は 「キャンセル」をクリックして<2>ユーザーの作成に進んでください。

à	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
機能の選択		対象サーバー 5S4RQW-Client
開始する前に	選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。	
インストールの種類	機能	説明
サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	▶     ■     INET Framework 3.5 Features (インストール済み)       ▶     ■     INET Framework 4.5 Features (インストール済み)       ■     BitLocker ドライブ暗号化       ■     BranchCache       ■     HTTP プロキシを経由した RPC       □     IP アドレス管理 (IPAM) サーバー       □     ISNS サーバー サービス       □     LPR ポート モニター       ■     Management OData IIS 拡張機能       ■     Media Foundation       □     NFS クライアント       □     RAS 投続マネージャー管理キット (CMAK)       □     Simple TCP/IP Services       □     III	.NET Framework 3.5 では、.NET Framework 2.0 API の機能にアプリ ケーション作成的の新しいライロスが加 わきした。ユーザーは、魅力的なユー ザーインターフィブス、観客の個人情報保 課、シームレスマ安全な通信を利用でき ます。また、さまざまなビジネスプロセスを モデル化することができます。
	<前▲型) 次へ(N	1) >) =

⑦機能の選択画面になりますので、そのまま「次へ」をクリックします。

⑧インストールオプションの確認画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
インストール オプシ	ヨンの確認	対象サーバー 5S4RQW-Client
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[イン	パストール] をクリックしてください。
インストールの種類	□ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	
サーバーの選択 サーバーの役割	オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示さ らのオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ] をクリックして、 チェック ボックフ	れている可能性があります。これ Rをオフにしてください。
機能	Web サーバー (IIS)	
<b>確認</b> 結果	Web サーバー セキュリティ 基本認証 Windows 認証	
	構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定	
	<前へ(P) 次へ(N) > 、	インストール(I) キャンセル

⑨インストール完了画面が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

<2>ユーザーの作成

WebDAV でアクセスするユーザーを事前に登録しておく必要があります。「第4章 ユーザーの作成」 を参照してユーザーを登録してください。

<3>ファイアウォールの設定

WebDAV で http ポートを利用する場合、代表的なポート番号以外を利用することが推奨されます。そこで、利用するポートの利用可能にするためにファイアウォールの設定をします。

①WebDAV で利用するポート番号を決めます。番号は任意ですが、本マニュアルでは例として「8008」 番を利用することとします。



②画面の右上にカーソルを移動し、メニューが表示されたら「設定」をクリックします。

③設定画面が表示されるので、「コントロールパネル」を選択します。



④コントロールパネルが開きますので、「システムとセキュリティ」を選択し、「Windows ファイアウォール」を選択します。



⑤Windows ファイアウォールが開きますので、「詳細設定」をクリックします。



⑥セキュリティが強化された Windows ファイアウォールが表示されますので、「ローカルコンピュータの セキュリティ」→「受信の規則」をクリック、「操作」より「新しい規則」をクリックします。

¥	セキュリティが強く	とされた Windows ファイアウ	ォール			
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)					
	9					
				_		
☆ ローカル コンヒューター のセキリ	アー受信の規則				_	操作
2010年1月1日 1日 1	名前	900-9		有効	提供	受信の規則
	🕑 HostExplorer		すべて	はい	許可	23 新しい規則
<ul> <li>Introduction</li> <li>Introduction</li> </ul>	MMC		すべて	はい	許可 🚬	
p 🐀 2000	🕑 ServersMan		すべて	はい	許可 👘	¥ 707470074709-
	🕑 SMC Service		プライペート	はい	許可	▼ 状態でフィルター
	🕑 SMC Service		フライベート	はい	許可	▼ グループでフィルター
	🕑 SNAC Service		プライペート	はい	許可	**
	🕑 SNAC Service		プライベート	はい	許可	400/h
	🔘 BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)	BranchCache - コンテンツ取	すべて	いれえ	許可	🧟 最新の情報に更新
	🚳 BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	BranchCache - ピア検出 (	すべて	い戏	許可	🔒 一覧のエクスポート
	🔘 BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (	BranchCache - ホスト型キャ	すべて	いいえ	許可	2 ALT
	🔘 COM+ ネットワーク アクセス (DCOM-受信)	COM+ ネットワーク アクセス	すべて	いれえ	許可	
	🔘 COM+ リモート管理 (DCOM-受信)	COM+ リモート管理	すべて	いれ	許可	
	FTP サーバー (FTP トラフィック)	FTP サーバー	すべて	はい	許可	
	FTP サーバー セキュリティ (FTP SSL トラフィ	FTP サーバー	すべて	はい	許可	
	🔮 FTP サーバー バッシブ (FTP バッシブ トラフィ	FTP サーバー	すべて	はい	許可	
	💿 iSCSI サービス (TCP 受信)	iSCSI サービス	すべて	いれえ	許可	
	🔘 Netlogon サービス (NP 受信)	Netlogon サービス	すべて	いれ	許可	
	🔘 Netlagon サービス Authz (RPC)	Netlogon サービス	すべて	いれ	許可	
	🖸 NFS サーバー (NFS-TCP 受信)	NFS サーバー	すべて	はい	許可	
	🕑 NFS サーバー (NFS-UDP 受信)	NFS サーバー	すべて	はい	許可	
	💿 Secure Socket トンネリング プロトコル (SS	Secure Socket トンネリング	すべて	いいえ	許可	
	の SMBDirect でのファイルとプリンターの共有 (	SMBDirect でのファイルとプリ	すべて	いいえ	許可	
	SNMP トラップ サービス (UDP 受信)	SNMP Trap	7514	いいえ	許可	
	💿 SNMP トラップ サービス (UDP 受信)	SNMP Trap	ドメイン	いいえ	許可	
	TPM 仮想スマートカード管理 (DCOM 受信)	TPM 仮想スマートカード管理	ドメイン	いいえ	許可	
	TPM 仮想スマートカード管理 (DCOM 受信)	TPM 仮想スマートカード管理	プライペー	いいえ	許可 ~	
<	x i iii				>	

⑦新規の受信の規則ウィザードが表示されますので、規則の種類で「ポート」を選択して「次へ」をク

リックします。

2	新規の受信の規則ウィザード	x
規則の種類 作成するファイアウォールの規則の	董慧を選択してください。	
<ul> <li>ステッナ:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブロブラム</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	どの種類の規則を作成しますか? ・ <b>フログラム(P)</b> ったすこ、の基礎感を制御する規則です。 ・ <b>ハー(O)</b> かりまた後 GOP ボートの接続を制御する規則です。 ・ <b>の前定義(E)</b> BranchCache - エンテンツ取得 (HTTP を使用) 、 Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。 ・ <b>カスタムの</b> 人の見知です。	

⑧プロトコルおよびポートを指定します。「TCP(T)」プロトコルのラジオボタンを選択し、「特定のローカルポート」ラジオボタンを選択します。入力欄には①で決定したポート番号を入力します。

<i>2</i>	新規の受信の規則ウィザード	x
<b>プロトコルおよびポート</b> この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。	
<ul> <li>ステッナ:</li> <li>規則の有意見</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	TOP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか? ④ TCP(1) ● UDP(U) すべてひローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てくない。 ● 特定のローカル ボート(A) ● 特定のローカル ボート(S) ● 10001 	ŀ

⑨操作を指定します。「接続を許可する」ラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。



⑩プロファイルを指定します。特にデフォルトのままで問題ありませんので、そのまま「次へ」をクリック

します。

<b>@</b>	新規の受信の規則ウィザード
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。
<ul> <li>ステック:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか?

①名前を入力します。

名前、説明は任意の文字が入力可能ですが、本マニュアルでは例として「WebDAV」と入力します。 入力後「完了」をクリックします。

<b>@</b>	新規の受信の規則ウィザード	,
名前 この規則の名前と説明を指定して	(128(1))	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびボート</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> </ul>	名前(N):	
● 名前	WebDAVJ E¥9月(オブションXD):	
	(百八四) 客7(1) 各かせ	711.

以上でファイアウォールの設定は完了です。

#### <4>WindowsUpdate の実行

本設定はインターネットインフォメーションサービス(以下 IIS)を利用します。 また、IIS に関しては Ver8 であることを前提としております。

### **OWebDAV** 共有フォルダの作成

準備が完了したところで、実際に WebDAV 共有フォルダを作成します。

①サーバーマネージャーを起動し、ツールメニューより「インターネットインフォメーションサービス(IIS)

E.	サーバー マネージャー	
€⊙• "IIS	• @   <b>/</b>	管理(1 / <mark>ソール(1)</mark> 表示(V) へルプ(H)
<ul> <li>〒 グッシュボード</li> <li>□ ーカル サーバー</li> <li>重 すべてのサーバー</li> <li>で 115</li> <li>マアイル サービスと記憶域… ▷</li> <li>● 印刷サービス</li> </ul>	● サーバー すべてのサーバー   合計: 1 フィルター	
	< 	Windows Such (1999) Windows Such (1999) Windows Such (1999) (イントビューアー インターネット インストー ンスート なおほ コンポーネント サービス サービス サービス メンストム機成 3.ステム機成 5.ステム機成 5.ステム機成 5.ステムの機 ビネコジアパグ増化された Windows ファイアウォール ビキュジアパク機成ウィザード
	NSB-755 1004 15- Microsoft-Window	ws-IIS-W3SW hys-IIS-W3SW ドライブのアフラジを最適化 パワオーマンスモニター ファイル サーバー リソース マネージャー リソース マネージャー ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理
		▲ [P 10] 🕼 🛞 🚺 📩 👔 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹

②インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーが開きます。接続内の本製品のホスト名 をクリックし、「サイト」をクリックし、操作メニュー内の「Web サイトの追加」をクリックします。

<i>§</i>	インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ-	_ <b>_ _</b> ×
SS4RQW-CLI	ENT → サイト →	🖸 🛛 🏠 🔞 🔹
- ファイル(F) 表示(V) - ヘッレプ(H)		
	サイト     ノハター:     ションデンツ ビュー     WEILT     WEILT     WEILT	<ul> <li>※</li> <li>Web サイトの追加</li> <li>Web サイトの追加</li> <li>※</li> <li>FTP サイトの混走値の設定</li> <li>※</li> <li>パレプ</li> <li>オンライン ハルプ</li> </ul>
準備完了		

マネージャー」を選択します。

③Web サイトの追加が開きますので、必要事項を入力し、「OK」をクリックします。

Web サイトの追加 ?	×
サイト名(S): アガリケーション ブール(L): WebDAV WebDAV 運転(D	
コンダング ダイレクトリ 特徴 (ススク): D. XPUblic ガスロー・電圧 藤健(C)	
パインボ 種類(T): IP アドレス(I): ポート(O): Intp ッ 展報の IP アドレスSヘて ッ (scce) ネストを(い): 例: www.contose.com または merketing.contose.com	
☑ Web サイ 市道 5に開始する(M) ○K 3 2001	

・サイト名(S):
 任意のサイト名を入力します。
 ・物理パス(P):
 WebDAV で共有するフォルダ物理を指定します。
 パソコンとのデータ共有を行う場合は、
 SMB/CIFS 共有フォルダを同じ物理フォルダを指定します。

・接続:クリックすると接続ウインドウが開きますので「特定のユーザー」ラジオボタンをクリックし、「設

定」をクリックします。資格情報の 設定が開きますので、あらかじめ 登録しておいたWebDAVにアクセ スするユーザーのユーザー名、 パスワードを入力して「OK」をク リックします。

接続	? X	資格情報の設定
(7音級値額): ) 特定のユーザー(リ) ) アプルケーション ユーザー (パススルー認証)(A)	設定(T)	ユーザー発(U): testuser パスワード(P): 「(スワード(P): パスワード(P): パスワードの発記入力(C):
OK	キャンセル	OK

·テスト設定:接続で設定した内容でアクセス可能かをテストします。

・種類:特に問題がなければ http でも大丈夫です。

・IP アドレス:特に問題がなければ未使用の IP アドレスすべてを選択します。

**・ポート**:あらかじめ決めておいたポート番号を入力します。

・ホスト名:特に入力しなくても大丈夫です。

•Web サイトをただちに開始する:特に問題がなければチェックをします。

④接続内の本製品のホスト名→サイト→③で設定したサイト名をクリックします。サイトのホーム画面



が表示されますので、「認証」をクリックします。
⑤認証画面が表示されます。

Windows 認証、基本認証の状態が「無効」の場合は操作内の「有効にする」をクリックして認証を有効化します。また、匿名認証が「有効」になっている場合は操作内の「無効にする」をクリックします。

<b>\$</b> }	インターネット インフォメージ	ション サービス (IIS) マネージャー	_ <b>D</b> X
€ SS4RQW-CLIE	NT → サイト → WebDAV →		🖬 🛛 🟠 🔞 •
ファイル(F) 表示(V) ヘレレプ(H)			
JHURT     20(4)     VOD(4)       愛情     20(4)     VOD(4)       愛情     20(4)     VOD(4)       愛情     20(4)     VOD(4)       State     20(4)     VOD(4)	記証         グループ化:       グループ化なし         名前       ・         小型内化日 係後       ・         Windows 認証       ・         基本ないま       ・         基本ないま       ・         基本ないま       ・         基本ないま       ・	<ul> <li>14年</li> <li>応答の理想</li> <li>無効</li> <li>HTTP 401 チャレクジ</li> <li>単込</li> <li>HTTP 401 チャレクジ</li> <li>和効</li> </ul>	<b>設た</b> 有効にする へいプ オンマオンベルプ
	<		
< III > 構成: 'localhost' applicationHost.co	hig、<場所の/(ス="WebDAV">		¶.:

⑥接続内の本製品のホスト名→サイト→③で設定したホスト名をクリックします。

ホーム画面が表示されますので、「WebDAV オーサリング規則」をダブルクリックします。

<b>V</b> i	インターネット インフォメージ	ション サービス (IIS)	マネージャー	_ <b>D</b> X
SS4RQW-CLIE	NT ・サイト > WebDAV >			😐 🛛 🟠 I 😥 🗸
ファイル(F) 表示(V) ヘレレプ(H)				
77-44(F) 表示(V) ヘルプ(H) 接続 ・ 225-トスージ ▲ 105554RQW-CLIENT (S54RQY トロップリクージョンフール ▲ 10745-325-7ール ▲ 10745-325-7-10 ▲ 10745-35-7-10 ▲ 10755-35-7-10 ▲ 10755-7-10 ▲ 10755-7-10 ▲ 1	WebDAV ホーム     7/ルター:     115	▼ 検索(G) - 〜 すべ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ すべ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(表示(A) (表示(A) (大学) ( ) (大学) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	
			~	オンライン ヘルプ
	🏢 機能ビュー 🚾 コンテンツ ビュー			61
準1個元」				*iL:

⑦WebDAV オーサリング規則が表示されますので、操作内の「オーサリング規則の追加」をクリックし ます。

<b>e</b> j	インター	ネット インフォメーショ	ン サービス (IIS) マ	ネージャー	_ <b>_</b> ×
SS4RQW-CLIE	NT > サイト >	WebDAV 🔸			😐 🗠 🟠 🔞 •
ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)					
<ul> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>25</li> <li>25</li> <li>25</li> <li>27</li> <l< th=""><th></th><th>DAV オーサリン ザーのアクセスを承認する</th><th>グ規則 ための規則施措定するに</th><th>は、この機能を使用</th><th>Bさ ・ WebDAV 様能が無効にされて います。</th></l<></ul>		DAV オーサリン ザーのアクセスを承認する	グ規則 ための規則施措定するに	は、この機能を使用	Bさ ・ WebDAV 様能が無効にされて います。
a i i gi Yf h Go Default Web Site b i i gi webDAY:	1/52	2-9-	1220	P962	ス-サリンが思いの知 WebDAY の外がた WebDAY 的外がた そのりが れいが オンディンへルプ
<	📰 機能ビュー 👔	コンテンツ ビュー			
WfD: 's soliesting! last soufie!					65

⑧オーサリング規則の追加画面が表示されます。必要事項を設定して「OK」をクリックします。

オーサリング規則の追加 ? ×
70亿元03年可:
● 9へ(01) <del>/</del> /)9(C)
<ul> <li>         ・ ・ ・</li></ul>
例: *.bas, wsvc.axd
このコンテンツへのアクセスを許可する:
すべてのユーザー(A)
○ 指定された役割またはユーザー グループ(G):
管理者、ゲスト
<ul> <li>         「指定されたユーザー(U):         </li> </ul>
User1, User2
アクセス注印
✓ 読み取り(R)
✓ y−z(s)
✓ 書き込み(W)
OK 545'4711
0K +1/2/

アクセスの許可:

共有するサイト内でアクセス可能なコンテンツを指定したい場合は 「指定されたコンテンツ」ラジオボタンをクリックし、コンテンツを記 載します。特に指定しない場合は「すべてのコンテンツ」を指定します。 このコンテンツへのアクセスを許可する:

共有するサイトへのアクセス可能なユーザーを指定します。 特に指定の必要がなければ「すべてのユーザー」を選択します。 アクセス許可:

アクセスの権限を指定します。

タブレット等からファイルの読み書きを行うには、読み取り、ソース、 書き込みすべてにチェックを入れます。

¥1	インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー	- • ×
© )	SS4RQW-CLIENT → サイト → WebDAV →	🖬 🖂 🟠 🔞 -
7⊮1ル(F)	表示(V) へルプ(H)	
接続	MobDAV オーサルング相則  MA	

and the second	
ファイル(F) 表示(V) ヘルフ(H)	
	無効にされて
メタートページ コンテンダへのユーザーのアクセスを承認するための規則を描述するには、この機能を使用 よき SS4RQW-CLIENT (SS4RQV	
クアプリケーションブール パス ユーザー 役割 アクセス オーザルング取用の	8/1
▶ 😔 WebDAV 🗙 Mik	
會 上に移動	
- TEAPIN	
Webbay 0958	
わうくつ へいげ	
< III >	
機成: 'applicationHaut.config'	<b>9</b> 1.:

⑩操作内の「WebDAV の有効化」をクリックします。以上で設定は完了です。

# <u>第5章:バックアップ・メンテナンス</u>

### ○RAID エラー警告音の停止

RAID にエラーが発生した場合、製品本体より警告音などのアラートが発せられます。 これらの内、警告音の停止は NAS ツールの「ステータスパネル」より行います。

①NAS ツールの「ステータスパネル」をクリックしてください。



) HDD4: × 較D: なし	R	警告音停 AIDビルダー	起動
) HDD4:× 該D: なし	R	音告音19 AIDビルダー	起動
> HDD4: × 検D: なし		AIDビルダー	-起動
) HDD4:× 「 物助: なし			
綾D: なし			
該D: なし			
痧D: なし			
<b>該D: なし</b>			
痧D: なし	2		
綾D: なし	2		
全容量 00.00 GB 30.00 GB			
夏済みセクタ数 0	: 読みジ	しみ不安定 0	なセクタ
0		0	
U _		<u> </u>	
	全容量 10.00 GB 0.00 GB 第済みセクタ数 0 0 0 -	全容量 使用率 1000 GB 1451 % 0.00 GB 1.93 % 第高みセクタ数 読みジ 0 0 -	全容量 使用率 10.00 GB 1451 % 0.00 GB 1.93 % 第済みセクタ数 読み込み不安定 0 0 0 0 0 

②ステータスパネルが表示されますので、「警告音停止」ボタンをクリックしてください。

この場合、警告音は完全に停止します。新たなエラーが発生するまでは警告音は発せられません。

### ORAID の再構築(ディスクの交換)

RAID ボリュームにエラーが発生した場合、「RAID ビルダー」を起動して状態を確認し、メッセージを確認 いただき、エラーが発生しているディスクのみ交換してください。

※修復ボタンをクリックする前に「ステータスパネル」で、警告音を停止させてください。

※ディスク交換前に「修復」ボタンをクリックしても修復可能な場合もありますが、修復実行後もエラー表 示が消えない場合はディスク交換を実施してください。

①NAS ツールから「RAID ビルダー」を起動し、状況を確認します。(交換が必要なドライブを特定します。)

ステータス	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再スキャン
)正常 エラー	C: D:	ミラー RAID 5	:	:	٠	×	修復
							ポリューム作成
							ディスクの管理を起動

交換が必要なドライブが特定できたら、ディスクを交換してください。上図の例ではHDD4(上から4番目の ドライブ)にエラーが発生しています。(交換方法に関してはハードウェアマニュアルを参照してください)

#### <表示の説明>

・ ボリュームの状態

ドライブ毎にそのボリュームの状態を表示します。

1) ステータス: 表示内容によってボリュームの以下の状態を示します。

正常(青)	ボリュームが正常な状態を示します。RAID ボリュームでは修復の必要が無い状態です。
エラー(赤)	ボリュームに何らかの異常が発生しており、修復の必要がある状態を示しています。
修復中(黄)	RAID の再構築を実行していることを示します。

- 2)ドライブ: そのボリュームに割り当てられたドライブ文字を表示します。
- 3) タイプ:該当するドライブの RAID タイプを表示します。
- 4) HDD1,HDD2,HDD3,HDD4: どの HDD がボリュームにて使用されているかを表示します。ステータスに てエラー表示がされた場合「●」から「x」表示に変わります。

②交換が必要なドライブを交換します。本製品は電源投入状態でディスク交換(ホットスワップ)可能です。 ハードウェアマニュアルのディスク交換手順に従ってディスク交換後、1 分ほど経ってから、「再スキャン」 をクリックします。すると、RAID ビルダーが以下のようなメッセージ表示になりますので、「修復」ボタンをク リックしてください。

テータス	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再入れな
止帯 エラー	C: D:	ミフー RAID 5	:	:	٠	×	修復
							ポリューム作成
							ディスクの管理を起動

ドライブを交換した際に下のような画面が表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。

篇理テイ人ク マネージヤーかアクセス Cきるよ す。	こうにするにはナイスク	を初期化する	必要かありま
ディスクの選択(S): ☑ ディスク 3			
羅択したディスクに次のパーティション スタイ,	ルを使用する:		
○ MBR (マスター ブート レコード)(M) ● GPT (GUID パーティション テーブル)(	(G)		
注意: 以前のバージョンの Windows では	、 、GPT パーティショ	ン スタイルが認	認識されません。

③ 以下のように修復が自動的に始まります。

ø			R	AIDビルタ	I_			x
ボリュームの状態	ł							
ステータス	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再スキャン	
●正常 ●修復中	C: D:	ミラー RAID 5	:	:	٠	•	修復	
							ポリューム作成	
1. 6							ディスクの管理を起動	<b>b</b>
修復中							閉じる	

### ★注意★

システム起動ディスクに障害が発生し、スペアドライブと交換して「修復」ボタンをクリックした場合に下記のメッ

セージが表示されることがあります。



このメッセージが表示された場合は、一度システムを再起動して、再度「RAIDビルダー」を起動し、修復を実行して ください。

			R	AIDENS	-		8
りュームの状態	ы.						
ステータス	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再スキャン
●正常 ●正常	C: D:	ミラー RAID 5	:	:	٠	•	修復
							ポリューム作成
							ディスクの管理を起動
メッセージ							

④修復が終わるとステータスが自動的に「正常」表示に戻ります。

※修復(リビルド)中もデータへのアクセスなどは可能ですが、通常よりもアクセス速度が低下します。 ※リビルド完了までに必要な時間に関してはハードウェアマニュアルにてご確認ください。

#### ★注意★

・ディスク交換の際は、必ず新品のスペアドライブを挿入してください。

不良ドライブや使用済みドライブを用いるとドライブの特定ができなくなったり、リビルド時エラーが発生したりす る可能性があります。

・暗号化ボリュームを修復した際には、必ず「暗号化と自動ロック/アンロック設定」の「暗号化管理」で暗号化ス テータスを確認してください。「未完了」となっている場合には再暗号化が必要です。

# **〇データフォルダバックアップツール**

「データフォルダバックアップツール」は、WindowsServer2012R2、標準の「Windows Server バックアップ」 の制限事項を解消するためのオリジナルのツールです。「データフォルダバックアップツール」はバックアップ 設定を複数組に作成することが出来るので、フォルダ別にバックアップを設定することが可能です。

<データフォルダバックアップツールとWindowsServer バックアップの制限事項>

	データフォルダバックアップツール	WindowsServer バックアップ
システムのバックアップ	×	0
バックアップの複数セット登録	0	×

「データフォルダバックアップツール」の制限事項:

- ・データフォルダバックアップツールは、複数のバックアップ作業を複数同時に実行することができません。
   データフォルダバックアップツールでは複数のバックアップ設定を登録できますが、同時に実行されないよう、スケジュールを調整してください。
- ・ バックアップ先の指定は、論理ドライブ単位となります。
- ・1つのバックアップ先論理ドライブに対して設定できるバックアップセットは1つのみです。複数のバックアップセットを設定しないでください。設定した場合、バックアップデータが消去されてしまいます。複数のバックアップ先ハードディスクをご用意いただき、交換しながら運用していただくことをお勧めいたします。例えば、"DATA-A"フォルダのバックアップ先として論理ドライブ"E:"を指定した場合、"DATA-B"フォルダのバックアップ先として"E:"を指定することはできません。
- ・ バックアップ先論理ドライブは、あらかじめフォーマットしておいてください。

※指定できるのはハードディスクのみです。リムーバブルディスクや共有フォルダは指定できません。

ここでは、D:¥PUBLIC 下の二つのサブフォルダ(DATA\_A と DATA\_B)を、二台の外付けハードディスク(E:と F:)へ分散してバックアップする方法をご説明いたします。 ①NAS ツールメニューで「データフォルダバックアップツール」をクリックしてください。



②「データフォルダバックアップツール」が表示されます。バックアップ設定を追加するために、「新規」ボタン をクリックします。



バックアップ項目リスト	登録されているバックアップリストの一覧です。
「新規」ボタン	バックアップ項目を新規に追加します。
「詳細/編集」ボタン	「バックアップ項目リスト」で選択されている項目を編集できます。
「削除」ボタン	「バックアップ項目リスト」で選択されている項目を削除します。
「今すぐ実行」ボタン	「バックアップ項目リスト」で選択されている項目を開始します。
「閉じる」ボタン	「バックアップツール」設定ダイアログを閉じます。③「新規」ボタンをクリック
	すると「バックアップ設定」ダイアログが開きます。
	このダイアログボックスで、スケジュールを含むバックアップの設定を行い
	ます。

バックアッ	プ設定	
タイトル( <u>T</u> ): DATA_Aフォルダバックアップ		
バックアップ元(S) フォルダパス: D¥Public¥DATA A		参昭(P)
フォルダ名	サイズ	除外
バックアッフ	<sup>9</sup> 元フォルダの総サイズ:	0 B
	ォルダ除外後のサイズ:	0 B
バックアップ先(D) 論理ドライブ番号: E: ✓	空き容量:	930.56 GB
スケジュール( <u>O</u> )		
トリガ: 1回だけ実行する	7	~
開始 2012/10/24 🗐 🖌 00:00 🔶		
リトライ(R)		
間隔: しない 🗸	最大回数( <u>M</u> ): 1	^ V
	ОК	キャンヤル

③「バックアップ設定」ウインドウが表示されるので、各項目を設定します。

【設定項目】

タイトル	バックアップ設定項目に、任意のタイトルを設定します。			
フォルダパス	「参照」ボタンをクリックして、バックアップ元となるフォルダのパスを指定します。			
	バックアップ対象から除外するものを指定する事も可能です。			
バックアップ先	バックアップ先の論理ドライブ番号を打	旨定します。 バックアップ先として指定するド		
	ライブは、あらかじめ バックアップ用	HD フォーマッタでフォーマットしておいてく		
	ださい。バックアップが実行されると、	自動的にコンピュータ名のフォルダがルー		
	トフォルダへ作成され、その中にバック	フアップデータが保存されます。		
	※指定できるのはハードディスクのみ	・です。リムーバブルディスクや共有フォル		
	ダは指定できません。			
スケジュール	バックアップを開始するスケジュールを設定します。 トリガ:下記の選択肢から			
	選択できます。			
	1回だけ実行する	日付と時刻を指定します。		
	毎日指定時刻に実行する	時刻を指定します。		
	指定曜日の指定時刻に実行する	実行する曜日と、時刻を指定します。		
	指定月、指定日の指定時刻に実行	実行する日にち、時刻を指定します。		
	する			
リトライ	バックアップ作業の開始に失敗した地	場合に、再試行する間隔と回数を指定しま		
	す。			
	バックアップ作業は重複して実行することができないため、作業が完了する前に			
	次のバックアップ作業を開始しよう	とすると失敗してしまいます。このような場		
	合でも、「スケジュール」とこの「リト	ライ」の設定を適切に行うことにより、回避		
	が可能です。			

各設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックします。

④バックアップセットが登録されました。複数のバックアップセットを登録する場合は再度「新規」ボタンをク リックし、バックアップセットを作成してください。

<b>51</b>		データフォル・	ダバックアップツール		X
タイトル DATA_Aフォルダバ。	バックアップ元 D¥Public¥DATA_	バックアップ先 E	<b>スケジュール</b> 毎日「0000」に実行	最新のステータス	新規       詳細/編集       削除       今すぐ実行
					閉じる

# Oバックアップ(Windows Server バックアップ)

本製品には Windows Storage Server2012R2 標準の Windows Server バックアップが標準搭載されていま す。Windows Server バックアップは様々な機能が搭載されていますが、ここではシステム・データの保全の ための定期バックアップの手順を説明します。

※「Windows Server バックアップ」を活用することにより、システムおよびデータの保全が可能ですが、バッ クアップ設定を一組しか登録できないという制限があります。 この制限事項を回避するため、本製品には専用の「データフォルダバックアップツール」が搭載されていま すので、こちらもご活用ください。

① NAS ツールの「Windows Server バックアップ」をクリックしてください。



②「Windows Server バックアップ」が起動しますので、ツリーウィンドウにて「ローカルバックアップ」をクリックし、操作ウインドウで「バックアップスケジュール…」をクリックします。



③「バックアップスケジュールウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックします。



④「バックアップ構成の選択」が表示されますので、「サーバー全体」を選択し、「次へ」をクリックします。 ※データエリアのみのバックアップを選択する場合は、「カスタム」を選択します。

「カスタム」では、バックアップする項目を選択できます。

20	バックアップ スケジュール ウィザード	x
	構成の選択	
はじめに <u>パックアップの構成の選択</u> パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 要約	スケジュール設定する構成の種類を指定してください。 (●) サーバー全体(推奨)(U) サーバーテータ、アブリケーション、およびシステムの状態をすべてバックアップします。 バックアップ サイズ: 11.25 GB () カスタム(C) パックアップするポリュームやファイルを選択します。 <u>パックアップに含める項目の選択について</u> (バックアップに含める項目の選択について)	

⑤「バックアップの時間の指定」が表示されますので、バックアップを実行する時刻と1日の実行回数を指定

します。

20	バックアップ スケジュール ウィザード
メックアップの	時間の指定
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 一番の	<ul> <li>バックアップを実行する頻度と時刻を指定してください。</li> <li>1日1回(Q)         時刻の選択(E): 21:00         <ul> <li>1日複数回(M)</li> <li>選択可能な時刻のいずれかをクリックし、[追加]をクリックしてバックアップスケジュールに追加します。</li> </ul> </li> </ul>
费判	指定可能な時間: スケジュールされた時間: 0:00 ^ 0:30 ^ 1:00 1 1:30 2:00 2:30 3:00 3:30 3:00 3:30 3:00 4:00 ↓ (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○)

⑥「作成先の種類の指定」が表示されますので、バックアップ先の設定を行います。

ここでは、「バックアップ専用のハードディスクにバックアップする」を選択します。

20	バックアップ スケジュール ウィザード	
作成先の種	類の指定	
はじめに バックアップの構成の選ぶ バックアップの時間の指定 作成先の確認の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	<ul> <li>ハックアップの保存場所を指定してださい。</li> <li>ハックアップ専用のハードティスカにバックアップする(推奨)(E) つなブッシスを選択すると、最も安全にバックアップを保存できます。使用するハードエマスやお 初帰したし、ハックアップの解除使用になっます。</li> <li>ホリュームにバックアップする(<u>K</u>) つなオジョンは、ディスク全体をパックアップ専用として使用できない場合に選択します。ホリュー ムガバックアップの保存に使用れている頃、ホリュームのパフォーマンスは最大 200% 低下す る可能性が多ります。同じボリュームに他のサーバーデークを保存しないことをお勧めします。</li> <li>共有ネットワークフォルダーにパックアップする(E) このオブションは、パックアップが上書きされるため、一度に保持されるパックアップは1つの みになります。</li> </ul>	>
	<u>保存場所の選択について</u> < 朝へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 売了( <u>F</u> ) キャンセル	

⑦「作成先ディスクの選択」が表示されますので、バックアップの保存先ディスクを選択して「次へ」をクリック

#### します。

### 【ご注意】

バックアップ先のディスクは自動的にフォーマットされ、既存のデータは消去されます。ご注意ください。

20	バックアップ スケジュール ウィザード	x
作成先ディス	クの選択	
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定	バックアップの保存先ディスクを1つ以上選択してください。ディスクをオフサイトに保管する場合は 複数のバックアップディスクを使用できます。 利用可能なディスク( <u>A</u> ):	
作成生の種類の指定	ティスク 名前 サイズ 使用領域 ディスク内のボ	
作成先ティスクの選択 作成先ティスクの選択 確認 要約	マイ     E:¥         すべての使用可能なディスクを表示(S)	
	< 前へ(P) 次へ(N) > 売了(E) キャンセル	

⑧バックアップ先のドライブを、バックアップ元のリストから除外する旨のアラートが表示されますので、「OK」 をクリックします。

Windows Server バックアップ
バックアップする項目のリストにボリューム (E:) が含まれていま す。しかし、このボリュームはバックアップの保存先として指定されているディスク ディ スク 4 ( います。バックアップからこのボリュームを削除しますか?
OK キャンセル

⑨バックアップ先のハードディスクがフォーマットされる旨のアラートが表示されますので、内容をご確認の 上「はい」をクリックします。

Windows Server バックアップ
ウィザードを終了すると、選択したディスクは再フォーマットされ、そのディスク上にある 既存のボリュームおよびデータはすべて削除されます。障害対策を目的としてバック アップをオフサイトに移動できるようにするため、また、バックアップの整合性を確保す るために、選択したディスク全体がバックアップの保存専用となり、エクスプローラーに は表示されなくなります。 選択したディスクを使用するには、[はい]をクリックしてください。
(はい( <u>Y</u> )) いいえ( <u>N</u> )

⑩バックアップ先のディスクがフォーマットされ、バックアップスケジュールの設定内容が表示されます。
 設定に問題が無ければ「完了」をクリックします。

Ło	バックアップ スケジュール ウィザード	x
確認		
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 作成先ディスクの選択 確認	次のバックアップ スケジュールが作成されます。 バックアップの時間: 21:00 除外ファイル: なし 詳細オプション: VSS 完全バックアップ バックアップ先 名前 ラベル サイズ 使用領域	
要約	パックアップ項目       名前       ジンステム状態 アメタル回復 ジーカル ディスク (C:)	
	<前へ(E) 次へ(N) > 完了(E) キャンセル	]

⑪以上でバックアップスケジュールの設定は完了です。「閉じる」をクリックしてウィザードを終了します。

	バックアップ スケジュール ウィザード
そう 要約	
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	状態: バックアップ スケジュールが作成されました。 1 回目のスケジュールされたバックアップは 2012/10/25 21:00 に実行されます。 スケジュールされたバックアップの保存に使用するティスクがこのコンピューターに接続され、使用でき る状態になっていることを確認してください。
	<前へ(P) 次へ(N) > 閉じる(C) キャンセル

### **ONetStor Backup for Windows**

クラウドストレージサービスへのデータバックアップを円滑に行うことができるツールです。 暗号化されたボリュームのデータもバックアップを行うことができます。 <対応クラウドストレージサービス> ・Microsoft Azure

•Amazon S3

利用方法の詳細は、製品に添付されている「サポートディスク」内の以下マニュアルをご参照ください。

・NetStor Backup/Restore for Windows ユーザーズマニュアル

(サポートディスク内にない場合は、弊社ホームページよりダウンロード可能です)

http://www.elecom.co.jp/support/manual/index.html

## 〇共有フォルダのシャドウコピー(SCSF)

共有フォルダのシャドウコピー(Shadow Copies of Shared Folders : SCSF)は、ボリュームシャドウコピー サービスを使用して、ファイルの任意の時点でのコピー(シャドウコピー)を作成するスナップショット技術で す。シャドウコピーは、スケジュールに基づき、最大 64 世代まで作成できます。ユーザーは使い慣れたエ クスプローラから、誤って削除したファイルや上書きしたファイルを任意のシャドウコピーを使って、元の状態 に復元することができます。

共有フォルダのシャドウコピーには、次の特徴があります。

・ボリューム単位で有効化する。

・NTFSボリュームでのみ使用できる。

・あらゆるファイルに対応する。

【memo】シャドウコピークライアントは Microsoft 社の web ページよりダウンロード可能です。 (WindowsXP professional 用、Windows2000(SP3 以降)用)

①管理画面上の「コンピュータ」をダブルクリックし、コンピュータウィンドウを開き、シャドウコピーを設定した いボリュームを右クリックし、「シャドウコピーの構成」をクリックします。

R				
<b>(</b> ネットワーク		<mark>ドライブ ツール</mark> 表示 管理 C ・	PC 、	×
<b>夏</b> 夏 2み箱	A DALLAS	<ul> <li>・ ブイルジ (0)</li> <li>・ デバイスとドライブ (2)</li> <li>□ーカル ディスク (C:)</li> <li>空き領域 27.9 GB/39.9 GB</li> </ul>	ローフル ディスク (D:) 第14 (O) 新14 (D/C) 序行で現/(E)	
ServersMan@			<u>また(い)</u> <u>また(い)</u> シャドウコピーの構成(W) <del>以前の(「コン の感力(</del> (V)) ライブラリに適加(1)	•
בידער איז			スタートにどン留め(P) フォーマット(A) コピー(C) シューカットの作成(S)	
アレイ VVAULT-セットアッ プ			24回0変更(M) プロパティ(R)	
	8 個の項目 1 個の項目:	を選択		8== 🖬

②シャドウコピーウインドウが表示されますので、ボリュームの選択で、シャドウコピーを有効にしたいボ リュームを選択し、「有効」をクリックします。

	シャド	ウコピー	×
シャドウ コピー			
シャドウ コピーに。	たって、過去の特定の	時点での共有フ	オルダーの内容を表示す
ることができます。	ンヤトリ コピーの/月平	肉とつい (は、 <u>ここ</u>	<u>~~~~~</u> U( 2~~~</td
ボリュームの選択	(⊻):		
ボリューム	次回実行時刻	共有数	使用領域
📾 ¥¥?¥Vol	無效	0	0 バイト (¥¥?
C:¥	無効	1	
D:¥	熱効	3	0 バイト (D:¥)
「右効(こ)		(つ)	32字(c)
「「「「」」(三)		жл( <u>D</u> )	a又足(으)…
~ 選択したボリュー	ームのシャドウ コピー(	<u>(H)</u>	
			今すぐ作成( <u>C</u> )
			今すぐ削除( <u>N</u> )
			元に戻9(区)
L			
		0	K キャンセル

③シャドウコピーの有効化に関するアラートが表示されますので、「はい」をクリックします。

シャドウ コピーの有効化	ĸ
シャドウコピーを有効にすると、既定のスケジュールと設定が使われ、選択したボリュームのシャ ドウコピーが今すぐ作成されます。	,
重要: 既定の設定は I/O 負荷が高いサーバーには適していません。使用頻度が高いサーバーには、手動で シャドウ コピーを構成し、シャドウ コピーを実行しないポリューム上に記憶域を配置してください。	e
シャドウ コピーの詳細については、 <u>ここをクリック</u> してください。	
シャドウ コピーを有効にしますか?	
□ 今後、このメッセージを表示しない( <u>D</u> )	
(まい(Y) いいえ( <u>N</u> )	

④以上でシャドウコピーの基本設定は完了です。コピーの最大サイズやスケジュールなどの詳細を設定す るには設定ボタンをクリックしてください。

## **OWindowsUpdate**

Windows Storage Server2012R2 は WindowsUpdate 機能でネットワーク経由でシステムのアップデートを行う ことで常に最新の状態に保つことができます。

システムを最新の状態に保つことでシステムの安定性やセキュリティの向上を図れます。

く注意>

本製品は出荷時状態では Windows Update が有効になっていますが、ダウンロードとインストールは自動的 に行わない設定になっています。アップデート自体は手動で行うか、自動アップデートに設定してください。 なお、自動アップデートに設定された場合は、意図しないタイミングでシステムの再起動が実行される事が ありますので、ご注意ください。

- ① 管理画面のデスクトップ上のコンピュータアイコンを右クリックし、プロパティを選択します。
- ② [システム]ウインドウが表示されます。ウインドウ左下の関連項目より「WindowsUpdate」をクリックしま

1 🖬		システム		_ □	x
-oikce e 🛐 🕆 👻 🍥 🎯	ール パネル 🕨 システムとセキュリティ	▶ システム	✓ C ⊐>>□-,	ル パネルの検索	,
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	は情報の表示			0
🤫 デバイス マネージャー	Windows のエディション				
🛞 リモートの設定	Windows Storage Se	rver 2012 R2 Workgroup			
🛞 システムの詳細設定	© 2013 Microsoft Co	rporation. All rights reserved.	Windows <sup>®</sup> Stora	age Server 2012	R2
	システム				
	プロセッサ:	VIA Nano X2 L4350 @ 1.6+	+ GHz 1.60 GHz		
	実装メモリ (RAM):	8.00 GB (7.72 GB 使用可能)			
	システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム	、x64 ベース プロセッサ		
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタ	wチ入力は利用できません		
	コンピューター名、ドメインおよび	「ワークグループの設定			
	コンピューター名:	NSB-75S		●設定の変更	
	フル コンピューター名:	NSB-75S			
	コンピューターの説明:				
	ワークグループ:	WORKGROUP			
	Windows ライセンス認証 —				
	Windows はライセンス認	証されています。 マイクロソフト ソフトウ	ェア ライセンス条項を読む		
	プロダクト ID: 00257-50	0000-00147-AAOEM		プロダクト キーのる	変更
関連項目					
7/2:02: 12:4-					
Windows Update					

③ WindowsUpdate 画面が表示されますので、「設定の変更」をクリックします。



④ 「重要な更新プログラムの処理方法」を選択できます。必要事項を設定し OK をクリックします。

33	設定の変更	X
€ ◎ × ↑ 🐼 • ⊐	ントロール パネル ・ システムとセキュリティ ・ Windows Update ・ 設定の変更 v C コントロール パ	ネルの検索 の
	Windows Update の設定を選択します	
	設定のいくつかは、システム管理者が管理します。詳細情報。	
	PCをインターネットに接続している場合は、この設定によって、重要な更新プログラムを Windows で目動的に確認したり、イ ンストールルだりすることができます。新いル整新プログラムが利用可能になったときは、PC をシャットダウンするときに、その更新 プロプラムダンストールすることできます。	
	重要な更新プログラム(1)	
	更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する	
	推奨される更新プログラム	
	✓ 推奨される更新プログラムについても重要な更新プログラムと同様に通知する(R)	
	Microsoft Update	
	Windows の更新時に他の Microsoft 報告の更新プログラムを入手9 る(G)	
	注意:他の更新プログラムを確認するときに、最初に Windows Update 自体が自動的に更新されることがあります。 <u>オンラ</u> インのプライバシーに関する声明をお読みください。	
	OK         キャンセル	

<重要な更新プログラム>

- 更新プログラムを自動的にインストールする
   ※アップデートファイルによっては再起動を伴います。スケジュールバックアップ等と衝突する場合は調整が必要です。
- ・ 更新プログラムをダウンロードするが、インストールを行うかどうかは選択する ※RAID リビルド中等は再起動を控えるため手動インストールを設定することを推奨します。
- ・ 更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する:(出荷時)
- ・ 更新プログラムを確認しない

# <u>第6章:その他管理機能・サーバ設定</u>

### 〇お知らせメール設定

本製品を外部ネットワークに接続可能な環境であれば、メール設定を行うことによりメールにて稼動中の本製品に起こっているさまざまな情報を得ることが可能です。

①NAS ツールの「お知らせメール」をクリックしてください。



②お知らせメール設定が表示されますので、必要事項を設定し、「OK」をクリックします。

#### <基本設定タブ>

11 17.	
9-/\:	%~F: [25] (1-10000)
認証:使用しない	ヽ マ ユーザID: パスワード: パスワード:
メールアドレス:	
通知先メールアドレス	有幼/無効
1:	✓ 通知を有効にする
2:	
3:	
4:	
4:	□ ログフィルタリング

1) メールサーバ

サーバ	メール通知に使用するご利用の SMTP(送信メールサーバー)の IP アドレスまたは
	FQDN(Fully Qualified Domain Name)で入力します。
ポート	メール送信時に使用するポートを指定します。一般には'25'が使用されますが、プロ
	バイダー等の制限によりサブミッションポートの指定が必要な場合、使用するポート番
	号をこの欄に設定してください。詳しくはご契約いただいているプロバイダーにご確認
	ください。
認証	指定したメールサーバを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユー
認証	指定したメールサーバを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユー ザ ID、パスワードを入力します。認証方法としては「SMTP 認証」または「SSL 接続」が
認証	指定したメールサーバを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユー ザ ID、パスワードを入力します。認証方法としては「SMTP 認証」または「SSL 接続」が 選択可能です。
認証	指定したメールサーバを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユー ザ ID、パスワードを入力します。認証方法としては「SMTP 認証」または「SSL 接続」が 選択可能です。 ★注意★
認証	指定したメールサーバを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユー ザ ID、パスワードを入力します。認証方法としては「SMTP 認証」または「SSL 接続」が 選択可能です。 ★注意★ 「SSL 接続」では、暗号化方式は「STARTTLS」のみ対応しております。 「SMTP over SSL」には対応しておりませんので、設定前にご確認ください。

2) 通知先メールアドレス

メール通知を行うアドレスをメールアドレスの形式で入力してください。 同時に通知する送信先を5箇所 まで設定することができます。

【重要】サーバ(SMTP)及び通知先メールアドレス設定後、適用ボタンを必ずクリックしてください。

3) 有効/無効

メールにて受け取りたい情報にチェックを入れてください。

※「通知を有効にする」のチェックを外すと、全ての情報がメールにて受け取れなくなります。

※全ての項目にチェックを入れてしまうと、多くの情報がメールにて通知がされます。必要情報のみチェックする ことをお勧めします。

Disk 残容量	各ドライブの容量が設定値を超えた場合にメールにてお知らせします。
	「Disk 残容量」タブで詳細設定が可能です。
温度情報	搭載 HDD の温度が危険な温度になった場合にメールにてお知らせします。
	「温度情報」タブで詳細設定が可能です。
電源エラー	不正な電源 OFF が行われた場合、次回起動時にメールにて通知します。
S-RAID エラー	ソフトウェア RAID 構成(ミラー及び RAID5)の状態が正常で無い場合にメールにてお知
	らせします。
バックアップ	標準機能のバックアップ実行後にバックアップ結果をメールにてお知らせします。
ログフィルタリング	イベントビューアに記録されるログをフィルタリングしてメール通知することができます。
	「ログフィルタリング」タブでメール送信されるログの設定が可能です。
定期通知メール	設定した曜日時間に NAS から定期的にメールを受け取ることができます。
	本製品の死活管理に利用可能です。「メール設定」タブで詳細設定が可能です。
暗号化自動ロック/	暗号化機能が利用可能な場合に設定可能になります。
アンロックエラー	「暗号化と自動ロック/アンロック」機能にて[自動ロック/アンロック]に失敗した場合に
	メールにてお知らせいたします。
	(NSB-75S4CS2、75S4CW2、75S4DS2、75S4DW2 シリーズのみ)
ServersMan@CAS	ServersMan@CAS で問題が発生した場合やアップデートが検出された場合にメールに
の通知	てお知らせいたします。

くメール設定タブ>

<b>2</b>	NAS 5	知らせメール設定		X
基本設定 メール設定 Disk列 メールタイトル ・ 標準設定 0サーバ名	溶量 温度情報 口约 を追加 〇 文字列を込	ブフィルタリング		
メールへッダの追加 ● 有効 ○ 無効				×
定期通知メール 00:00 🗘 ④ 毎日	9 OB OA	〇火 〇水	〇木 〇金	O±
		ОК	<b>*</b> +>±1/	適用(A)

NAS から送信されるメール題名や内容を編集設定することが可能です。

1)メールタイトル

標準設定	NAS から送信されるメールのタイトルを初期設定で行います
サーバ名を追加	メールタイトルに NAS のコンピューター名を追加できます
文字列を追加	任意の文字列をメールタイトルに追加できます

2)メールヘッダの追加

有効	メール本文に任意の情報文字列を追加できます。(文字列の下に NAS の詳細
	情報が記載されます)
無効	メール本文はデフォルトのままの情報が記載されます。

3) 定期通知メール

定期通知のスケジュールを毎日から曜日ごとに時間を設定できます。

※「基本設定」タブの「通知を有効にする」のチェックと「定期通知メール」のチェックを入れないとここでの設 定が反映されません。

#### <Disk 残容量タブ>

各ドライブの残容量検知を行う為の設定です。

<b>5</b>	NAS お知らせメール設定	X
基本設定 メール設定 Disl 任意のドライブの残容量を検注 設定	k残容量 変情報 ロヴフィルタリング 知する	
対象ドライブ グローカルディスク (C:) グローカルディスク (D:)	し老い値(1-30%) 全容量の30%以下で通知 全容量の30%以下で通知	
メール再通知 60 🗴	▲ 分間隔(1-9999)	
	OK キャンセル	適用(A)

対象ドライブを選択し、しきい値の下にある「全容量の 30%以下で通知」の部分をクリックすると数値入力が可能になるので、任意の数値を設定後「適用」ボタンをクリックしてください。

※「基本設定」タブにて「通知を有効にする」のチェックと「Disk 残容量」にチェックが入っていないとメール通知されません。

#### <温度情報タブ>

搭載 HDD の温度情報を通知する為の設定です。

P NAS お知らせメール設定	×
基本設定 メール設定 Disk残容量 温度情報 アヴァィルタリング	
HDDの温度情報を検知する 設定	
メール再通知 60 🔷 分間隔(1-9999)	
OK	」 キャンセル 適用(A)

HDD の温度が既定温度(摂氏 59 度)以上になるとメールにて通知されます。

- メール再通知枠内に任意の数値を入力後、適用ボタンを押してください。
- ※「基本設定」タブにて「通知を有効にする」のチェックと「温度情報」にチェックが入っていないとメール通知され ません。

※このメールを受け取った際は本体の設置場所が正しいか確認してください

**<ログフィルタリングタブ>** 

イベントビューアに記録される内容をフィルタリングしてメール通知することができます。

ログ種類	レベル	ソース	イベントロ	説明へ
▼ アプリケーション	信奉局	LNASLCD	11100	CPU 温度ステータスを「正常」へ利
▼ アプリケーション	警告	LNASLCD	11200	CPU 温度ステータスを「警告」へ利≡
▼ アプリケーション	エラー	LNASLCD	11300	CPU 温度ステータスを「エラー」へき
✓ アプリケーション	情報	LNASLCD	12100	CPU ファン回転ステータスを「正常
▼ アプリケーション	警告	LNASLCD	12200	CPU ファン回転ステータスを「警告
✓ アプリケーション	I-	LNASLCD	12300	CPU ファン回転ステータスを「エラー
▼ アプリケーション	情報	LNASLCD	13100	システム温度ステータスを「正常」
▼ アプリケーション	警告	LNASLCD	13200	システム温度ステータスを「警告」
▼ アプリケーション	エラー	LNASLCD	13300	システム温度ステータスを「エラー」
▼ アプリケーション	情報	LNASLCD	14100	システムファン回転ステータスを「コ
▼ アプリケーション	警告	LNASLCD	14200	システムファン回転ステータスを「響
▼ アプリケーション	15-	LNASLCD	14300	システムファン回転ステータスを「エー
<		H		>

「ログ種類」の先頭にあるチェックボックスにチェックの入っている項目がログに記録されると、メールが送信され ます。

また、工場出荷時にデフォルトで入っているリスト以外のログを検知したい場合は、手動で追加することができ ます。手動で追加した項目は編集や削除も可能です。(デフォルトで入っているリストは削除や編集はできませ ん)

インポート	別途作成したリストをインポートします。
エクスポート	手動で追加した項目を CSV ファイルにエクスポートします(工場出荷時項目は対象外)。
リセット	リストを工場出荷時の状態(緑色の項目のみ)にします。
削除	手動で追加した項目を削除します(工場出荷時項目は対象外)。
編集	手動で追加した項目を編集します(工場出荷時項目は対象外)。
追加	リストに項目を追加します。

[リストへの追加方法]

「追加」ボタンをクリックすると、「追加編集」画面が表示されます。

それぞれの設定項目を入力し「OK」ボタンをクリックします。(「説明」以外は必須項目)

	追加編集
対象ログ	● システムログ ○ アプリケーションログ
LVIL	□重大 □IJ- □警告 □詳細 □情報
ג-ע	
1401FID	
説明(任意)	
イベントビュ	-7 OK キャンセル

対象ログ	検知対象となるログの記録先を選択します
レベル	検知対象となるログのレベルを選択します(複数選択可)
ソース	検知対象となるログのソースを入力します
イベント ID	検知対象となるログのイベント ID を数値で入力します
説明	コメントを入力します(任意)

<sup>※</sup>検知したいログの情報を確認したい場合は、「イベントビューア」ボタンをクリックするとイベントビューアが起 動し、実際のログを確認する事ができます。

※「基本設定」タブにて「通知を有効にする」のチェックと「ログフィルタリング」にチェックが入っていないとメール 通知されません。

## 〇電源設定(スケジュール電源管理/パワーボタン設定)

環境問題に考慮しECO(エコ)にNASを運用することが可能です。NASを利用しない夜間や休日にNAS の電源を OFF(休止モード)にし、利用する時間帯に自動的に NAS を稼動させる設定が行えます。また パワーボタンでの1発終了設定も行うことが可能です。

①NAS ツールの「電源管理」をクリックします。



	▷ ○ 有効	每日指定時	該に起動・総	·7	¥
	◉ 無効	🗌 自動起動	時に再起動で	を行う	
			毎日		
自動起動		[	有効		
起動時刻設定		0	):00 🗘		
自動終了		[	有効		
終了時刻設定	00:00 🗇				
○ 無効 ● ? この機能を有効 終了されていないア (未保行	■効 シャットダ こし、シャットダウン プリケーションは強 字のデータは失われ	ウン を行った場合 制終了されます れます。)	• •		
シー設定					
LIPS/D電源101-1連	制て木制具の	白油おおおたいたる	オス・ 〇 右	5h 🖌	

②「NAS Tool 電源設定」の画面が表示されます。必要事項を設定し、「OK」をクリックします。

#### く自動起動・終了設定>

・自動起動スケジュール:有効にすることにより自動起動・自動終了が行えます。

プルダウンメニューより自動起動を毎日行うか、曜日ごとに時刻を変更するかが選択可能です。

NAS Tool 電源設定 ×
休止状態中に電源の切断が行われた場合 自動起動設定での起動を行う事ができません。 その場合は、本体の電源ボタンで起動する 必要があります。
OKキャンセル

※休止状態中に停電・コンセントが抜けた場合、自動起動設定での起動はできません

#### ■毎日指定時刻に起動・終了を行う

「有効」にチェックを入れ起動及び終了の時間を設定し「OK」ボタンで画面を閉じます。

自動加強動入りンユール	▶ ● 有効 ○ 無効	毎日指定時刻に起動・終了 ∨ □ 自動起動時(ご再起動を行う
		毎日
自動起動		☑有劾
起動時刻設定		08:00 🗘
自動終了		☑有効
終了時刻設定		20:00 🗘
<ul> <li>無効</li> <li>● 4</li> <li>この機能を有効 終了されていないア (未保存)</li> </ul>	コンショウカ シャット こし、シャットダウ ブリケーションは引 子のデータは失わ	ダウン
リシー設定		
	新して大制中の	

※上記画面の設定では毎日朝8時にNASが起動し夜8時に自動的に終了する設定となります
※自動終了は休止モードでの終了となり、シャットダウンとは異なります。NAS にウィルスソフトやバックアップソフトなどリソースを多く消費するアプリケーションをご利用の場合、安定的な動作を行なうために「自動起動時に再起動を行う」にチェックを入れることをお勧めします。

	1-ル ⊙ ○	有効 無効	【指定曜日の指定時刻に起動・終了 ↓ 毎日指定時刻に起動・終了 指定曜日の指定時刻に起動・終了					
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
自動起動	□有効	□有効	□有効	□有効	□有効	□有効	□有効	
記動時刻設定	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	
自動終了	□有効	□有効	□有効	□有効	□有効	□有効	□有効	
終了時刻設定	00:00	00:00	00:00 🗘	00:00	00:00 🗘	00:00	00:00	
○無効 この機能をす 終了されていな (オ	<ul> <li>有効</li> <li>す効にし、シュ は、アプリケー</li> <li>に、アプリケー</li> </ul>	シャットダウンを ァットダウンを ションは強制 タは失われ	フン :行った場合 川終了されま ます。 〉	¥ È₫。				
シー設定								

■指定曜日の指定時刻に起動・終了を行う

「毎日指定時刻に起動・終了」の右側にある「▼」をクリックし、プルダウンメニューに表示される「指定曜日の指 定時刻に起動・終了」を選択します。

目動起動人グシュール 💿 有効			指定曜日の指定時刻に起動・終了					
	0	無効	🗌 自動詞	動時に再調	起動を行う			
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
自動起動	□有効	✔有効	✔有効	☑有効	✔有効	☑有効	□有効	
記動時刻設定	00:00	08:00 🗘	08:00 🗘	08:00 🗘	08:00 🗘	08:00 🗘	00:00	
自動終了	□有効	✔有効	☑有効	✔有効	☑有効	✔有効	□有効	
冬了時刻設定	00:00 🗘	20:00 🗘	20:00 🗘	20:00 🗘	20:00 🗘	20:00 🗘	00:00 🗘	
)無効 この機能を有 終てされていな	● 有効 該かにし、シュ いアプリケー :保存のデー	シャットダウ ァットダウンを ションは強制 タは失われ	フン 注行った場合 訓終了されま ます。)	✓ Èđ.				
(#								
************************************								

・設定したい曜日の自動起動及び自動終了の有効にチェックを入れてください

・次に各曜日ごとに NAS を起動させたい時間及び終了させたい時間を設定し「OK」ボタンで閉じます。
 ※上記画面では月~金まで朝8時に起動し夜8時に終了する設定となります。(土日は起動・終了しない設定)
 ※ここでも NAS の使用環境により「自動起動時に再起動を行う」のチェックの有無を選択可能です。(チェックを入れると全ての有効にチェックを入れた曜日に対して適用されます)


#### <パワーボタン1発シャットダウン>

・「有効」に設定することにより管理画面にアクセスすることなく、NAS前面にあるパワーボタンから簡単にNAS のシャットダウンを行うことが可能となります。

<b>C</b> 5)		N/	IAS Tool 電源設定 ×			
自動	目動起動・終了設定 自動起動スケジュール 〇 有効		毎日指定時刻に起動・終了			
		◉ 無効	自動起動時に再起動を行う			
			毎日			
É	自動起動		□有効			
đ	記動時刻設定		00:00			
É	自動終了	□有効				
Ť	冬了時刻設定		00:00			
ריא (	ーボタン1発シャットダ ○無効 ●有: この機能を有効にし 終了されていないアプ (未保存・	カン 効 「 りゃット・ 何もしな りか、 休止状 のデース・ テーン	ダウン ない 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			
ポリ: し	ポリシー設定 UPSの電源復旧に連動して本製品の自動起動を許可する: 〇 有効 💿 無効					
			OK キャンセル			

・有効に設定後右側にあるプルダウンメニューから動作を選択してください。
 ①何もしない:電源ボタンを押しても NAS は終了しません
 ②シャットダウン:電源ボタンを押すとシャットダウンが開始され、NAS の電源が安全に切れます。
 ③休止状態:電源ボタンを押すと休止モードとして自動的に電源が切れます。

#### ★注意★

※パワーボタン 1 発シャットダウンを無効にしても、電源ボタンを 5 秒以上長押ししてしまうと、有効・ 無効問わず NAS は強制的に電源が OFF になり、NAS 内にインストールされている Windows に悪影 響を与えてしまう場合がありますのでご注意ください。

※この機能を有効にし、電源ボタンにてシャットダウンを行った場合、終了されていないアプリケーショ ンは強制的に終了され、データ転送もキャンセルされますので御注意ください。

#### <ポリシー設定>

・UPSの電源復旧に連動して本製品の自動起動を許可する:

「有効」を選択した場合、Windows のセッションを終了した後も NAS の電源を切りません。

UPS をご利用の際、復電時に自動的に NAS を起動する事が可能になります。

※デスクトップ画面などから「シャットダウン」を実行した場合には電源が OFF になります。 既定値は「無効」です。

# Oステータスパネル

本製品の各種状況を確認できます。

①NAS ツールの「ステータスパネル」をクリックします。

6	NASY-IL
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へレプ(H)
🦛 🏟 📧 🚺 🖬	
🦰 NASツール	NASツール Ver 4.70
	NASツールでは、お知らせメール、電源設定など、NAS製品を便利にご活用いただく ための機能をご利用いただけます。
	RAIDE11-3-
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	ArobaView サービスコントロールセンター
	VVAULT
	Q 2#11/27775-14
	Windows Server バックアップ
	<u> データフォルダバックアップツール</u>
	MetStor Backup for Windows
	→ ローカルユーザとグループ(ローカル)

②ステータスパネルが表示されます。

NAS ステータスパネル	NAS ステータスパネル
レンテムステータス 再スキャン 正常	「システムステータスー 正常
RAIDステータス     警告音停止       正常     RAIDビルダー起動       HDD1:〇     HDD2○       HDD4:〇     HDD4:〇	RAID2データス     警告音停止       正常       HDD1:〇     HDD2:〇       HDD4:〇     RAIDビルダー起動
<ul> <li>ハードウェアステータス</li> <li>CPU温度: 38 ℃</li> <li>CPUファン: 4109 回転</li> <li>チップセット温度: 31 ℃</li> <li>ケースファン: 1981 回転</li> </ul>	ハードウェアステータス     OPU温度: 42 ℃     チップセット温度: 36 ℃     バックパネル温度: 36 ℃     バックパネル温度: 正常     取り外し
Windows Server/ivシアップ (終了時初): 2018/01/11 08:56       汚音量ステータス       Disk残容量設定       ドライブ 残容量(空参)     全容量     使用車       C:     1624 GB     3000 GB     45.85 %       D:     14782.07 GB     14783.20 GB     0.01 %	Windows Server/ドックアップ (終了時夜): なし       携容量入テータス       Disk列容量設定       ドライブ 残容量(空を)       全容量     使用率       C:     84.48 GB       D:     3324.38 GB       3324.38 GB     3325.16 GB       0.02 %
HDDステータス(SMART) ディスク 温度 修復済みセクタ数 読み込み不安定なセクタ HDD1 34 ℃ 0 0 0 HDD2 34 ℃ 0 0 0 HDD3 32 ℃ 0 0 HDD4 31 ℃ 0 0 KINC 0 0 KINC 0 開じる	 HDDステータス(SMART) <u>ディスク 温度</u> 修復済みセクタ数 読み込み不安定なセクタ HDD1 30 ℃ 0 0 HDD3 29 ℃ 0 0 HDD4 29 ℃ 0 0 < Ⅲ > 開じる
NSB-75S4DS2、75S4DW2、	NSB-75S4RS2、75S4RW2 シリーズ

#### <システムステータスエリア>

-システムステータス -正常

後述する「RAID ステータス」、「ハードウェアステータス」、「Windows Server バックアップ」、「残容量ステータス」、「HDD ステータス(SMART)」の情報から、システム全体のステータスを判定して表示します。

下記のステータスがあり、製品本体前面の表示装置や内蔵ブザーによる警告音と連動します。

正常	すべてのステータス項目が正常範囲内です。
警告あり	ステータス項目内に「警告」を検出しています。
	「エラー」になる前に、何らかの対策が必要な状況です。
	各ステータス項目をご確認ください。
エラーあり	ステータス項目の中に「エラー」を検出しています。
	本製品の正常な運用を維持できない状況です。
	各ステータス項目をご確認ください。
	また、ブザーによる警告でお知らせします。
	ブザーを停止したい場合は「警告音停止」ボタンをクリックしてください。
	ー度停止すると、再度別のエラーを検出するまでブザーは停止されます。



①現在の RAID ボリュームの状態を表示します。

正常	全てのボリュームが正常な状態を示します RAID ボリュームでは修復の必要が無い状態です	
エラー	1 つ以上のボリュームに何らかの異常が発生しており、修復の必要がある状態を示しています	
修復待ち	RAID ボリュームの再構築作業が開始できる状態を示しています	
修復中	RAID ボリュームの再構築を実行していることを示しています	

②それぞれの HDD の状態を表示します。

0	挿入されている HDD が正常でボリュームが存在する場合
×	挿入されている HDD が故障している場合
_	・HDD が挿入されていない場合 ・挿入されている HDD が正常でボリュームが存在しない場合

#### <ハードウェアステータスエリア>

「ハードウェアステータス――

CPU温度:	41 °C
CPUファン:	4132 回転
チップセット温度:	34 °C
ケースファン:	1925 回転

#### CPU の温度、ファンの回転数を表示します(回転数の単位は回転/分です)。

CPU 温度	CPU の温度を表示します。 90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」となります。
CPU ファン (NSB-75S4DS2、75S4DW2、 75S4CS2、75S4CW2 シリーズのみ)	CPU ファンの回転数を表示します。 2000 回転未満で「警告」、100 回転未満で「エラー」となります。
バックパネルファン (NSB-75S4RS2、75S4RW2 シリーズ のみ)	製品本体内のバックパネルファンのステータスを表示します。 ファンの回転に異常を検出した場合「エラー」となります。
チップセット温度	チップセットの温度を表示します。 90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」となります。
ケースファン (NSB-75S4DS2、75S4DW2、 75S4CS2、75S4CW2 シリーズのみ)	製品本体背面のケースファンの回転数を表示します。 1000 回転未満で「警告」、100 回転未満で「エラー」となります。
バックパネル温度 (NSB-75S4RS2、75S4RW2 シリーズ のみ)	製品本体内のバックパネルに異常を検出した場合「エラー」となります。

<Windows Server バックアップエリア>

Windows Serverバックアップ(終了時刻): 2018/01/11 08:56

Windows Server バックアップによるバックアップを実行している場合、その最後の実行結果と終了日時を表示 します。バックアップに失敗した場合は「エラー」となります。

#### <残容量ステータスエリア>

			[	Disk残容量設定
ドライブ	残容量 (空き)	全容量		
C:	16.24 GB	30.00 GB	45.85 %	
D:	14782.07 GB	14783.20 GB	0.01 %	
2.		11100.20 GB	0.0110	

論理ドライブ毎に、残容量、全容量、使用率を表示します。

空き容量のパーセンテージが閾値を下回った場合に「警告」となります。

閾値は NAS ツールの「お知らせメール設定」と連動しており、規定値は 30%です。

この閾値は必要に応じて変更が可能で、「お知らせメール設定」の「Disk 残容量」タブで編集できます。

(「Disk 残容量設定」ボタン押下で「お知らせメール設定」の「Disk 残容量」タブを開きます。)

<外付け eSATA HD エリア>(NSB-75S4RS2、75S4RW2 シリーズのみ)



・「取り外し」ボタン

製品本体に接続されている eSATA HD を取り外す際にクリックします。

#### <HDD ステータス(SMART)エリア>

ディスク	温度	修復済みセクタ数	読み込み不安定なセクタ
HDD1	36 °C	0	0
HDD2	37 °C	0	0
HDD3	34 °C	0	0
HDD4	33 °C	0	0
(		III	>

内蔵 HDD の SMART 取得情報を表示します。

HDD の温度が 70℃以上になった場合に「エラー」となります。

HDD の温度が 60℃以上、または一部のセクタに読み込みエラーが発生している場合に「警告」となります。

く再スキャンボタン>

表示内容を更新します。

### <閉じるボタン>

ステータスパネルウインドウを閉じます。

## Oフォルダアナライザ

ドライブ内に保存されているフォルダやファイルのサイズやドライブにおける占有度の割合を確認する ことが可能です。また各ドライブの使用状況も確認することが可能です。残容量が少なくなった際の ファイルの整理に活用できます。

①NAS ツールの「フォルダアナライザ」をクリックします。



②フォルダアナライザのウィンドウが表示されます。確認したいドライブを選択して、検索ボタンをクリックしてください。

	🍳 วรมเช็กวรรรษ์	X
<	ドライブを選択してください。	閉じる
	上に戻るフォルダ内の使用割合	フォルダ内の使用割合

③ドライブ内のフォルダやファイルが表示され、フォルダ容量や、ドライブ使用量全体に対する割合が 数値及び棒グラフで表示されます。

۵J		フォルダアナライザ	x
C¥ v	検索		閉じる
上に戻る		フォルダ内の使用割合	フォルダ内の使用割合
Windows	38 %	1000414 KB 🔨	
pagefile.sys	25 %	655360 KB	
Users	13 %	358870 KB	
Recovery	8 %	213370 KB	
ProgramData	4 %	113307 KB	
Program Files	3 %	89007 KB	
Program Files (x86)	2 %	67549 KB	
🔁 temp	1 %	44644 KB	
PerfLogs	1 %	29056 KB	
🚞 Boot		17788 KB _	
🚞 \$Recycle.Bin		10425 KB =	
bootmer		388 KB	
inetpub 🔁		269 KB	
BOOTSECT.BAK		8 KB	
USSドキュメント.txt			
BOOTNXT			
iSCSIVirtualDisks			
Documents and Settings			
Shares			
StorageReports			
System Volume Information		×	
ドライブ全体の使用状況			
使用:30%			空き:70%

・リスト内のディレクトリを選択すると、そのディレクトリ内のリストが右側に表示されます。

- ・画面左上の「上に戻る」ボタンを押すと、左側にリスト表示されるディレクトリを親ディレクトリに移動すること ができます。
- ・画面右上の「閉じる」ボタンを押すと、フォルダアナライザを終了します。

## **Oナスコール**

NAS 製品を複数台お持ちの場合、リモートにて操作している製品を特定するときに便利な機能です。

①NAS ツールの「ナスコール」をクリックします。

8	NASY-JL
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) /	งเว(H)
🦛 🔿 🔽 🚺	
NASY-JU	
	「「「うう」がしる。ための保護をご利用いただけます。
	RAIDビルダー                ・             ・
<pre></pre>	
	ArobaView サービスコントロールセンター
	Q 2#JUŠP±54 <u>#</u>
	Windows Server バックアップ
	データフォルダバックアップツール
	MetStor Backup for Windows
	● <u>その他設定</u>
	📫 📫 ローカルユーザとグループ(ローカル)

②リモート操作を行っている NAS からブザーが鳴り NAS を特定することが可能です。

※ナスコール機能は「NAS Host Explorer」からも利用できます。

4	🚽 NAS Host Explorer				- • •
	サーバーアプライアンス名	IPアドレス-1	IPアドレス-2	RAID情報	残容量
	NSB-75S-SERIES	192.168.12.108 (DHCP)		修復待ち	C:48% D:99%
	NSB-75S4CW2	192.168.12.102 (DHCP) 192.168.12.111 (DHCP)		止帝	C:48% D:99%
	100 700	182.100.12.111 (DHOF)		шттр	0.01/0.02/0
	•				•
			1	1	
C	_ ナスコール(N) 務	続(G) マウンド(M)			閉じる(※)

「ナスコール」ボタンをクリックすると選択された NAS からブザーが鳴り NAS を特定することが可能です。また、 ナスコールを実行するとご利用の NASの前面液晶表示パネルに「NASコール!」のメッセージが表示されます(液 晶表示パネル搭載モデルのみ)。

## 〇その他設定

その他設定の項目は、通常は変更する必要のない特別な設定の変更を行うための機能です。

①NAS ツールの「その他設定」をクリックします。



②「その他設定」ダイアログが開きます。

			その他	設定
XIS Came	era Compar	nion への応	答設定一	
		現在(	の設定:応答	います。
	応答を開	財合する(S)		応答を停止する(T)
/ebUI證定				
rE	ナの副2つ・	W-LINE +	. 1 0000 7	
19	い主い活丸定:	wedutを不	-L 9908 I	- 19正する(U)
7	ポート番号:	8808	-	
	24- n+ m.u.			
IASI障告角	生時のリレ	ーコントロー	ル設定――	
				199 <u>9 - 199</u> 9 - 199
I NAS随	(害発生時(	ועב-טוע	ロール機能	を利用する
E NAS略 利用す	<b>害発生時(</b> るCOMボー	עב-עע אין <u>רכו</u> א	-ロール機能	<b>を利用する</b> ┌ 監視する障害
T NAS随 利用す -コントロー	<b>:吉発生時(</b> るCOMボー -ルするリレー	<b>DUレーコント</b> ト: COM1 -接点No.ー		<b>を利用する</b> 「監視する障害──── 「 RAIDステータス異常
<ul> <li>NAS随 利用す</li> <li>コントロー</li> <li>1: マ</li> </ul>	<b>害発生時(</b> るCOMボー -ルするリレー 2: <b>厂</b>	<b>ルレーコント</b> ト: COM1 -接点No.ー 3: □	-ロール機能 	<b>を利用する</b> 「監視する障害」 「 RAIDステータス異常 「 HDD温度の異常
<ul> <li>NASE</li> <li>利用す</li> <li>コントロー</li> <li>1: 反</li> <li>5: C</li> </ul>	<b>害発生時(</b> るCOMポー -ルするリレー 2: 厂 6: 厂	アンファイント ト: COM1 -接点No 3: C 7: C	-ロール機能 	を利用する 「話視する障害」 「RAIDステータス異常 「HDD温度の異常 」」に終発容量
<ul> <li>NAS</li> <li>利用す</li> <li>コントロー</li> <li>1: 反</li> <li>5: □</li> </ul>	害発生時の るCOMボー ルするリレー 2 □ 6 □	WVレーコント ト: COM1 接点No.ー 3: □ 7: □	N□ール機能 4: □ 8: □	★利用する 「話視する障害」 「 RAIDステータス異常 「 HDD温度の異常 「 Disk残容量 「 電源15→(P)
<ul> <li>NASE</li> <li>利用す</li> <li>コントロー</li> <li>1: 反</li> <li>5: □</li> </ul>	宇発生時の るCOMボー ルするリレー 2: □ 6: □ テス	DUレーコント -ト: COM1 -接点No 3: C 7: C ト(E)	トロール機能 4. F 8. F	★#川明する ■ Ei視する障害 ■ RAIDステータス異常 ■ HDD温度の異常 ■ Disk残容量 ■ 電源エラー(P) ■ LAike→Lynda(2005(1))
NASE 利用す コントロー 1: 反 5: 「「」	<b>吉発生時(</b> るCOMボー ルするリレー 2 <u>厂</u> 6 <u>厂</u> テス	NUレーコント ト:「COM1 接点No 3 ロ 7:ロ H(E)	<□ール機能	<ul> <li>★ Full # 50</li> <li>★ E RAID ステータス異常</li> <li>★ HDD 温度の異常</li> <li>▲ DD B 建原の異常</li> <li>▲ DD B 建築音量</li> <li>★ 電源エラー(P)</li> <li>▲ LANポート107接続所(L)</li> <li>▲ LANポート107接続新(C))</li> </ul>
NASE 利用す -コントロー 1: 戸 5: 一	宇発生時の るCOMボー ルするリレー 2 □ 6 □ テス テス	<b>DUレーコント</b> -接点No 8 □ 7 □ ト(E) -のリセット(P		<ul> <li>たすい用する</li> <li>監視する障害</li> <li>■ RAIDステータス異常</li> <li>■ HDD温度の異常</li> <li>■ Disk残容量</li> <li>■ 電源エラー(P)</li> <li>■ LANポート1の接続時(L)</li> <li>■ LANポート2の接続時(A)</li> </ul>
NASB章     利用す     利用す     フントロー     1:      ア     5:      「     し     し	<b>害発生時の</b> るCOMボー ルするリレー 2: <b>「</b> 6: <b>「</b> テス リレーユニット	<b>がレーン /</b> ト:「COM1 接点No ※「 7.「 ト(E) のリセット(F		<ul> <li>★#1月する</li> <li>■ E視する障害</li> <li>■ RAIDステータス異常</li> <li>■ HDD温度の異常</li> <li>■ Disk残容量</li> <li>■ 電源エラー(P)</li> <li>■ LANポート1の接続時(L)</li> <li>■ LANポート2の接続時(A)</li> </ul>
NAS 時 利用す ーコントロー 1: 反 5: 「 し	<b>吉発生時(</b> るCOMボー ルするリレー 2: 「 6: 「 テス リレーユニット	<b>DYレーコント</b> 接点No.ー 3. <b>「</b> 7. <b>「</b> ト(E) のリセット(F		★#U用する 監視する障害 「RAIDステータス異常 HDD温度の異常 」Disk残容量 「電源エラー(P) 「LANポート1の接続即(L) 「LANポート2の接続即(A)
NASB 利用す ーコントロー 1: 反 5: 「 し し し し	<b>吉発生時(</b> るCOMボー ルするリレー 2: 「 ・ 「 テス リレーユニット	<b>DVレーコント</b> 接点No.ー 3. <b>「</b> 7. <b>「</b> ト(E) のリセット(F		★#1月まる E記視する障害 ■ RAIDステータス異常 ■ HDD温度の異常 ■ Disk考容量 ■ 電源エラー(P) ■ LANポート1の持続部所(L) ■ LANポート2の持続部所(A) ■ 開じる(O)

#### <AXIS Camera Companion への応答設定>

現在の設定:	応答しています。
広安支明ルオス(0)	広答を(高ルオス(五)
JUSECVER 186 9 53507	が含めばないないという。

AXIS 社製ネットワークカメラ管理ツール「AXIS Camera Companion」への応答の設定が可能です。

AXIS 社製ネットワークカメラをご利用頂かない場合は「応答を停止する」へ設定することをお勧めします。

#### <WebUI 設定>

VebUI設定	
現在の設定: WebUIをボート 8808 で利用する。	停止する(U)
ポート番号: 8808 📑	

WebUI に接続するためのポート番号を設定できます。初期値として'8808'番が割り当てられています。通常は 変更しないでください。ポート番号の設定を変更する場合には、ファイアウォール設定の編集も必要になります。 変更の際は以下の手順で行ってください。

1) WebUI 設定の「ポート番号」を変更して「閉じる」ボタンをクリックすると、下記の確認メッセージボックスが表示 されます。

設定確認	x
WebUI設定が変更されています。     適用しますか?	
(まい(Y) いいえ(N) キャンセル	

設定内容をご確認の上「はい」をクリックしてください。「その他設定」ダイアログが閉じます。

2)続いて、ファイアウォールの設定を変更します。リモートデスクトップ画面より、スタートボタンを右クリックし、 表示されたメニューで「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。

	プログラムと機能(F)	
	電源オプション(O)	
	イベント ビューアー(V)	
	システム(Y)	
	デバイス マネージャー(M)	
	ネットワーク接続(W)	
	ディスクの管理(K)	
	コンピューターの管理(G)	
	コマンド プロンプト(C)	
	コマンド プロンプト (管理者)(A)	
	タスク マネージャー(T)	
	コントロール パネル(P)	
	エクスプローラー(E)	
	橫索(S)	
5	ファイル名を指定して実行(R)	
	シャットックフォルはションフライ(0)・	
	デスクトップ(D)	

 ファイル名を指定して実行
 X

 アイル名を指定して実行
 X

 実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インターネット リソース名を入力してください。
 Air(0):

 名前(0):
 wf.msd
 v

 デ
 このタスクは管理者特権で作成されます。

 OK
 キャンセル
 参照(B)...

3)「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されますので、"wf.msc"と入力して「OK」をクリックします。

4)「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」が開きます。

左ペインで「受信の規則」を選択し、中央ペインで「NAS Web UI」を選択、続いて右ペインで「プロパティ」をクリックしてください。

<b>@</b>	セキュリティが強化された Windows	5 ファイアウォール	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルス	ŕ( <u>H</u> )		
🗢 🄿 🙍 🖬 🗟 🖬			
🔗 ローカル コンピューター のセキュリティが強	受信の規則		操作
11 受信の規則	名前	グループ 🔺 🔺	受信の規則
▲ 広信の規則 ■ 接続なたっ川ティの規則	ArobaViewTriggerEventRecorder	_	款 新しい規則
▶ 15 監視	HostExplorer	=	
	MMC		
	NAS TOOL WED OI		
	<ul> <li>BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)</li> </ul>	BranchQache - 그	¥ 010-7 C)1109-
	<ul> <li>BranchCache ピア検出 (WSD-受信)</li> </ul>	BranchCache - ピ	表示
	◎ BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (…	BranchCathe - 木	
	💿 COM+ ネットワーク アクセス (DCOM-受信)	COM+ ネットワーク	🔜 一覧のエクスポート
	● COM+ リモート管理 (DCOM-受信)	COM+ リモート管理	2 ヘルプ
	VDFSの管理 (DCOM 受信)	DFS の管理 DES の管理	NASTeel Web LII
	◎ DFS の管理 (TCP 受信)	DFS の管理	
	Ø DFS の管理 (WMI 受信)	DFS の管理	
	ØDFS レプリケーション (RPC 受信)	DFS レプリケーション	
	🔮 DFS レプリケーション (RPC-EPMAP)	DFS レプリケーション	
	Ø FTP サ−バ− (FTP トラフィック)	FTP サーバー	
			🔄 วีนเริง
	◎ FTP リーハー ハッシノ (FTP ハッシノ トラノイ) ◎ iSCSI #=ビフ (TCD 発信)		P NU
			-
		>	<u> </u>
選択した項目のノロバティ タイアロク ホックスを	開きより。		

5)「NAS Web UI のプロパティ」ダイアログが開きますので、「プロトコルおよびポート」タグを選択し、「ローカル ポート」で、変更したポート番号を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



以上で Web UI ポート番号の変更およびファイアウォールの設定は完了です。

**<NAS 障害発生時のリレーコントロール設定>**(NSB-75S4DS2、75S4DW2、75S4CS2、75S4CW2 シリーズのみ)



NAS に障害が発生した際に、RS-232C ポートを利用して株式会社パトライト製のインターフェースコンバーターに対して信号を送信する機能の設定です。

対応インターフェースコンバーター:株式会社パトライト製 PHC-D08

NAS 障害発生時のリレーコントロール	チェ	チェックを入れると機能を利用できるようになります。					
機能を利用する							
利用する COM ポート	ГСС	「COM1」以外は選択できません。					
コントロールするリレー接点 No.	障害	『発生時に NAS からコントロ・	ールする接点 No.を選択しま	す。			
監視する障害	監視	監視する障害を選択します。					
	LAN ポート(1・2)の接続断以外の障害は、「お知らせメール設定」の通						
	知項目と連動しているため、「お知らせメール設定」の該当する通知項						
	目を有効にする必要があります。						
		監視する障害 お知らせメール通知項目					
		RAID ステータス異常	S-RAID エラー				
		HDD 温度の異常	温度情報				
		Disk 残容量	Disk 残容量				
		電源エラー	電源エラー				
テスト	テスト信号を送信します。						
リレーユニットのリセット	「テン	スト」ボタン押下で送信したテ	スト信号を停止します。				

設定が完了したら「閉じる」ボタンをクリックします。設定確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



## **Oアプリケーションのインストール**

ウイルスチェックソフトなど、運用する上で必要なアプリケーションを本製品にインストールする際は、インストールするアプリケーションが Windows Storage Server2012R2 に対応している必要があります。

- ※ 対応、非対応はアプリケーション製造元にご確認ください。
- ※ アプリケーションをインストールして不具合が発生した場合は、弊社では責任を負いかねますので、 予めご了承ください。

インストールは管理画面(リモートデスクトップ)から行うリモートインストールと、コンソールを直接 NAS に接続してインストールするダイレクトインストールの2パターン存在します。

#### ■■Cドライブの容量について■■

本製品の Cドライブは 100GB です。容量の変更はできません。

アプリケーションによっては、C ドライブへファイルが自動生成されて、容量を圧迫する場合があります。 この場合、C ドライブは Windows のみで利用し、アプリケーションは D ドライブへインストールするこ とをご検討ください。

<リモートインストール>

管理用 PC の CD-ROM (DVD)を共有化し、本製品の管理画面より共有された CD-ROM (DVD) にアクセスします。



<ダイレクトインストール>

本製品の USB ポートに USB ハブを介して、CD-ROM(DVD)ドライブ、マウス、キーボードを VGA ポート にモニタを接続してインストールメディアよりインストールを行ってください。



アプリケーション自体のインストール手順は、アプリケーションの製造メーカーのマニュアルをご確認く ださい。

## 〇プリントサーバー機能

Windows Storage Server 2012R2 は、Windows クライアントに対して、本製品に接続した USB 接続のプリンターを共有プリンターとして提供します。

[印刷の管理]コンソール(PMC)は、プリンターの追加や印刷データの操作などのプリンターの管理タ スクを実行することができます。

<新しい共有プリンターを作成する>

※本作業の前に本製品にプリンターを接続し、ドライバーをインストールしてください。ドライバーのイン ストールに関してはプリンター付属のマニュアルをご参照ください。

①「サーバーマネージャー」の「ツール」から「印刷管理」をクリックします。

<b>a</b>	サーバー	マネージャー	_ <b>_</b> X
	ボード	- 3	│
<ul> <li> <b>課 タッシュポード</b> <ul> <li>                 ローカル サーバー</li></ul></li></ul>	サーバー マネージャーへようこそ クイック スタート (①) 最新情報(W) 詳細情報(L) 役割とサーバー グループ 役割の数:3   サーバー グループの 役割の数:3   サーバー グループの (2) IIS ① 管理状態	このローカル 2 役割と機能の 3 管理するサー 4 サーバー グル 数:1   サーバーの合計 1 ディ 5 管	ISCSI イニシエーター NFS 用サービス ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (32 ビット) Windows PowerShell Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE (x86) Windows Server /(ックアップ Windows メモリ珍断 イペント ビューアー インターネット インフォインション サービス (IIS) マネージャー コンポーネント サービス サービス システム構成 システム構成 ジステム情報 ビキュリティの構成ウィザード タスク スケジューラ ドライブのアラグと増速化 パワオーマンス モニター ファイル サーパー リンース マネージャー
			リソース モニター ローカル セキュリティ ポリシー Fn間(の管理

②印刷の管理が表示されます。「プリントサーバー」をクリックし、本製品を選択した後に、操作ウィンド ウの「他の操作」をクリックし、プルダウンメニューから「プリンターの追加」をクリックします。

1	印刷の管理		_ <b>D</b> X
ファイル(E) 操作(A) 表示(Y)	へルプ( <u>H)</u>		
<ul> <li>              ● 印刷の管理          <ul> <li>             カスタム フィルター             </li> <li>             プリント サーバー</li></ul></li></ul>	プリンター名 ■ Microsoft XPS Document W	キューの状態         準備完了	操作       ブリンターの追加(P)       拡張表示をする(X)       表示(V)       最新の情報に更新(F)       一覧のエクスポート(L)       ヘルプ(H)
選択されたサーバーに対するプリンターの追	<u> 追加ウィザードを起動します。</u>		

③ネットワークプリンターのインストールウィザードが表示されます。

登録するプリンターの接続されているポートを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

👼 ネットワーク プリンター	のインストール ウィザード	×
<b>プリンターのインストール</b> インストール方法を選択します。		
○ ネットワーク プリンターを検索する( <u>S</u> ) ● IP アドレスまたはホスト名で TCP/IP プリンターまた!	t Web サービス プリンターを追加する(工)	
○ 既存のボートを使って、新しいプリンターを追加する (E):	LPT1: (プリンター ポート)	¥
○新しいポートを作成して、新しいプリンターを追加する (C):	Local Port	>
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャン1	ZJU

④プリンタードライバーを選択し、「次へ」をクリックします。

👼 ネットワーク プリンターのインストール ウィザード	X
<b>プリンター ドライバー</b> 新しいプリンターのドライバーを選択します。	
<ul> <li>○ ウィザードによって選択されたプリンター ドライバーを使用する(<u>U</u>)</li> <li>互換性のあるドライバーが見っかりません。</li> <li>● このコンピューターの既存のプリンター ドライバーを使用する(E)</li> </ul>	
Microsoft XPS Document Writer v4 〇 新しいドライバーをインストールする( <u>1</u> )	<b>~</b>
< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>i</u>	<u>)</u> ) > キャンセル

÷	ネットワーク プリンターのインストール ウィザード
<b>プリンター名と共有</b> 調 プリンターのフレン	<b>发定</b> ドリ名を入力して、ほかの人がプリンターを使用できるかどうかを指定できます。
プリンター名( <u>P</u> ):	TP Output Gateway
	共有する(5)
共有名( <u>H</u> ):	Microsoft XPS Document Writer v4
場所( <u>L</u> ):	
אלאב <u>(כ</u> ):	
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル

⑤プリンター名と共有名の設定画面が表示されますので、必要事項を入力の上「次へ」をクリックします。

⑥プリンターの設定情報が表示されますので、問題がなければ「次へ」をクリックしてください。

-	ネットワーク プリンターのインストール ウィザード
<b>プリンターが見つか</b> プリンターをイン リンターをインス	<b>りました</b> ストールする準備できました。 下のプリンター設定を確認してから、 [次へ] をクリックしてブ トールしてください。
名前: 共有名: モデル: ポートの種類: ポート名: 場所: コメント:	TP Output Gateway Microsoft XPS Document Writer v4 TP Output Gateway プリンター ポート LPT1:
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル

⑦インストール処理後、ネットワークプリンターのインストールウィザードの完了画面になりますので、 「完了」をクリックしてください。

( <b>-</b> )	ネットワーク プリンターのインストール ウィザード	x
	ネットワーク プリンターのインストール ウィザードの完 了	
	状態:	
	プリンターのインストールに成功しました。	
	プリンターは正しくインストールされました。	
	プリンターをテストするには、[テスト ページの印刷] を選択して、[完了] をクリックしてください。	
	別のプリンターをインストールするには、 [別のプリンターの追加] を選 択して、 [完了] をクリックしてください。	
	□ テスト ページの印刷(P)	
	□別のアリンターの追加(A)	
	< 戻る(良) 完了 キャンセル	,

## OWeb UI 専用管理者アカウントの設定

本製品の出荷時状態では Web UI の管理者アカウントはリモートデスクトップでの管理者アカウントと同 ー(admin)のみが使用可能ですが、以下の操作をすることで管理者権限(Administrators グループに属 している)アカウントで Web UI にアクセスすることが可能になります。

<注意>

本設定を行うと「管理者承認モード」を無効にします。これにより UAC(ユーザアカウント制御)が無効となりますので、ご注意ください。

①リモートデスクトップ画面よりスタートボタンを右クリックして表示されたメニューより「ファイル名を指 定して実行(R)」をクリックします。



②ファイル名を指定して実行ダイアログが表示されますので、「LWUADMIN」と入力して「OK」をクリック します。

□ ファイル名を指定して実行 ×
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。
名前( <u>O</u> ): LWUADMIN v
OK キャンセル 参照( <u>B</u> )

③Web UI 用管理者設定ツールが起動しますので、「有効(E)」ラジオボタンを選択して「OK」をクリックし



以上で設定は完了です。尚、本設定を有効にするには本製品の再起動が必要になります。

# <u>第7章:ブラウザ経由での管理(Web UI)</u>

本製品にはリモートデスクトップによる管理画面以外に、ブラウザ経由で操作が可能な Web UI 管理画面が 実装されています。リモートデスクトップによる管理画面と比較して、設定可能項目は少なくなっていますが、 基本設定・管理を簡単なユーザーインターフェースで操作することが可能です。

### ONAS Host Explorer 経由での Web UI 管理画面へのアクセス

①NAS Host Explorer 上で表示されている NAS より設定する NAS を選択し、ダブルクリックしてください。

管理画面を選択するポップアップウインドウが表示されますので、「Web UI で接続」を選択してください。

NAS Host Explorer				_0		×
サーバーアプライアンス名	IPアドレス-1	IPアドレス-2	RAID'情報		残容量	t
NSB-75S	DHCP)	-	正常		C:0% D	:89%
NSB-75S	(DHCP)	-	上常		C:82%	D:91
NSB-75S	(DHCP)	-	モニア		0.74%	D:99,
LogitecNAS	(DHCP)	-	<b>芷</b> 常		C:62%	D:96
NSB-75S	(DHCP)	-	修復待ち		C:85%	
		UE-1	ルで接続 デスクトップで接続	<b>R</b>		
		Aroba	View に接続			
<				_		
ナスコール(N) 接続	(C) マウント(M)	設定(S)	再検索(R)		閉じる(	x

※Web UI の推奨ブラウザは Internet Explorer です。(Ver.9 以上)

NAS Host Explorer 経由で Web UI にアクセスする場合は、管理用 PC の標準のブラウザを Internet Explorer に設定してください

②管理画面にログオンするためのセキュリティダイアログが表示されますので、管理者のユーザー名 とパスワードを入力して「OK」をクリックします。

Windows セキュリティ	×
iexplore.exe	
122.18年夏151 へ接続しています。	
admin	
••••	
□ 資格情報を記憶する	
ОК	キャンセル

※製品出荷時状態の管理者ユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー : admin パスワード: admin (パスワードは大文字・小文字を判別します。) ドメイン(ActiveDirectory に参加している場合) ユーザー:本製品のホスト名¥admin 例) NSB-75S¥admin パスワード: admin

でアクセスしてください。

③ログオンが完了すると、ブラウザに Web UI が表示されます。

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70			
LELLO	ログオンユーザー: adr	min システムステーク	9ス: O 正常 NASコール	
<ul> <li>ステータス</li> </ul>	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: 0 E* 表示の更新			
初期設定	and a second second second second			-
ファイル共有設定	NASステータス			^
ボリュームの管理				
ネットワーク設定	\$.7=1.7=-		二世	
システム設定		2.		
お知らせメール設定	RAID XT-9	*:	止希	
雷源	Windows Upo	late :	10件の更新が利用可能です。再起動が必要な更新はありません。	
	システム稼働時	間:	0時間25分	
<b>ネカオI</b> P	日時:		2018年1月12日 14時49分	
サポートボークル ELECOM SUPPORT	LANI	IPアドレス:	JP2M DC_ML (DHCP)	
各種機器との 設定方法を	LANI .	MACアドレス:	00:1F:F2:11:B0:6C	
WITC CURY!	LAND	IPアドレス:	なし	
▶ 設定方法はごちら	LANZ .	MACアドレス:	00:1F:F2:11:B0:6D	
		CPU温度:	41 °C	
	0 KA-7.	CPUファン:	4109 回転	
	ハートウェア:	チップセット温度:	34 ℃	
		ケースファン:	1915 回転	~
		Copyright (C) Log	jitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.	

200

# OWebUI の基本操作

WebUI では本製品の基本的設定に関する項目をブラウザで簡単に行う事が可能です。

<ul> <li>ELECOM</li> <li>ステータス</li> <li>初期時間定</li> </ul>	NSB-75S4CW2 Web ログオンユーザー:admin S コンピュータ名:NSB-75S RA	UI Ver 4.** >X76X7 9 1: 9 #* 1 IDX7-9X: 0 #*	リア NAS製品QAへのリンク NASコール 表示の更新
ファイル共有設定	初期設定	③サブメニュー	エリア
ホットワーク設定	コンピュータ名:	NSB-75S	
	設定対象のLANボート:	LAN1	
● お知らせメール設定	固定IP/DHCP:	◎ 固定IPアドレス ◎ DHCP	
エリア	IPアドレス:		
	サブネットマスク:	<b>(4)メインエ</b>	リア
	デフォルトゲートウェイ:		
	DNSサーバー:		
	日時設定:	2015 / 11 / 24 10 : 30 : 47	
	設定 Copyrig	pht (C) Logitec INA Solutions Co.	,Ltd. All rights reserved.

画面内のエリアを4つに分けています。

①メニューエリア	設定項目の大メニューをメニューエリアから選択します。
②トップエリア	本製品全体のステータスやログイン情報を表示しています。
③サブメニューエリア	メニューエリアの項目毎に、本エリアにサブメニューが表示されます。
④メインエリア	選択された設定項目の操作を行うエリアです。

### ①メニューエリア



### ②トップエリア

トップエリ	アには以下の情報が表示されています。	1
2_		
3—	→コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: 0 正常	■ NA3」 - 加 表示の更新 - ⑦
		5

①バージョン	Web UI のバージョンが表示されています。バージョンにより、機能等が異なる場
	合がありますので最新のバージョンでご利用いただくようお願いいたします。
②ログオンユーザー	Web UI にログオンしているユーザー名が表示されます。
③コンピュータ名	本製品に登録されているコンピュータ名(ホスト名)が表示されます。
④システムステータス	現在のシステムステータス(後述)が表示されます。
⑤RAID ステータス	現在の RAID ステータス(後述)が表示されます。
⑥NAS コール	このボタンをクリックすると、NAS からビープ音が鳴ります。
	また、液晶表示パネルに「NAS コール!」と表示されます(液晶表示パネル搭載モデル
	のみ)。Web UI で操作している NAS を物理的に確認する事ができます。
⑦表示の更新	ブラウザで表示されているトップエリアの情報を更新する場合にクリックします。
	Web UI で表示内容を最新にする場合は、ブラウザの更新ボタンではなく、この
	ボタンを利用してください。

③サブメニューエリア

メニューエリアで選択した項目に設定項目が複数ある場合はこのサブメニューエリアに機能一覧が表示 されます。選択された項目は文字がオレンジで表示されます。

コンピュータ名/ドメイン名 **> IPアドレス** 

### ④メインエリア

選択されたメニュー・サブメニューに関する情報確認や設定を行う黄色いフレームで囲まれたエリアです。

	ステータス	ドライブ	タイプ	HDDO	HDD1	HDD2	HDD3
•	正常	C:	ミラー	•	•		
•	正常	D:	RAID 5	•	•	•	•
正常				_			

# 〇ステータスの確認

Web UI のステータスメニューでは本製品の状況(ステータス)を知ることが可能です。メニューエリアの「ス テータス」をクリックします。

ELECOM 2 ステータス 初期設定 ファイル共有設定 ポリュームの管理	<b>5日-7554C52</b> がオンユーザー: adm コンピュータ名: NSE NASステータス	web UI ver 4.	AD AD AD AD AD AD AD AD AD AD	
ネットワーク設定	システムステー	タス:	正常	
システム設定	RAIDステータン	<b>ζ</b> :	正常	
お知らせメール設定	Windows Upd	ate :	10件の更新が利用可能です。再起動が必要な更新はありません。	
电源	システム稼働時間:		0時間25分	
えわオ1₹	日時:		2018年1月12日 14時49分	
78-18-9% ELECOM SUPPORT		IPアドレス:	JPE_LAG DC BL (DHCP)	
各種機器との 設定方法を	LANI:	MACアドレス:	00:1F:F2:11:B0:6C	
和介しています!	1.4.112 .	IPアドレス:	なし	
▶ 設定方法はこちら	LANZ :	MACアドレス:	00:1F:F2:11:B0:6D	
		CPU温度:	41 ℃	
		CPUファン:	4109 回転	
	ハードウェア:	チップセット温度:	34 ℃	
		A-7772	1015 回新	

①システムステータス

後述の「RAID」、「ハードウェア」、「運用」、「HDD」の各ステータス情報から、システム全体のステータスを 判定して表示します。

以下のステータスがあります。

正常	すべてのステータス項目が正常範囲内です。		
警告あり	ステータス項目内に「警告」を検出しています。		
	「エラー」になる前に、何らかの対策が必要な状況です。		
	各ステータス項目をご確認ください。		
エラーあり	ステータス項目の中に「エラー」を検出しています。		
	本製品の正常な運用を維持できない状況です。		
	各ステータス項目をご確認ください。		

②RAID ステータス

本製品の RAID の状態を示します。以下のステータスがあります。

正常	RAID は正常に稼働しています。
エラー	RAID にエラーが発生しています。ディスク交換が必要です。
修復待ち	ディスクが交換されました。リビルドを実行してください。
修復中	RAID のリビルドもしくはパリティチェックが実行されています。
取得中	RAID 情報の取得中です。

③WindowsUpdate

本製品に適用可能な WindowsUpdate が公開されているかを表示します。(WindowsUpdate の実行はリ モートデスクトップの管理画面より行ってください)

④システム稼働時間

前回システムが起動してからの稼働時間を表示しています。(リアルタイム表示ではありません)

⑤日時

本製品に設定されている時間を表示します(リアルタイム表示ではありません)。時間にズレが生じている と、保存されるファイルのタイムスタンプなどに影響しますので、正確な時間で設定されているか確認して ください。日時の変更はシステムメニューより設定可能です。

6 LAN1/2

LAN ポート 1/2 のネットワーク状態を表示します。

IP アドレス	各ポートに設定された(又は割り当てられた)IP アドレスが表示されます。
	DHCP サーバーから割り当てられている場合は末尾に(DHCP)と表示
	手動設定されている場合は末尾に(固定)と表示
	ネットワーク接続が無い場合は「なし」と表示されます。
MAC アドレス	各ポートの MAC アドレスが表示されます。

★注意★

### 「NIC チーミング機能」を利用されている場合は、ネットワーク状態が表示されません。 リモートデスクトップの管理画面での確認をお願いします。

⑦ハードウェア

CPUの温度、ファンの回転数を表示します(回転数の単位は回転/分です)。

CPU 温度	CPU の温度を表示します。 90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」となります。
CPU ファン (NSB-75S4DS2、75S4DW2、 75S4CS2、75S4CW2 シリーズのみ)	CPU ファンの回転数を表示します。 2000 回転未満で「警告」、100 回転未満で「エラー」となります。
バックパネルファン (NSB-75S4RS2、75S4RW2 シリーズ のみ)	製品本体内のバックパネルファンのステータスを表示します。 ファンの回転に異常を検出した場合「エラー」となります。
チップセット温度	チップセットの温度を表示します。 90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」となります。
ケースファン (NSB-75S4DS2、75S4DW2、 75S4CS2、75S4CW2 シリーズのみ)	製品本体背面のケースファンの回転数を表示します。 1000 回転未満で「警告」、100 回転未満で「エラー」となります。
バックパネル温度 (NSB-75S4RS2、75S4RW2 シリーズ のみ)	製品本体内のバックパネルに異常を検出した場合「エラー」となります。

⑧運用

最新のバックアップ状態と、論理ドライブ毎の空き容量に関する情報を表示します。

バックアップ	「Windows Server バックアップ」によるバックアップを実行している場
	合、その最後の実行結果と終了日時を表示します。
	バックアップに失敗した場合は「エラー」となります。
空き容量(使用中/全容量)	論理ドライブ毎に空き容量のパーセンテージを表示します。
	このパーセンテージが閾値を下回った場合に「警告」となります。
	閾値は、「NAS ツール」上の「お知らせメール設定」と連動しており、規定
	値は 30%です。
	この閾値は必要に応じて変更が可能で、「お知らせメール設定」の「Disk
	残容量」タブで編集できます。
	★注意★
	暗号化されている論理ドライブで、ロック中のドライブについては空き容
	量表示が「0%」となりますが、異常ではありません。
	アンロックして頂くと空き容量が表示されます。

⑧HDD

内蔵 HDD のステータスを表示します。下記のステータスがあります。

正常	HDD のステータスに問題が無いことを示します。
警告	HDD の温度が 60℃以上、または一部のセクタに読み込みエラーが発生している事を示し
	ます。システムステータスには「警告」として反映されます。
異常	HDD の温度が 70℃以上となっている事を示します。システムステータスには「エラー」とし
	て反映されます。

# O初期設定

本製品の運用に必要な初期設定を行います。

メニューエリアの「初期設定」をクリックします。①~⑧までの設定が完了したら「設定」ボタンをクリックします。



①コンピュータ名	本製品のコンピュータ	名を設定します。同ーネットワーク内に同じ名前が存在			
	しない様に設定する必	要があります。			
<ol> <li>②設定対象の LAN ポート</li> </ol>	現在ネットワークが有効になっているメイン LAN ポートを表示します。				
	両方の LAN ポートにネットワークが接続されている場合は LAN1 ポートが表示				
	されます。				
③固定 IP/DHCP	設定対象の LAN ポー	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー			
	固定 IP アドレス	手動で IP アドレスを設定します。次の④~⑦の項目			
		に所定の値を入力します。			
	DHCP	DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。			
④IP アドレス	固定 IP アドレスで設定	 ミする場合に IP アドレスを入力します。			
	③で DHCP を選択した場合は入力の必要は有りません。				
⑤サブネットマスク	入力した IP アドレスに対応するクラスのサブネットマスクを入力します。				
	③で DHCP を選択した	:場合は入力の必要は有りません。			
⑥デフォルトゲートウェイ	入力した IP アドレスのネットワークのデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入				
	カします。③で DHCP を選択した場合は入力の必要は有りません。				
⑦DNS サーバー	入力した IP アドレスのネットワークから参照可能な DNS サーバーの IP アドレ				
	スを入力します。③で	DHCPを選択した場合は入力の必要は有りません。			
⑧日時設定	本製品の日時設定を				
	してください。				

## Oファイル共有設定

本製品の共有フォルダや共有フォルダにアクセスするユーザー/グループの設定を行う事ができます。 メニューエリアから「ファイル共有設定」をクリックします。

ファイル共有設定にはサブメニューとして「共有フォルダ」、「ユーザー」、「グループ」が存在します。

EL ECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70	
	ログオンユーザー: admin システムステータス: O E* NASコール	
ステータス	コンピュー <b>夕名:</b> NSB-75S RAIDステータス: 0 正* 表示の更新	
初期設定		
> ファイル供有設定	▶ 共有フォルダ ユーザー クループ	^
ボリュームの管理		
ネットワーク設定		
システム設定	新規作成 編集 共有解除	
お知らせメール設定		
電源	大相フオルダ名 ¢ ハス ¢ 説明 Dublic DiXDublic	•
<b>えれこして</b> マー・オーク・LICCM SUPORT 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		~
	ζ.	>
	Copyright (C) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.	

## ・共有フォルダ

共有フォルダメニューでは、共有フォルダの新規作成、アクセス権の編集、共有解除が行えます。 サブメニューエリアの「共有フォルダ」をクリックします。



### ■共有フォルダの作成

メインエリア内の「新規作成」ボタンをクリックすると、共有フォルダの新規作成サブウインドウが表示されま す。必要な情報を入力して「設定」ボタンをクリックします。

ELECOM	NSB-75S40	S2 Webl	JI Ver 4.7	0		
	ログオンユーザー	: admin シ	ステムステータン	K: 🔘 E#	6	NASI
ステータス	コンピュータ名	: NSB-75S	RAIDステータフ	K: 🜔 IE#	\$	表示の夏
初期設定	▶ 共有フ	ォルダ	ユーザー		グループ	
ポリューレの管理						
ネットローカ設定						
<ul><li>シュテム設定</li></ul>	新規1	作成	編集	共有解除		
お知らせメール設定						
雷源		共有フォルダ名	\$		パス	\$
-2.00	Public		D:	¥Public		
共有フォルダの新	現作成	([設定) ボタ	、		(A)-	
共有フォルダの新 更する内容を反映 <sup>1</sup> *共有フォルダ名:	現作成	「設定」ボタ	ンをクリック	してくださ	<mark>и.</mark>	
共有フォルダの新 更する内容を反映。 *共有フォルダ名:	現作成 するには、画面下部の	「設定」ボタ	ンをクリック	してくださ	61.	
共有フォルダの新 更する内容を反映 *共有フォルダ名: *フォルダパス:	提作成 するには、画面下部の 例) D:¥NewFolder	: 「設定」ボタ	ンをクリック		61.	
共有フォルダの新 更する内容を反映 *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明:	規作成 するには、画面下部の 例) D:¥NewFolder	:	シをクリックト		υ <b>λ.</b>	
<u>共有フォルダの新</u> 更する内容を反映 *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明:	現作成 するには、画面下部の 例) D:¥NewFolder	: 「設定」ボタ:	シをクリック	ut < tto	u	
<u>共有フォルダの新</u> 更する内容を反映 *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明: *共有アクセス	現作成 するには、画面下部の 例) D: ¥NewFolder	- 「設定」ボタ ユーザー	ンをクリック グループ		u.	
<u>共有フォルダの新</u> 更する内容を反映 *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明: *共有アクセス 名前	現作成 するには、画面下部の 例) D:¥NewFolder 許可: 選択	「設定」ボタ 「設定」ボタ ユーザー ア・	シをクリック クリーブ クセス権		υ.	
<u>共有フォルダの新</u> 更する内容を反映す *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明: *共有アクセス 名前 admin	現作成 するには、画面下部の 例) D:¥NewFolder 所可: 選択	「設定」ボタ ユーザー 涙み現	<u>グループ</u> グレープ かたス権 RD 〜		u.	
<u>共有フォルダの新</u> 更する内容を反映 *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明: * 共有アクセス、 名前 admin ArobaViewUser	現作成 Fるには、画面下部の 例) D:¥NewFolder 許可: 選択	「設定」ボタ	レモクリック クリレープ クセス推 RD マ RD マ)		u.	
<u>共有フォルダの新</u> 更する内容を反映で *共有フォルダ名: *フォルダパス: 説明: * 共有アクセス、 名前 admin ArobaViewUser Guest	提作成 するには、画面下部の 例) D:¥NewFolder 許可:  第項:	- 「設定」ボタ ユーザー ア・ 読み現 読み現 読み現 読み現	レンテクリック グループ クセス推 R2 R2 マン マン マン マン マン マン マン マン マン マン		u.	

①共有フォルダ名	ネットワーク上に公開する共有フォルダ名を入力します。					
②フォルダパス	共有フォルダを作成するローカルエリアを入力します。本製品のデータボリューム					
	に対して共有フォルダを作成します。既存のフォルダを指定する事も可能です。現					
	存しないフォルダ名を指定した場合は自動的にフォルダを作成します。					
③説明	ネットワーク上に公開	引する共有フォルダの説明です。入力は必須ではありません。				
④共有アクセス許可	現在登録されている	ユーザーー覧が表示されますので、アクセス権を与えるユー				
	ザーの「選択」チェッ	クボックスをチェックし、アクセス権をプルダウンメニューより選				
	択します。					
	<アクセス権>	<アクセス権>				
	読み取り 指定したユーザーは共有フォルダ内のファイルのリードが					
		可能です。				
	変更 指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライトが可					
		能です。				
	フルコントロール	指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライト、下層				
		フォルダのアクセス権管理が可能になります。				

### ■共有フォルダの編集

共有フォルダリスト内の共有フォルダを選択して「編集」ボタンをクリックすると、「共有フォルダの編集」サブ ウインドウが開きます。



①共有フォルダ名	ネットワーク上に公開する共有フォルダ名を入力します。			
②フォルダパス	共有フォルダを作成するローカルエリアを入力します。本製品のデータボリューム			
	に対して共有フォル	ダを作成します。既存のフォルダを指定する事も可能です。現		
	存しないフォルダ名を	を指定した場合は自動的にフォルダを作成します。		
③説明	ネットワーク上に公開する共有フォルダの説明です。入力は必須ではありません。			
④共有アクセス許可	現在登録されているユーザーー覧が表示されますので、アクセス権を与えるユー			
	ザーの「選択」チェックボックスをチェックし、アクセス権をプルダウンメニューより選			
	択します。			
	<アクセス権>			
	読み取り	指定したユーザーは共有フォルダ内のファイルのリードが		
		可能です。		
	変更	指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライトが可		
		能です。		
	フルコントロール	指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライト、下層		
		フォルダのアクセス権管理が可能になります。		

### ■共有フォルダの解除

共有フォルダリスト内の共有フォルダを選択して「共有解除」ボタンをクリックすると、アラートが表示されます。 「OK」をクリックすると共有フォルダの登録が解除されますが、フォルダ内のデータ等は削除されません。

<ul> <li>ELECOM</li> <li>ステータス</li> <li>初期設定</li> <li>ファイル共有認定</li> <li>ポリュームの管理</li> <li>ネットワーフ設定</li> <li>システム設定</li> </ul>	NSB-7554C52 Web UI Ver 4.70 ログオンユーザー: admin システムステータス: ◎ ェ★ NASユール コンピュータ名: NSB-755 RAIDステータス: ◎ ェ★ 表示の更新 ▶ 共有フォルダ ユーザー グループ 新規作成 編集 共有解除	^
お知らセメール線定 電源 えれさぼ	HATHARA NA B	
Web ページからのメッセ ? Public の 注: ローカル	?ージ × た有を解除します。よろしいですか? フォルダは削除されません。	
	ОК <b>+</b> +у2 <i>ll</i>	

### ・ユーザー

「ユーザー」メニューでは、ローカルユーザーの新規作成、ローカルユーザーの編集、ローカルユーザーの 削除が行えます。

サブメニューエリアの「ユーザー」をクリックします。

ELECOM Aデータス の 期間定  ファイル共有認定	SB-75S4CS2 ヴォンユーザー: adi コンピュータ名: NS 共有フォルダ	Web UI Ver min システムステ B-75S RAIDステ ト ユーサ	4.70 -9ス: <u>•</u> -9ス: • <u>•</u>	NASコ ま 表示の グループ	ール 更新	
ボリュームの管理 ネットワーク設定 システム設定 お知らせメール設定	新規作成 種類 4	編集 ユーザー名 ◆	削除 フルネーム ◆		説明	\$
電源	管理者	admin		コンピューター/ドメイ ト)	ンの管理用 (ビルトイン	/ アカウン
えわさほ サポートボークル ELECOM SUPPORT	標準ユーザー	ArobaViewUs / er e	ArobaViewUs er	ArobaViewのためのア	7カウント	
各種機器との 設定方法を 紹介しています!	標準ユーザー	Guest		コンピューター/ドメイ イン アカウント)	ンへのゲスト アクセス	用 (ビルト
▶ 設定方法はこちら						
	,					>

■ユーザーの作成

「新規作成」ボタンをクリックすると、ユーザーの新規作成サブウインドウが表示されます。必要な情報を入 カして「設定」ボタンをクリックします。

ついますがや	共有フォルダ	► 2°	-ij-	グループ	
ポリュームの管理					
ネットワーク設定			_		
システム設定	新規作成	组集	利耶余		
お知らせメール設定	種類◆	ユーザー名 🕈	フルネーム 🕈	說明	•
τ.»	管理者	admin		コンピューター/ドメインの管理用 (ビルトイン アカウン ト)	
	標準ユーザー	ArobaViewUs er	ArobaViewUs er	ArobaViewのためのアカウント	
各種機器との 設定方法を 紹介しています!	標準ユーザー	Guest		コンピューター/ドメインへのゲスト アクセス用 (ビルト イン アカウント)	
▶ 設定方法はこちら					
	(				>
		Copyright (C	) Logitec INA Se	olutions Co., Ltd. All rights reserved.	

ユーザー名:			
フルネーム:			
説明:			
パスワード:			
パスワードの確認:			
アカウントの種類:	●標準ユーザー ○曽	理者	

①ユーザー名	ユーザーのアカウント名を入力します。			
②フルネーム	ユーザーのフルネームを入力します。入力は必須ではありません。			
③説明	ユーザーの説明を入力します。入力は必須ではありません。			
④パスワード	ユーザーアカウントに対するパスワードを入力します。			
	ここで入力されたパスワードには使用期限は設定されません。			
⑤パスワードの確認	再度パスワードを入力します。			
	④で入力したパスワードと同じものを入力してください。			
⑥アカウントの種類	アカウントの種類を設定します。			
	標準ユーザー	共有フォルダにアクセスするためのユーザーアカウントを		
		作成する場合に選択します。		
	管理者	管理画面等にアクセスするユーザーアカウントを作成する		
		場合に選択します。管理者に設定することで、Web UI 管		
		理画面にアクセスすることが可能になります。		
#### ■ユーザーの編集

ユーザーリストから既存のユーザーを選択し、「編集」ボタンをクリックすると、「ユーザーの編集」サブウイン ドウが表示されます。必要な情報を入力して「設定」ボタンをクリックします。





ユーザーの編集

変更する内容を反映するには、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。

*ユーザー名:	user1		
フルネーム:			
説明:			
現在のパスワード:	 パスワードを変更す	る場合のみ入力	
新しいパスワード:			
新しいパスワードの確認:			
アカウントの種類:	● 標準ユーザー (	管理者	
(*) は入力必須項目です。		設定	キャンセル

ユーザーのアカウ	フント名を入力します。			
ユーザーのフルネ	<ームを入力します。入力は必須ではありません。			
ユーザーの説明を	を入力します。入力は必須ではありません。			
パスワードを変更する場合のみ、現在のパスワードを入力します。				
ここで入力した場合は⑤⑥の入力も必要です。				
変更後のパスワードを入力します。				
④で入力したパス	、ワードと同じものを入力してください。			
アカウントの種類	を設定します。			
標準ユーザー	共有フォルダにアクセスするためのユーザーアカウントを			
	作成する場合に選択します。			
管理者	管理画面等にアクセスするユーザーアカウントを作成する			
	場合に選択します。管理者に設定することで、Web UI 管			
	理画面にアクセスすることが可能になります。			
	ユーザーのアカウ ユーザーのフルオ ユーザーの説明で パスワードを変更 ここで入力した場 変更後のパスワードを ④で入力したパス アカウントの種類 標準ユーザー 管理者			

#### ■ユーザーの削除

ユーザーリスト内の削除したいユーザーを選択して「削除」ボタンをクリックすると、アラートが表示されます。 「OK」をクリックすると、ユーザーが削除されます。



#### ★注意★

アラート画面に「対象のアカウントのファイルは保存できません」との表示がされますが、これはユーザー 管理ファイルを指しており、共有フォルダ内のデータについては変更や削除はされません。

・グループ

グループメニューでは、ローカルグループの新規作成、ローカルグループの編集、ローカルグループの削除 が行えます。

「サブメニューエリア」の[グループ]をクリックします。



#### ■グループの作成

「新規作成」ボタンをクリックすると、グループの新規作成サブウインドウが表示されます。必要な情報を入 カして「設定」ボタンをクリックします。



①グループ名	グループ名を入力します。
2説明	グループの説明です。入力は必須ではありません。
③所属するメンバー	現在登録されているユーザーー覧が表示されますので、所属させるユーザーの
	「選択」チェックボックスをチェックします。

#### ■グループの編集

(\*) は入力必須項目です。

グループリストから既存のグループを選択し、「編集」ボタンをクリックすると、「グループの編集」サブウイン ドウが表示されます。必要な情報を入力して「設定」ボタンをクリックします。

<ul> <li>としましていていためのです。</li> <li>ステータス 初期設定</li> <li>ファイル共有設定</li> <li>ボリュームの管理</li> </ul>	ログオンユーザー コンピュータ名 共有ファ	: admin システムステータ : NSB-75S RAIDステータ : ルダ ユーザー	ス: ● 正無 ス: ● 正無 ● グルー	NASコール 表示の更新 プ	
ネットワーク設定 システム設定 お知らせメール設定 電源	新規作 Group00	fix 編集 名前	ĤUBR ¢	武明	*
なわれてして マサイキ・クト CLECON BUPORT ので加速で加速で加速で加速で加速で加速で加速で加速で加速で加速で 取作しています! ・ 配定力法はこちら	SQLServ	er2005SQLBrowserUser5	クルー INSB-755 の関連 に必要	プ内のメンバーには、50) Server Berg 何けられたインスタンスのログオン アか なアクセス権と特権が割り当てられていま	<del>iser</del> ウント Eす。
		Copyright (C)	ogitec INA Solutions (	Co.,Ltd. All rights reserved.	
グループの編集 変更する内容を反映	<mark>するには、画面</mark>	下部の「設定」ボタンジ	をクリックしてくだ	さい。	
*グループ名: [	àroup00				
説明:					
説明: [	*	79240			
説明: 所属するメンバ 名i admin		選択			
説明: 所属するメンパ 名 admin ArobaViewUser	— 贞	選択 ☑	27		

設定キャンセル

①グループ名	グループ名を入力します。
2説明	グループの説明です。入力は必須ではありません。
③所属するメンバー	現在登録されているユーザーー覧が表示されますので、所属させるユーザーの
	「選択」チェックボックスをチェックします。

#### ■グループの削除

グループリスト内の削除したいグループを選択して「削除」ボタンをクリックすると、アラートが表示されます。 「OK」をクリックすると、グループが削除されます。



# 〇ボリュームの管理

本製品のディスクボリューム、RAID のメンテナンスを行う事が可能です。メニューエリアから「ボリュームの 管理」をクリックします。「ボリュームの管理」にはサブメニューとして「ボリューム情報」と「S.M.A.R.T」が存在 します。

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70				
LLLLO	ログオンユーザー: admin システムステータス: O E* NASコール				
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: ● E常 表示の更新				
初期設定					
ファイル共有設定	▶ 末リユーム情報 S.M.A.R.T				
▶ ボリュームの管理					
ネットワーク設定					
システム設定					
お知らせメール設定					
電源	止席 D: RAID 5				
<b>よれたこの</b> サイキークシュビビCOUNTURING ログレスター ログレスター ・ 日本の コントレー ・ 日本の コントレー ・ 日本の コントレー ・ ログ ・ ログ ・ ログ ・ ログ ・ ログ ・ ログ ・ ログ ・ ロ	正常 RAID情報の更新 修復				
	Copyright (C) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.	>			

## ・ボリューム情報

ボリューム情報メニューでは、本製品内の RAID 状態の確認と、リビルド操作を行う事が可能です。サブメ ニューエリアの「ボリューム情報」をクリックします。

	ステータス	ドライブ	タイプ	HDDO	HDD1	HDD2	HDD3
•	正常	C:	ミラー	•	•		
•	正常	D:	RAID 5	•	•	•	•
メッセー 正常	ジ						
	は起って新		· (2) (日				

①ステータスボックス	本製品内の各 HDI	ことボリュームの情報が表示されます。		
	ステータス	RAID のステータスが表示されます。		
	ドライブ	本製品内で登録されているドライブレターが表示さ		
		れます。		
	タイプ	構成されている RAID タイプが表示されます。		
	HDD1~HDD4	各 HDD の状態が表示されます。		
		●:正常 ×:エラー		
②メッセージボックス	現在の RAID 状態	に関するメッセージが表示されます。		
③「RAID 情報の更新」ボタン	ブラウザに表示されている RAID 情報を最新の情報に更新します。			
④「修復」ボタン	RAID エラー発生®	寺、スペアドライブの交換後に本ボタンをクリックする事		
	でリビルドが開始さ	れます。		
	スペアドライブが挿	入されるまでは本ボタンは操作できません。		

#### •S.M.A.R.T

S.M.A.R.T メニューでは、本製品に搭載されている各 HDD の状態を表示します。 サブメニューエリアの「S.M.A.R.T」をクリックします。

	NSB-755 ログオンユー!	5 <b>4CS2</b> チー: adi タタ: NS	Web UI Ver 4.70 min システムステータス: 18-755 RAIDステータス:	O II	* NAS	ロール			
初期設定 ファイル共有設定 ▶ ポリュームの管理	ボリ:	2一人情報	S.M.A.R.T		50.0	97. <del>(</del> )			
ネットワーク設定 システム設定		ステータス	史종	F/W	シリアル番号	容量	修復済み セクタ数	読み込み不安定な セクタ数	修復が必要な セクタ数
お知らせメール設定	HDD1	良好	WDC WD40 EFRX-68WT0N0	82.0	WD-WCC4E43KL4LY	3726 GB	0	0	0
電源	HDD2	良好	WDC WD40 EFRX-68WT0N0	82.0	WD-WCC4E7VHTC6U	3726 GB	0	0	0
	HDD3	良好	WDC WD40 EFRX-68N32N0	82.0	WD-WCC7K6RC8P7Z	3726 GB	0	0	0
<b>えれらえに</b> サポーオークル ELECOM SUPPORT 各種機器との 設定方法を 紹介しています!	HDD4	良好	WDC WD40 EFRX-68N32N0	82.0	WD-WCC7K3FKPCC9	3726 GB	0	0	0
▶設定方法はこちら									
	<								
			Copyright (C) Logi	itec IN/	A Solutions Co.,Ltd.	All rights	reserve	:d.	

①ステータス	ハードディス	クの状態を表示しています。
	良好	HDD はダメージが無く、正常に動作しています。
	注意	HDD に一部ダメージが見られます。
		⑥~⑧の値が増えていく傾向にある場合は、スペアドライ
		ブの準備を検討してください。
	要交換	HDD にダメージが見られます。
		現時点で RAID 構成には問題は有りませんが、スペアドラ
		イブの準備を行ってください。
	エラー	HDD にエラーが発生しています。
		RAIDの再構築が必要になります。
②型番	本製品に搭	載されている HDD の型番が表示されます。
③F/W	本製品に搭載	載されている HDD のファームウェアバージョンが表示されます。
④シリアル番号	本製品に搭	載されている HDD のシリアル番号が表示されます。
⑤容量	本製品に搭	š載されている HDD の容量が表示されます。GiB 単位
	(1GiB=1024	4MB)で表示されます。
⑥修復済みセクタ数	搭載されてし	いる HDD で修復が行われたセクタの数をカウントしています。
⑦読み込み不安定なセクタ数	搭載されてし	いるHDDで読み込みが不安定なセクタの数をカウントしています。
⑧修復が必要なセクタ数	搭載されてし	いる HDD 上で修復を必要としているセクタの数をカウントして
	います。	

# 〇ネットワーク設定

本製品のネットワークに関する設定を行う事ができます。

メニューエリアから「ネットワーク設定」をクリックします。

ネットワーク設定にはサブメニューとして「コンピュータ名/ドメイン名」、「IP アドレス」が存在します。

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70	)	
	ログオンユーザー: admin システムステータス	: O E # NASI-ル	
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス	: 💿 正常 表示の更新	Ť
初期設定			
ファイル共有設定	コンピュータ名/ドメイン名 IPアト	5 D X	
ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部の「	設定 ボタンをクリックしてください	).
▶ ネットワーク設定	コンピュータ名:	NSB-75S	
システム設定	所属するグループ:	WORKGROUP	
お知らせメール設定	参加方法:	●ワークグループ ○ADドメイン	~
电师	ワークグループ名:		
えわさぼ	ドメイン名:		
サポートボークル ELECOM SUPPORT	参加するドメインの管理者名:		
各種機器との 設定方法を 紹介しています!	参加するドメインの管理者パスワード:		
▶設定方法はこちら	参加中ドメインの管理者名:		
	参加中ドメインの管理者パスワード:		
	設定		
	Copyright (C) Lo	gitec INA Solutions Co.,Ltd. All ri	ghts reserved.

## ・コンピュータ名 /ドメイン名

コンピュータ名/ドメイン名メニューでは本製品の Windows ネットワーク上での識別に関わる設定が可能です。 サブメニューの「コンピュータ名/ドメイン名」をクリックします。

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70	)	
	ログオンユーザー: admin システムステータス	.: O E# NASI-1	
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス	: ● 正常 表示の更新	
初期設定			
ファイル共有設定	レンピュータ名7ドメイン名 PP	*U2	
ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部の「	設定」ボタンをクリックしてください。	
ネットワーク設定	コンピュータ名:	NSB-75S	
ンステム設定	所属するグループ:	WORKGROUP	
お知らせメール設定	参加方法:	●ワークグループ ○ADドメイン	
- State Stat	ワークグループ名:		
えわさぼ	ドメイン名:		
サポートボークル ELECOM SUPPORT	参加するドメインの管理者名:		
各種機器との 設定方法を	参加するドメインの管理者パスワード:		
Mart College	参加中ドメインの管理者名:		
F ax 27/12/16 C 9 9	参加中ドメインの管理者パスワード:		

①コンピュータ名	本製品のコンピュータ名(ホスト名)を設定します。同一ネットワーク上に同じ名前		
	が無い様に設定してください。		
②所属するグループ	現在所属しているワークグループ、ドメイン名が表示されます。		
③参加方法	グループへの参加	方法を指定します。	
	ワークグループ	Workgroup によるネットワーク管理下で運用する場合に選択します。	
	AD ドメイン	ActiveDirectory によるによるネットワーク管理下で運用する 場合に選択します。	
④ワークグループ名	③の参加方法で「'	フークグループ」を選択した場合に、ワークグループ名を入力し	
	ます。		
⑤ドメイン名	③の参加方法で「AD ドメイン」を選択した場合にドメイン名を入力します。		
⑥参加するドメインの	③の参加方法で「ADドメイン」を選択した場合にドメインの管理者アカウントを入力		
管理者名	します。		
⑦参加するドメインの	③の参加方法で「AD ドメイン」を選択した場合にドメインの管理者アカウントのパ		
管理者パスワード	スワードを入力します。		
⑧参加中ドメインの管	現在参加中のドメインから離脱する場合、もしくは別のドメインに参加する場合に		
理者名	現在参加中のドメインの管理者アカウントを入力します。		
⑨参加中ドメインの管	現在参加中のドメインから離脱する場合、もしくは別のドメインに参加する場合に		
理者パスワード	現在参加中のドメインの管理者アカウントのパスワードを入力します。		

#### ・IP アドレス

IP アドレスメニューでは本製品に搭載されている2つの LAN ポートの TCP/IP ネットワークに関する設定を行う事ができます。

★注意★

「NIC チーミング機能」を利用されている場合は、本機能での設定はできません。 リモートデスクトップの管理画面での設定をお願いします。

サブメニューの IP アドレスをクリックします。



①LAN1-状態	LAN ポート1の状態が表示されます。		
②LAN1-固定 IP/DHCP	LAN ポート1の IP アドレスの設定方法を指定します。		
	固定 IP アドレス	手動で IP アドレスを設定します。	
		次の③~⑥の項目に所定の値を入力します。	
	DHCP	DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。	
③LAN1-IP アドレス	LAN ポート 1 に固定	IP アドレスを設定する場合に IP アドレスを入力し	
	ます。 ②で DHCP を述	選択した場合は入力の必要は有りません。	
④LAN1-サブネットマスク	③で入力した IP アドレスに対応するクラスのサブネットマスクを入力しま		
	す。②で DHCP を選	択した場合は入力の必要は有りません。	
⑤LAN1-デフォルトゲートウェイ	③で入力した IP アドレスのネットワークのデフォルトゲートウェイの IP ア		
	ドレスを入力します。	②で DHCP を選択した場合は入力の必要は有りま	
	せん。		
⑥LAN1-DNS サーバー	③で入力した IP アドレスのネットワークから参照可能な DNS サーバー		
	の IP アドレスを入力	します。②で DHCP を選択した場合は入力の必要	
	は有りません。		

⑦LAN1-LAN1 設定ボタン	LAN ポート1に関する設定の入力が完了したらこのボタンをクリックして		
	設定を反映させます。		
⑧LAN2-状態	LAN ポート 2 の状態が表示されます。		
⑨LAN2-固定 IP/DHCP	LAN ポート 2 の IP アドレスの設定方法を指定します。		
	固定 IP アドレス	手動で IP アドレスを設定します。	
		次の⑪~⑬の項目に所定の値を入力します。	
	DHCP	DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。	
⑩LAN2-IP アドレス	LAN ポート 2 に固定	IP アドレスを設定する場合に IP アドレスを入力し	
	ます。 ⑨で DHCP を	選択した場合は入力の必要は有りません。	
⑪LAN2-サブネットマスク	⑩で入力した IP アドレスに対応するクラスのサブネットマスクを入力しま		
	す。⑨で DHCP を選択した場合は入力の必要は有りません。		
⑫LAN2-デフォルトゲートウェイ	⑩で入力した IP アドレスのネットワークのデフォルトゲートウェイの IP ア		
	ドレスを入力します。	⑨で DHCP を選択した場合は入力の必要は有りま	
	せん。		
⑬LAN2-DNS サーバー	⑩で入力した IP アドレスのネットワークから参照可能な DNS サーバー		
	の IP アドレスを入力	」します。⑨で DHCP を選択した場合は入力の必要	
	は有りません。		
⑭LAN2-LAN2 設定ボタン	LAN ポート 2 に関する設定の入力が完了したらこのボタンをクリックして		
	設定を反映させます。	0	

# Oシステム設定

システム設定メニューでは、本製品のシステム運用に関わる設定を行います。メニューエリアから「システム 設定」をクリックします。システム設定メニューにはサブメニューとして「日時設定」、「ログ」が存在します

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70		
	ログオンユーザー: admin システムステー	-97: • E* NAS=-J/	
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステー	-タス: 0 正常 表示の更新	
初期設定			
ファイル共有設定	▶ 日時設定 ログ		
ポリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部	の「設定」ボタンをクリックしてください。	
		現在の設定	
> システム設定	日時:	2018/1/12 17:9:51	
STATUCE STATUCE	タイムゾーン:	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京	
	設定変更		
えわさぼ	日時設定:	2018/1/12 17:10:6	
ウボートボータル ELECOM SUPPORT	タイムゾーン:	(UTC+09-00)大阪、札幌、東京 🗸	
A##意志の 留方法を 留行しています」 ▶ 国立対法はこちら	設元		
	Copyright (C	) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.	

## ·日時設定

日時設定メニューでは本製品に搭載されている内蔵時計に関する設定を行う事ができます。

サブメニューの日時設定をクリックします。設定項目の入力が完了したら「設定」ボタンをクリックします。

EL ECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.7	70		
	ログオンユーザー: admin システムステータ	ス: ○ 正常 NASコール		
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータ	ス: ● 正常 表示の更新		
初期設定				
ファイル共有設定	▶ 日時設定 Dグ			
ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部の	「設定」ボタンをクリックしてください。		
ネットワーク設定		現在の設定		
システム設定	日時:	2018/1/12 17:9:51		
お知らせメール設定	タイムゾーン:	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京		
電源				
		設定変更		
えれさぼ	日時設定:	2018/1/12 17:10:6		
サポートボータル ELECOM SUPPORT	タイムゾーン:	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京 ✓		
74-14-54 ELCEN UNPORT 1 第二日 第二日 第二日 第二日 二 第二日 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	設定 Countrath (C)			
	Copyright (C) L	ogitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.		

①現在の設定-日時	現在本製品内蔵の時計に設定されている日時が表示されます。
②現在の設定-タイムゾーン	現在本製品内蔵の時計に設定されているタイムゾーンが表示されま
	す。
③設定変更-日時設定	本製品内蔵の時計に設定する日時を入力します。
	左から年(西暦記載4桁)/月(1~2桁)/日(1~2桁) 時(24 時間表記1
	~2桁):分(1~2桁):秒(1~2桁)で入力します。
④設定変更-タイムゾーン	本体内蔵の時計に設定するタイムゾーンを指定します。

#### ・ログ

ログメニューでは本製品の稼働記録の確認、ファイル保存を行う事ができます。サブメニューのログをクリッ

#### クします。



①ログ種類	確認/保存するログの種類を選択します。		
	アプリケーションログ		サービスやアプリケーションに関するイベント情
			報が記録されています。
	システムロ	グ	ネットワークやシステムに関するイベント情報が
			記録されています。
②レベル	ログに保存さ	されている情	報のレベルを選択します。
	エラー	システムの	D稼働に関わる可能性がある障害情報が選択さ
		れます。	
	警告	システムの	D稼働に影響を及ぼす可能性があるイベントが選
		択されます	•
	情報	システムや	<sup>5</sup> サービスからの情報が選択されます。
	すべて	エラー、警	告、情報 全ての情報を選択します。
③表示ボタン	表示ボタンをクリックする事で選択されたログ種類、レベルのログリストが		
	④の表示エリアに表示されます。		
④ログリスト表示エリア	ログリストが表示されます。		
⑤ログメッセージ表示エリア	④のログリスト表示エリアで選択したログの詳細情報が表示されます。		
⑥保存ボタン	ー リストアップされたログを CSV 形式の外部ファイルで保存できます。		
	「保存」ボタンをクリックすると、以下の様なメッセージが表示されますので、		
	「保存(S)」をクリックします。		
	192.168.2.113 から LogSysAll20140625100036.csv を開くか、または保存しますか? × ファイルを開く(0) 保存(S) ▼ キャンセル(C)		

## 〇お知らせメール設定

お知らせメール設定メニューでは、本製品のイベント発生時に配信されるメール通知に関する設定を行います。

メニューエリアから「お知らせメール設定」をクリックします。

お知らせメール設定メニューにはサブメニューとして「基本設定」、「通知項目の設定」が存在します

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI	Ver 4.70	
	ログオンユーザー: admin システ	ムステータス: 🔵 正常	NASI-JU
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RA	IDステータス: 🚺 正常 🕴	表示の更新
初期設定			
ファイル共有設定	▶ 基本設定 通知	項目の設定	
ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、	画面下部の「設定」ボタンをクリックして	こください。
ネットワーク設定	お知らせメール:	☑:通知を有効にする	
システム設定	送信メールサーバー名:	er eroranb	
1 の加らビス が設した	ポート:	587	
	認証タイプ:	SMTPPEE V	
えれさぼ	ユーザーID:	Fallenti	
サポートボータル ELECOM SUPPORT	パスワード:	•••••	
各種機器との 設定方法を 紹介しています!	差出人メールアドレス:	e mantere Steanarts var ju	
<ul> <li>▶ 設定方法はこちら</li> </ul>	通知先メールアドレス: 1	Cr. Inavalleme Ican	
	2	:	
	3	:	
	4	:	
	5	:	
	□ 設定後、テストメー	- ル送信を行う	
	設定		
	Соруг	ight (C) Logitec INA Solutions Co.,L	td. All rights reserved.

#### ·基本設定

基本設定メニューではお知らせメールの配信先やメールサーバー等、メール通知に関わる基本設定を行う 事ができます。

サブメニューの「基本設定」をクリックします。設定項目の入力が完了したら「設定」ボタンをクリックします。

ELECOM ステータス 初期設定 ファイル共有設定 ポリュームの管理 さいトローが設定	NSB-7554CS2 Web UI ログオンユーザー: admin シス5 コンピュータ名: NSB-755 RA シビュータ名: NSB-755 RA 変要する内容を反映するには:	[ Ver 4.70 デムステータス: ① 正本 NASユール AIDステータス: ② 正本 表示の更新 ロ項目の稳定 画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。	
シュテム設定	お知らせメール:	☑ :通知を有効にする	
▶ お知らせメール設定	送信メールサーバー名:	err. ernes enb	
電源	ポート:	587	
	認証タイプ:	SMTP\$281 V	
えれさぼ	ユーザーID:	Feldenti	
サポートボークル ELECOM SUPPORT	パスワード:	•••••	
各種機器との 設定方法を 紹介しています!	差出人メールアドレス:	encourse Chancels on p	
▶ 設定方法はこちら	通知先メールアドレス: 1	1 : Le fassilierre Lan	
	2	2 :	
	3	3 :	
	4	4:	
	5	5 :	
	□ 股定後、テストメール送信を行う 設定		
	Copyright (C) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.		

①通知を有効にする	お知らせメール通知サービスを利用する場合はチェックボックスにチェックします。		
②送信メールサーバー名	メール配信に利用するメールサーバーのサーバー名もしくは IP アドレスを登録		
	します。		
③ポート	メール送信に利	用する TCP/IP ポートを指定します。	
④認証タイプ	メールサーバー	-の承認タイプを選択します。	
	使用しない	認証の必要の無いメールサーバーを利用する場合に選択	
		します。	
	SMTP 認証	SMTP 認証が必要なメールサーバーを利用する場合に選	
		択します。	
	SSL 接続	SSL 接続が必要なメールサーバーを利用する場合に選択	
		します。	
	★注意★		
	「SSL 接続」では、暗号化方式は「STARTTLS」のみ対応しております。		
	<b>SMTP over</b>	SSL」には対応しておりませんので、設定前にご確認ください。	
⑤ユーザーID	メールサーバーの認証に必要なユーザーIDを登録します。		
⑥パスワード	メールサーバーの認証ユーザーID のパスワードを登録します。		
⑦差出人メールアドレス	通知メールに記載される差出人メールアドレスを登録します。		
⑧通知先メールアドレス	配信先のメールアドレスを登録します。最大で5つまで登録可能です。		
⑨設定後、テストメール送	この項目にチェックをすると、「設定」ボタンクリック後にテストメール送信を行い		
信を行う	ます。		

#### ・通知項目の設定

通知項目の設定メニューではお知らせメールで配信される情報を選択できます。サブメニューの「通知項目 の設定」をクリックします。設定項目の入力が完了したら「設定」ボタンをクリックします。

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70	
	ログオンユーザー: admin システムステータス	: O E # NAS3-1
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス	: O 正常 表示の更新
初期設定		
ファイル共有設定	基本設定 🕨 通知項目の設定	
ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部の「	設定」ボタンをクリックしてください。
ネットワーク設定		有効/無効設定
システム設定	Disk残容量:	
▶ お知らせメール設定	温度情報:	
電源	電源エラー:	
えわさぼ	バックアップ:	
マボーネータル ELECOM SUPPORT 名称機器との 変な方法を 紹介しています!	S-RAIDエラ-:	
	ログフィルタリング:	
	暗号化自動ロック/アンロックエラー:	
	ServersMan@CASの通知:	
	定期通知メール:	
	定則	通知メールの設定
	定期通知時刻:	0:0
	定期通知曜日:	●毎日 ○日 ○月 ○火 ○水 ○木 ○金 ○土
	設定	
	Copyright (C) Lo	gitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.

①Disk 残容量	データボリュームの残容量が規定値を下回った場合に通知されます。		
	規定値はリモートデスクトップ管理画面の NAS ツール上で設定された値になりま		
	す。デフォルトでは 30%に設定されています。		
②温度情報	本製品に搭載され	た HDD の温度が閾値を超えた場合に通知されます。	
	閾値は HDD 毎に記	没定された値になっています。	
③電源エラー	不正電源断が発生	後、最初の起動時に通知されます。	
④バックアップ	Windows Server /	ヾックアップでのバックアップ実行/終了時に通知されます。	
⑤S-RAID エラー	ソフトウェア RAID 構り	戎(ミラー及び RAID5)の状態が正常で無い場合に通知されます。	
⑥ログフィルタリング	イベントビューアに言	己録されるログをフィルタリングしてメール通知することができます。	
	設定はリモートデスクトップ管理画面の NAS ツール上で行います。		
⑦暗号化ロック/アン	ディスク暗号化機能のロック/アンロックに関わるイベントを通知します。		
ロックエラー			
(8) ServersMan@CAS	本製品で ServersMan@CAS を利用した際に発生するイベントを通知します。		
の通知			
⑨定期通知メール	定期通知事項/曜日で指定されたタイミングで定期的にメールを通知します。		
	定期通知時刻	定期通知メールを配信する時刻を登録します。	
		24 時間制で 時(2 桁):分(2 桁)で登録します。	
	定期通知曜日	定期通知メールを配信する曜日を選択します。	
		日曜日~土曜日までのいずれかか、毎日配信を選択できます。	

# 〇電源

電源メニューでは本製品の電源操作を行う事ができます。

メニューエリアから「電源」をクリックします。

ELECOM	NSB-75S4CS2 Web UI Ver 4.70
	ログオンユーザー: admin システムステータス: 〇 正常 NASコール
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: 0 正常 表示の更新
初期設定	
ファイル共有設定	
ボリュームの管理	
ネットワーク設定	
システム設定	シャットダウン: 実行
お知らせメール設定	再起動: 実行
	休止状態: 実行
<b>えんれてに</b> サイトボータル ELECOM SUBPORT 日本市の 設定方法を 新介しています! ・ 数定方法はこちら	Copyright (C) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.

①シャットダウン	本製品のシャットダウンを行います。
②再起動	本製品の再起動を行います。
③休止状態	本製品を休止状態(ハイバネーション)にします。

# <u>第8章:各0Sから共有フォルダへのアクセス</u>

## OWindows10 からのアクセス(SMB 共有)

①「スタート」ボタンをクリックし、「エクスプローラー」をクリックします。



②コンピューターー覧に本製品のサーバー名が表示されない場合は、画面右上の「検索テキスト ボックス」に本製品のサーバー名か IP アドレスを入力して[Enter]を押します。

💻   📝 📃 🔻   PC	– 🗆 X
ファイル コンピューター 表示	3
$\leftrightarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacksquare $ > PC	✓ PCの検索 P
<ul> <li>★ クイック アクセス ∨ フォルダー (7)</li> <li>■ デスクトップ ★ 2D オブジェクト</li> </ul>	デスクトップ
	<u>ل</u>
▲ OneDrive ■ PC	_
■ USB ドライブ (E) 〜 デバイスとドライブ (3)	
	(ブ(D:) USB ドライブ(E:) 空き領域 10.6 GB/14.4 GB
10 個の項目	E .

③見つかった本製品のアイコンをダブルクリックすると共有フォルダーが表示されます。

#### ★注意★

ネットワーク探索、ファイル共有が無効の場合、本製品を検出できない場合があります。ネット ワークと共有センターで有効化してください。

## OWindows 8.1/7 からのアクセス(SMB 共有)

①「スタート」ボタンをクリックし、ネットワークを選択します。(Windows 8.1 の場合は、「検索チャーム」に"ネットワーク"と入力して起動します。)

- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	フーク・	-6	√ <sup>+</sup> <sup>+</sup> <sup>+</sup> <sup>−</sup>	- クの検索 の
整理 ▼ ネットワーク	と共有センター	プリンターの追加	ワイヤレス デバイスの追加	
🚖 お気に入り	▲ コンピュー	ター (8)		
<ul> <li>ダウンロード</li> <li>デスクトップ</li> <li>デスクトップ</li> <li>デボキテレた担所</li> </ul>				
■ #2.1122 小しん つん 物 の い				
<ul> <li>ドキュメント</li> <li>ピクチャ</li> </ul>				
🔛 ビデオ 🎝 ミュージック				
№ コンピューター	▲ ネットワー	クインフラストラ	クチャ (1)	
🏭 ローカル ディスク 👝 SD2GB (D:)				
📬 ネットワーク				
9個の項目				

②コンピューターの一覧に本製品のサーバー名が表示されない場合は右上のネットワークの検 索テキストボックスに本製品のサーバー名か IP アドレスを入力して「Enter」を押します。

③見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダーが現れます。

★注意★

ネットワーク探索、ファイル共有が無効の場合、本製品を検出できない場合があります。ネット ワークと共有センターで有効化してください。

# O Windows(Storage)Server2016/2012/2012R2 から のアクセス(SMB 共有)

※Windows Storage Server の場合はリモートデスクトップ管理画面にてアクセスしてください。

①「エクスプローラー」を開きます。

②画面の「アドレス」欄に本製品の IP アドレスかサーバー名を入力します。

💻   🛃 📗 🖛   PC		127	
ファイル コンピューター	表示		~ 🕜
$\leftrightarrow \rightarrow \cdot \checkmark$	> PC >	<b>己</b> PCの検索	Q
<ul> <li>★ ワイック アクセス</li> <li>● デスクトップ</li> <li>◆ グウンロード</li> <li>※ ドキュメント</li> <li>※ ピクチャ</li> <li>■ PC</li> <li>◆ オットワーク</li> </ul>	<ul> <li>&gt; フォルター (6)</li> <li>第 ダウンロード</li> <li>第 ダウンロード</li> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビクチャ</li> <li>ジェニジック</li> <li>&gt; デバイスとドライブ (2)</li> <li>ローカル ディスク (C)</li> <li>ローカル ディスク (C)</li> <li>空き損域 87.0 G8/99.9 G8</li> </ul>	) 3.54 TB	
8個の項目			

③本製品の共有フォルダーが表示されます。

# OWindows(Storage)Server2008/R2からのアクセス(SMB 共有)

※WindowsStorageServer2008(R2)の場合はリモートデスクトップ管理画面にアクセスしてください。

①「スタート」ボタンをクリックし、「ネットワーク」をクリック、ネットワークウインドウを開きます。

②右上の「検索」欄に本製品の IP アドレスかサーバー名を入力します。



③ 検索欄の右隣の p ボタンをクリックし、見つかったコンピューターのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダーが現れます。

## OMacOS X からのアクセス(SMB 共有)

①「移動」から「サーバーへ接続」を選択し、ウインドウを開きます。

②以下の画面が表示されます。サーバアドレス欄に本製品の IP アドレスかサーバー名を入力し、
 「接続」をクリックします。(例: smb://くサーバー名または IP アドレス>)

000	サーバへ接続	
サーバアドレス:		
smb://*******		+ 0.
よく使うサーバ:		
(取り除く)	(ブラ	ウズ 接続
		11

③ユーザー名とパスワードを求めてきますので、特に本製品にユーザー登録していなければ guestを選択します。

④共有ボリューム選択画面が現れますので、利用したいボリュームを選択します。

## OLinux からのアクセス(NFS 共有)

Linux からのディスク共有は、NFS 形式で提供しますので、Linux のシェルコマンドラインより mount コマンドで本製品の共有フォルダーをマウントさせます。 コマンドラインはバージョンなどにより異なりますので OS のマニュアルで確認願います。

例>RedHat6.2 での場合 mount -t nfs NSB-75S:/public /mnt

NSB-75S:本製品のサーバー名 public:本製品の NFS 共有ボリューム名

# 付 録

#### Oトラブルシューティング

- ●管理画面へアクセスできない場合がある/アクセスが非常に遅い
  - 同セグメントの Ethernet 上に本製品と同じホスト名(サーバー名)のデバイスがありませんか?

もし、ある場合はホスト名(サーバ名)を変更してください。

- ●いつまで経ってもシステムが起動しない
  - ディスクアクセスが無くいつまでもシステムが起動しない場合は、前面の電源スイッチで 電源を5秒以上長押しし、一旦 OFF にした後、再度10秒程時間をおいてから電源を ON にしてください。
- ●パスワードを忘れてしまった
  - ユーザパスワードの場合、管理者が管理画面でユーザー項目のローカルユーザーメ
     ニューの中のパスワード設定でパスワードを再登録してください。
  - 管理者のパスワードを忘れた場合は、管理画面にアクセスできなくなります。修正するには、添付のリカバリーメディアでシステムを出荷時状態にリカバリーしていただくか、お客様にてデータをバックアップ後弊社にお送りいただき、出荷時状態にてお戻し致します。(有償)
    - ※ この作業はオンサイト保守の対象外となりますので、管理者パスワードの管理には 充分ご注意ください。
- ●フォルダ/ファイルが削除できない
  - フォルダ/ファイルの属性の「読み取り専用」にチェックがついていませんか?
     ついている場合はチェックをはずしてください。
  - 削除しようとしているフォルダは共有ボリュームではないですか?
     共有ボリュームの場合は共有設定を解除してからフォルダを削除してください。

# 設定制限表

		本製品推奨値	Windows10/8.1/7 Server2016 Server2012(R2) Server2008(R2)	MacOSX10.4.5~	Linux (RedHat6.2)	
	最大文字数		半角15	文字※2		
サーバー名	使用可能文字数	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、マイナス。 用可能文字数 ※(下線利用可能だがMS製DNSサーバーを利用しない限り、標準文字以外の文字を含む名前)がこのサーバーを見つけることが出来なくなる)				
	その他制限事項					
	最大文字数					
アカウント名	使用可能文字					
	その他制限事項	全角と	×1			
	<u> </u>		UX子まではUKでめることを唯語	恣 ニュペース		
	<u> </u>	央子(大文子小文子の区別あり)、数子、記号、スペース 				
	ての他前限争項	ビアンジェント・ビアンジェントの「ビアンジョン」 ビング (1997) 1000 (1990) 1000 (1997) 10000 (1997) 1000 (1997) 1000 (1997) 100				
コメント	<u>一取八久宁奴</u> 使田可能文字	英字(大文字	<u> </u>	<u>パスナー</u> ル、下線、マイナス、スペース、	全鱼日本語	
	その他制限事項		<u>工力日</u> 年間			
	最大文字数					
 	使用可能文字	英字(大文字	全角日本語			
クルーノ名	その他制限事項	使用できない文字「¥/[]: <>+=;,?*@」 ※先頭を英字、数字、ドット、下線、全角日本語にすること(先頭にスペースを入れ			ても削除されてしまう)	
	最大文字数	OSに依存	半角80文字	/全角40文字	<b>※</b> 3	
共有フォルダ	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、ドット、下線、マイナス、スペース、全角日本語			英字(大文字小文字の区別無 し)、数字、ドット、下線、マイ ナス、スペース	
	その他制限事項					
	最大文字数	OSに依存	半角·全角222文字	(smb:半角255文字)	半角255文字	
フォルダ名	使用可能文字	OSに依存	英字(大文字小文字の区別無 ス、全角	ŧし)、数字、一部記号、スペー 自日本語	英字(大文字小文字の区別無 し)、数字、一部記号、スペー ス	
	その他制限事項	OSに依存	機種依存文字使用不可、半	角記号「¥/:,;*?<> 」使用不可	全角未対応、 半角記号「!*;:? `\$&()<>」使用 不可	
	最大文字数	OSに依存	半角・全角230文字	(smb:半角251文字)	半角251文字	
ファイル名	使用可能文字	OSに依存	英字(大文字小文字の区別無 ス、全角	ŧし)、数字、一部記号、スペー 自日本語	英字(大文字小文字の区別無 し)、数字、一部記号、スペー ス	
	その他制限事項	OSに依存	機種依存文字使用不可、半	角記号「¥/:,;*?<> 」使用不可	全角未対応、 半角記号「!*;:? `\$&()<>」使用 不可	
1ファイ	ル容量上限	OSに依存				
フォルダ階層数			ÖSIS			
登録可能	共有フォルダ	(	無制	<u> </u>		
登録可能	<u> 能が、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので</u>	50(WorkgroupEdition	搭載モデル)、無制限(Stander	dEdition 搭載モデル)		
登録可能グループ数			-			

※1:Linuxでの共有はアカウント名/パスワードで管理しないので対象外。 ※2:作成は半角20文字まで可能ですが、最大半角12文字以内で作成しないとネットワークから参照不可。

※3:管理画面アクセス不可のため直接作成は不可(Windowsクライアントにて作成が必要)

※Macでのフォルダ名、ファイル名変更にはフォルダプロパティから全般:SFMボリュームセキュリティの「このボリュームは読み取り専用」のチェックを外す必